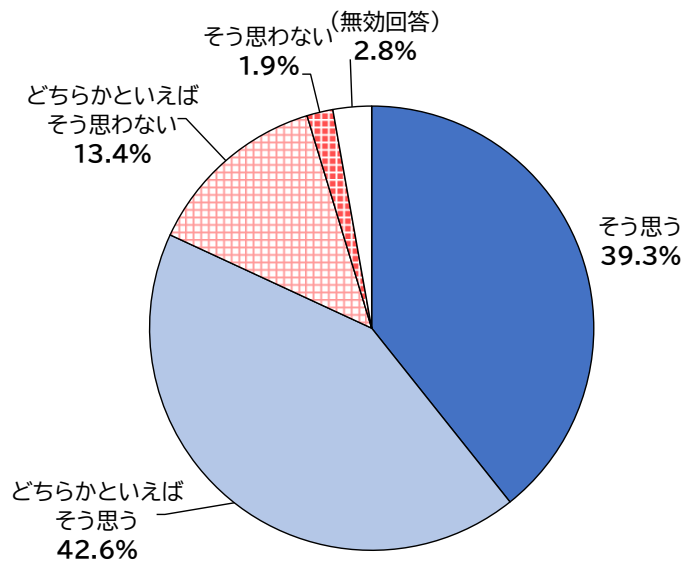


問 45) あなたは、調布市内に優れた景観の場所があると思いますか。

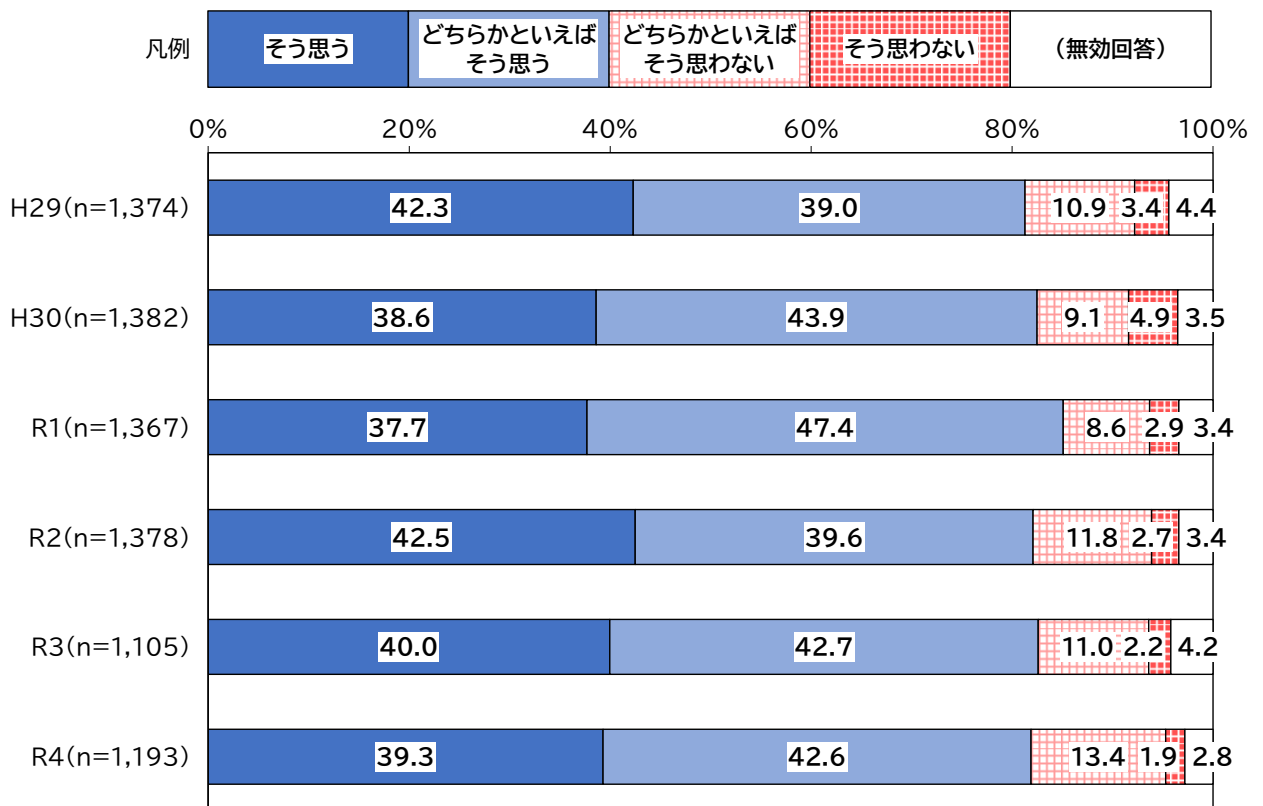
<全体 (n=1,193) >

○「そう思う」は 39.3%、「どちらかといえばそう思う」は 42.6%であり、合計で 81.9%を占めています。



<経年比較>

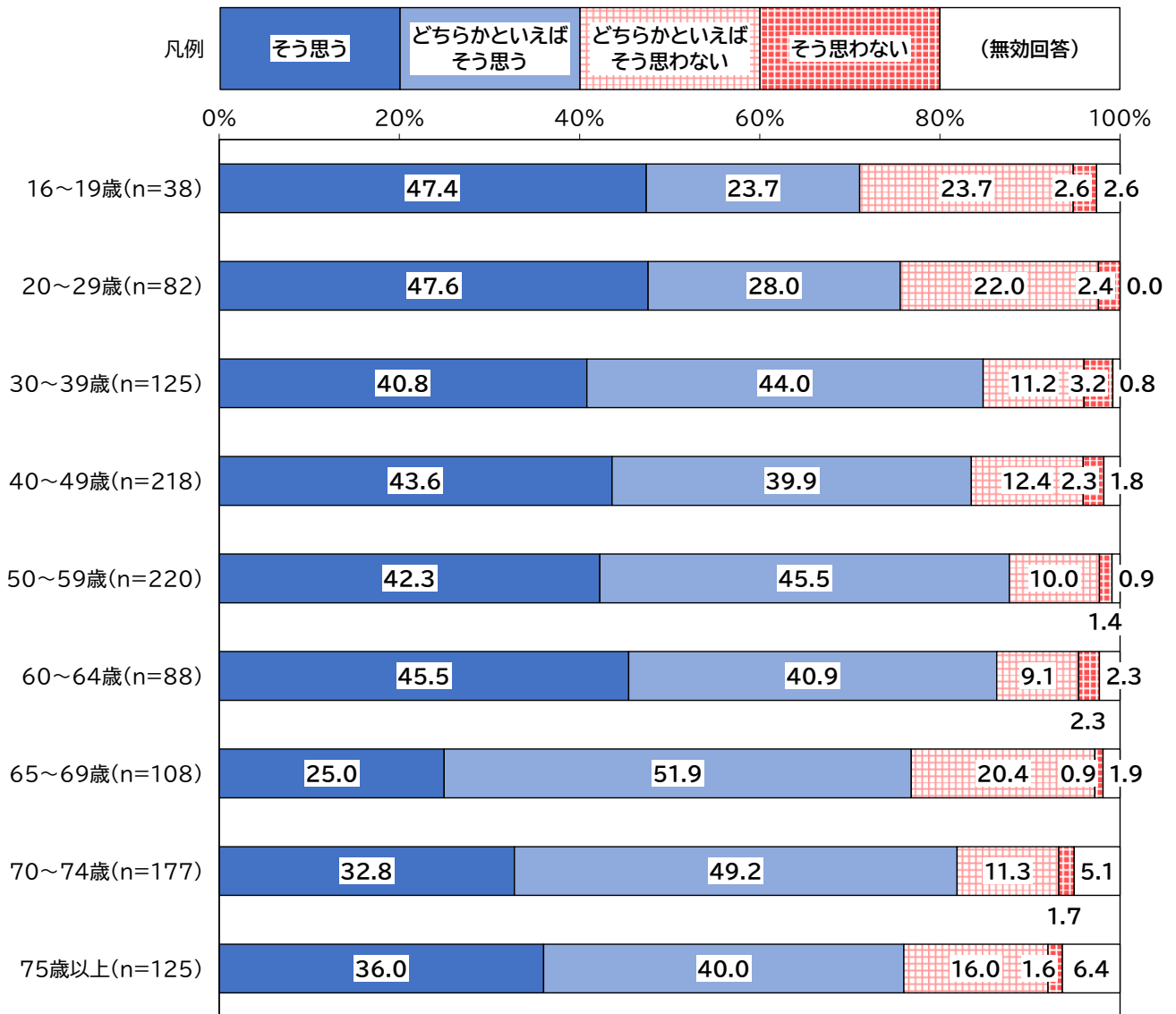
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、おおむね 80%台で推移していますが、令和 4 年度 (81.9%) は令和 3 年度 (82.7%) に比べ 0.8 ポイント減少しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○いずれの年齢層も、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が70%を超えています。16～29歳、65～69歳で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計が20%を超え、他の年齢層と比較して高くなっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

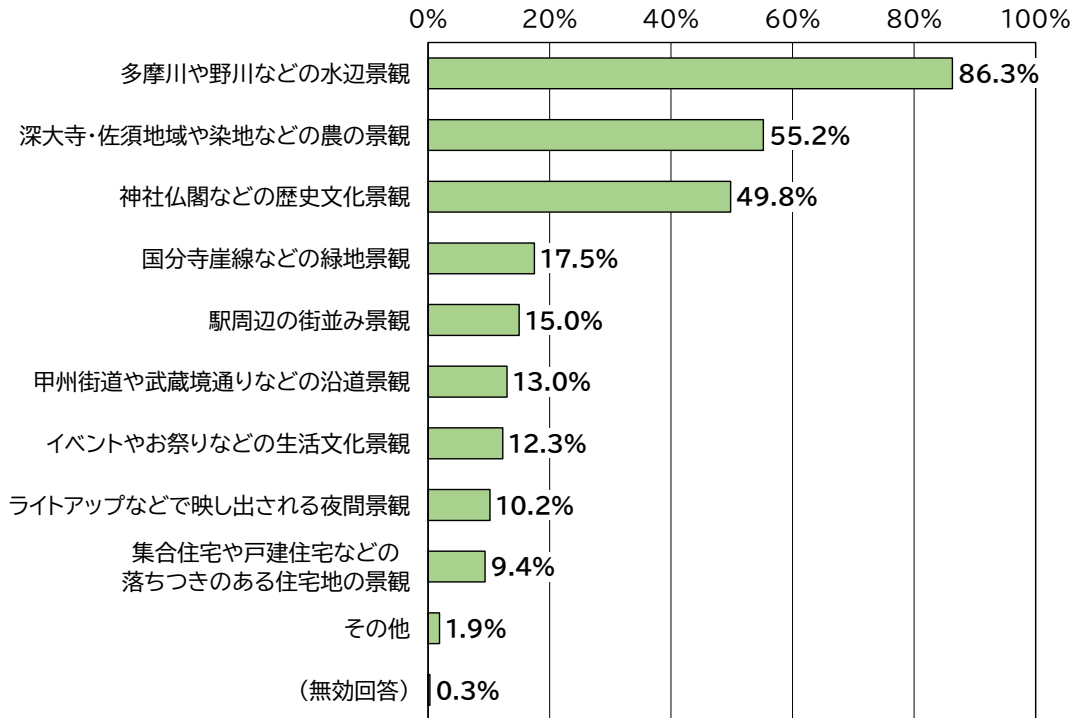
【図表 緑豊かなまちづくりや良好な景観づくりに関する施策についてのご意見・ご提案】 (72件)

- ・ 深大寺の景観が好きです。
- ・ 武蔵境通りなど広い道路が多いので沿道をもっと活用してほしい！イルミネーション、イベントなど。
- ・ 野川遊歩道の景観は素晴らしいと思うが、歩道の整備がされていたらより良いと思う。

問 45-1) 問 45 で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した方にうかがいます。優れた景観だと思ふ場所はどこですか。

<全体 (n=914) >

○「多摩川や野川などの水辺景観」が 86.3%で最も高く、次いで「深大寺・佐須地域や染地などの農の景観」の 55.2%、「神社仏閣などの歴史文化景観」の 49.8%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、「多摩川や野川などの水辺景観」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	977	27	62	106	182	193	76	83	145	95
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
多摩川や野川などの水辺景観	843	20	46	93	145	160	68	77	138	88
	86.3%	74.1%	74.2%	87.7%	79.7%	82.9%	89.5%	92.8%	95.2%	92.6%
深大寺・佐須地域や染地などの農の景観	539	10	44	55	95	99	44	52	79	56
	55.2%	37.0%	71.0%	51.9%	52.2%	51.3%	57.9%	62.7%	54.5%	58.9%
神社仏閣などの歴史文化景観	487	9	23	48	87	106	45	40	70	54
	49.8%	33.3%	37.1%	45.3%	47.8%	54.9%	59.2%	48.2%	48.3%	56.8%
国分寺崖線などの緑地景観	171	1	10	12	25	27	16	22	27	29
	17.5%	3.7%	16.1%	11.3%	13.7%	14.0%	21.1%	26.5%	18.6%	30.5%
駅周辺の街並み景観	147	10	17	25	32	21	8	10	10	13
	15.0%	37.0%	27.4%	23.6%	17.6%	10.9%	10.5%	12.0%	6.9%	13.7%
甲州街道や武蔵境通りなどの沿道景観	127	1	4	10	23	23	6	11	25	23
	13.0%	3.7%	6.5%	9.4%	12.6%	11.9%	7.9%	13.3%	17.2%	24.2%
イベントやお祭りなどの生活文化景観	120	8	13	19	28	18	4	8	11	11
	12.3%	29.6%	21.0%	17.9%	15.4%	9.3%	5.3%	9.6%	7.6%	11.6%
ライトアップなどで映し出される夜間景観	100	6	5	8	22	18	13	7	9	10
	10.2%	22.2%	8.1%	7.5%	12.1%	9.3%	17.1%	8.4%	6.2%	10.5%
集合住宅や戸建住宅などの落ちつきのある住宅地の景観	92	4	10	12	16	21	3	8	9	9
	9.4%	14.8%	16.1%	11.3%	8.8%	10.9%	3.9%	9.6%	6.2%	9.5%
その他	19	1	1	3	2	4	4	1	2	1
	1.9%	3.7%	1.6%	2.8%	1.1%	2.1%	5.3%	1.2%	1.4%	1.1%
(無効回答)	3	0	1	0	1	0	0	1	0	0
	0.3%	0.0%	1.6%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%

(上段：実数 (人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：



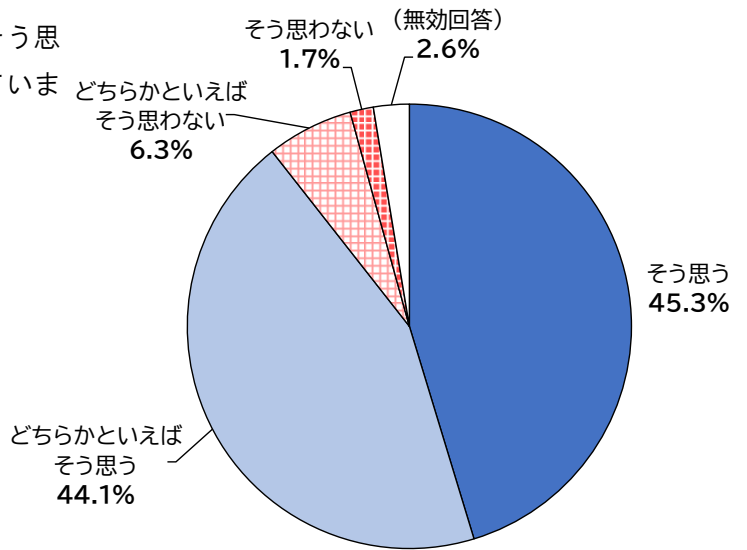
回答割合が2番目に高い：



問 46) あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。

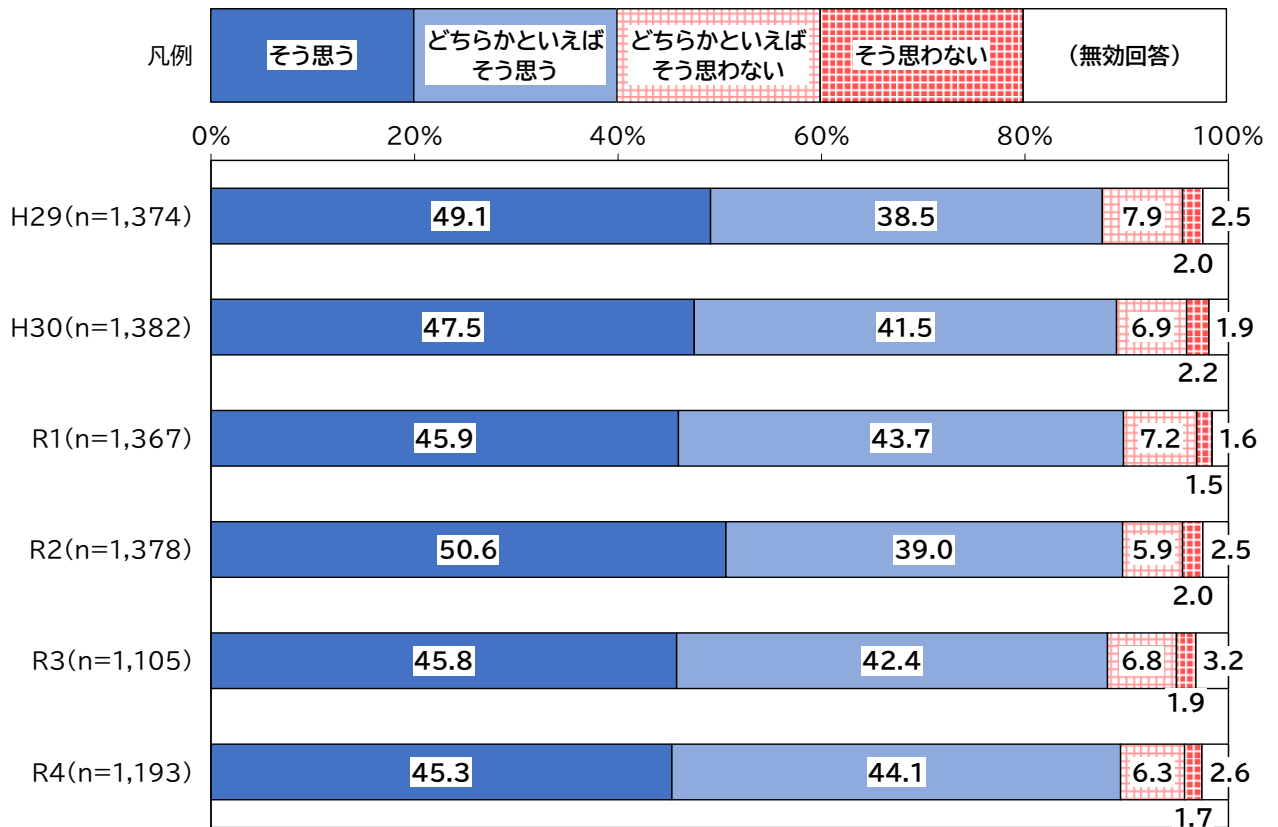
<全体 (n=1,193) >

○「そう思う」は 45.3%, 「どちらかといえばそう思う」は 44.1% であり、合計で 89.4% を占めています。



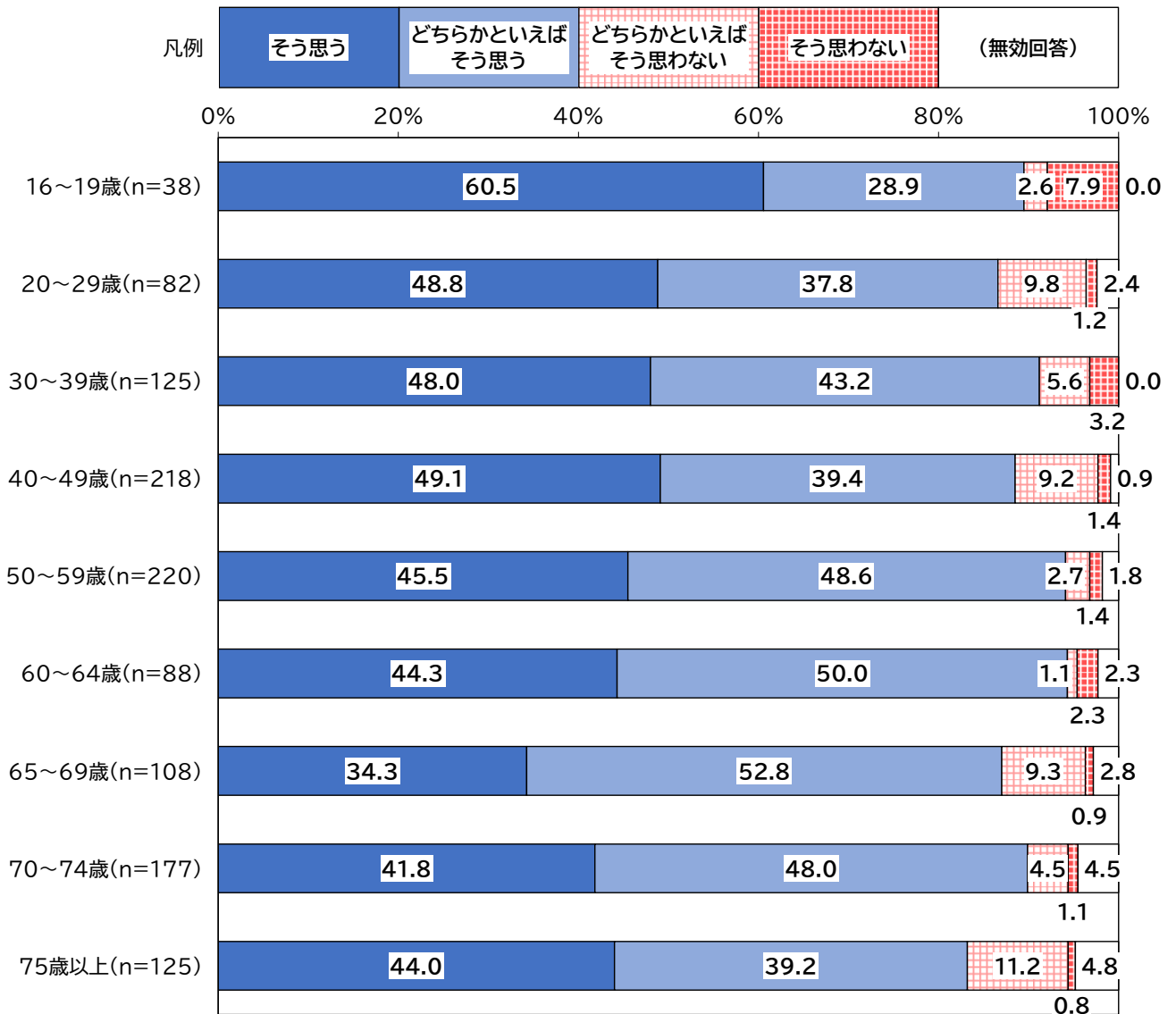
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成 29 年度以降、一貫して 80% 台で推移しています。



<年齢層別>

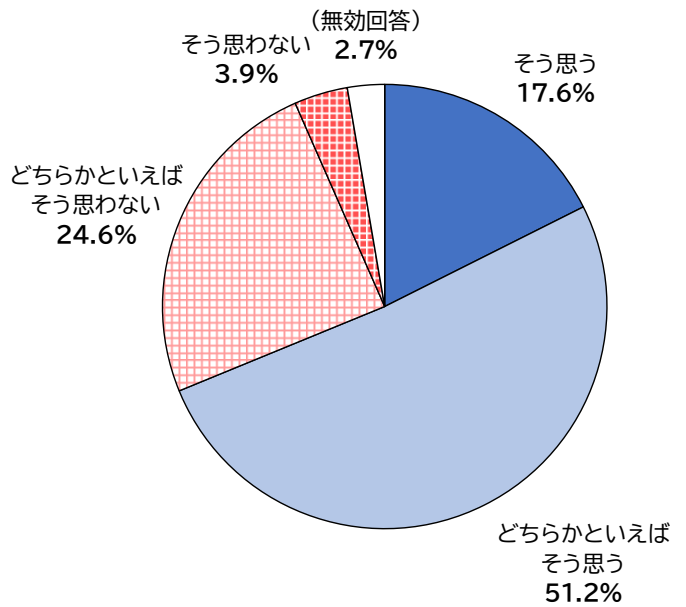
○60～64歳が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が94.3%と最も高く、次いで50～59歳の94.1%、30～39歳の91.2%となっています。



問 47) あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的な街だと思いますか。

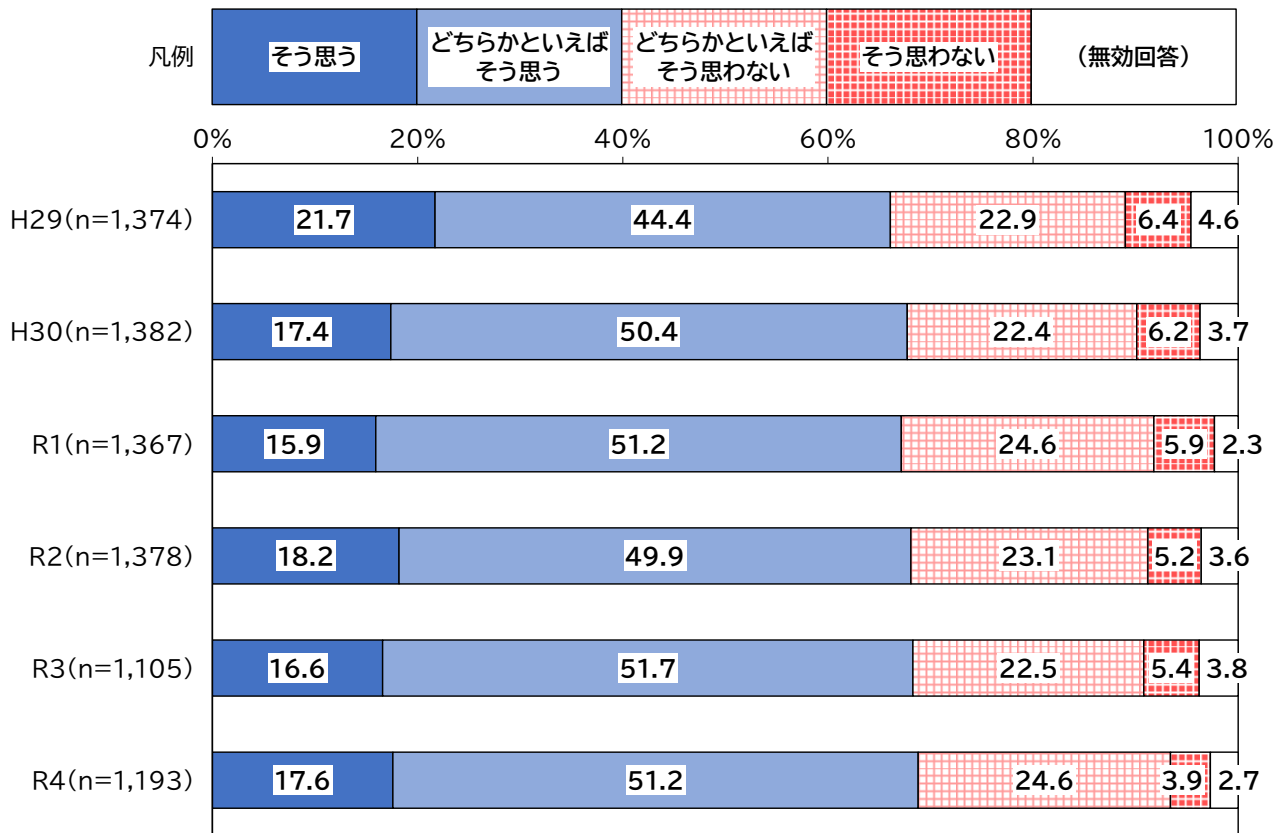
<全体 (n=1,193) >

○「そう思う」が 17.6%、「どちらかといえば
そう思う」が 51.2%で、合計で 68.8%を占めて
います。



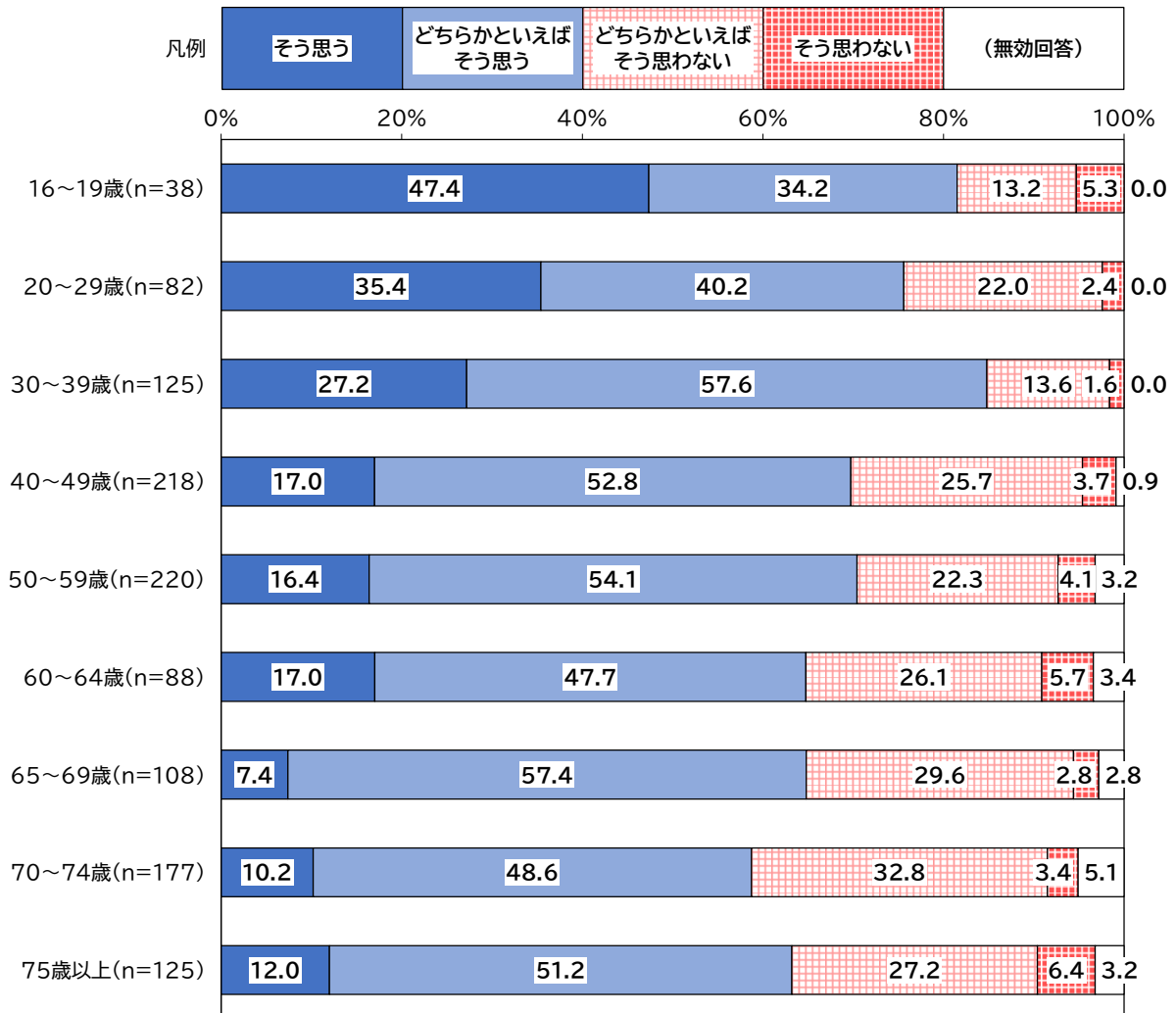
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成 29 年度以降、おおむね増加傾向で推移
しており、令和 4 年度 (68.8%) は令和 3 年度 (68.3%) に比べ 0.5 ポイント増加しています。



<年齢層別>

○16～19歳、30～39歳で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が80%を超えています。
 ○60歳以上では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が30%を超えており、他の年齢層に比べて高くなっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的な街であると思う/思わない理由】（333件）

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」	「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺が整備されて利用しやすくなった。商業施設が増えて便利になった。 ・ 駅のまわりの広いスペースは開放感があると思う。あまり都会的ではないけれど市民が必要な店や設備もサービスも揃っている。地味さも魅力的だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここにしかないと思える施設がない。 ・ ごちゃごちゃしている。清潔感があまりない。 ・ 駅周辺に緑が少ない。

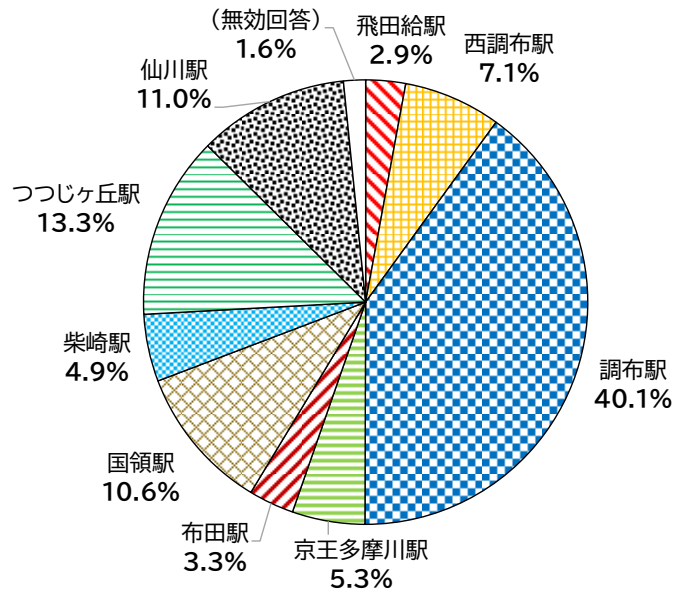
【図表 中心市街地のまちづくりに関する施策についてのご意見・ご提案】（141件）

- ・ 駅周辺に大きな保育園がない、少ない。
- ・ 禁煙，ゴミ捨てなどマナーや綺麗な街づくりを徹底して欲しい。防犯にも繋がるから。
- ・ 利便さだけを求めず，安らぎも共存するのが調布の良さだと思います。この希な特質を維持して下さい。

問48) あなたは、普段どの駅を最も利用しますか。

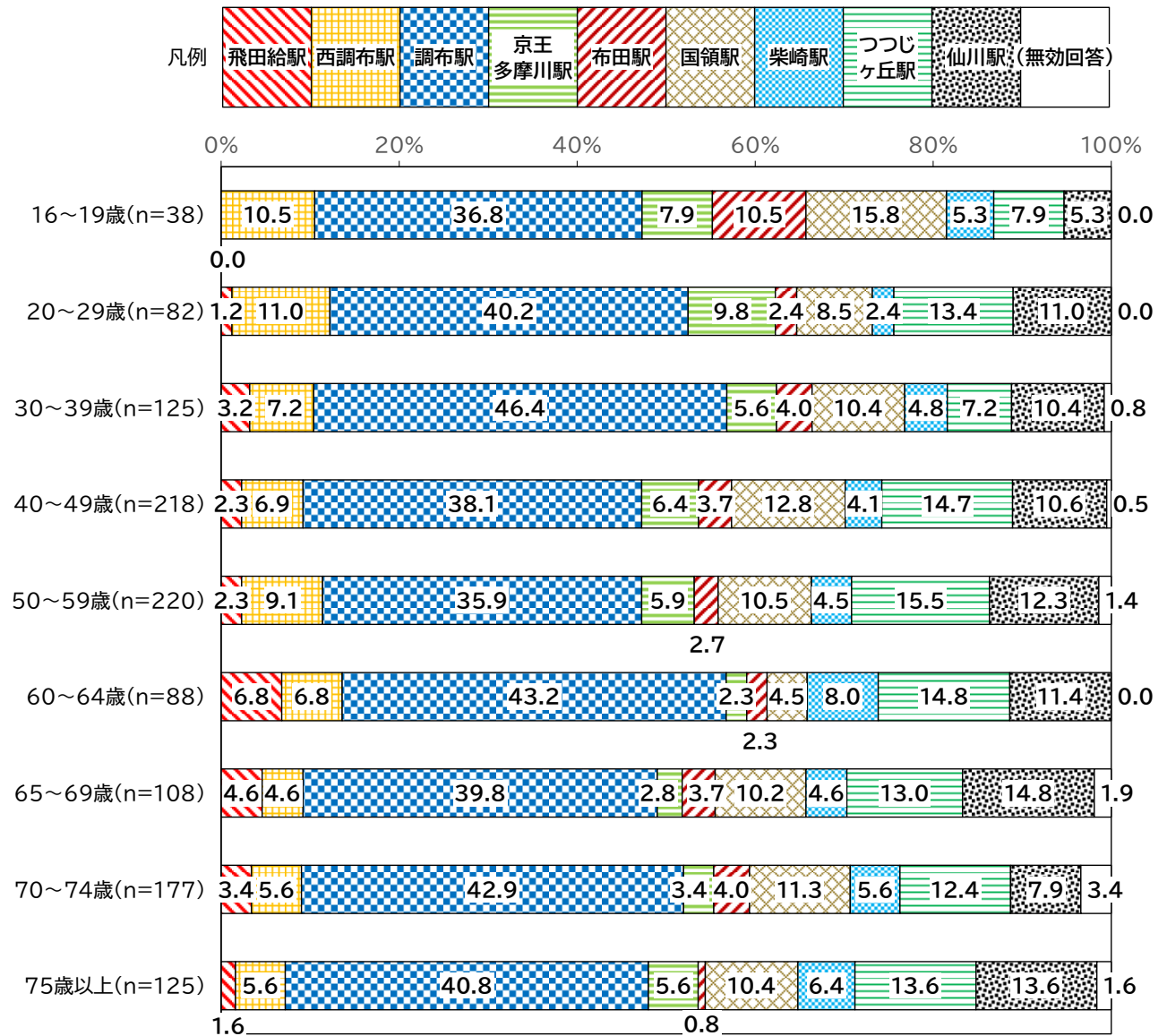
<全体 (n=1,193)>

○「調布駅」が40.1%で最も高く、次いで「つつじヶ丘駅」の13.3%、「仙川駅」の11.0%、「国領駅」の10.6%の順となっています。



<年齢層別>

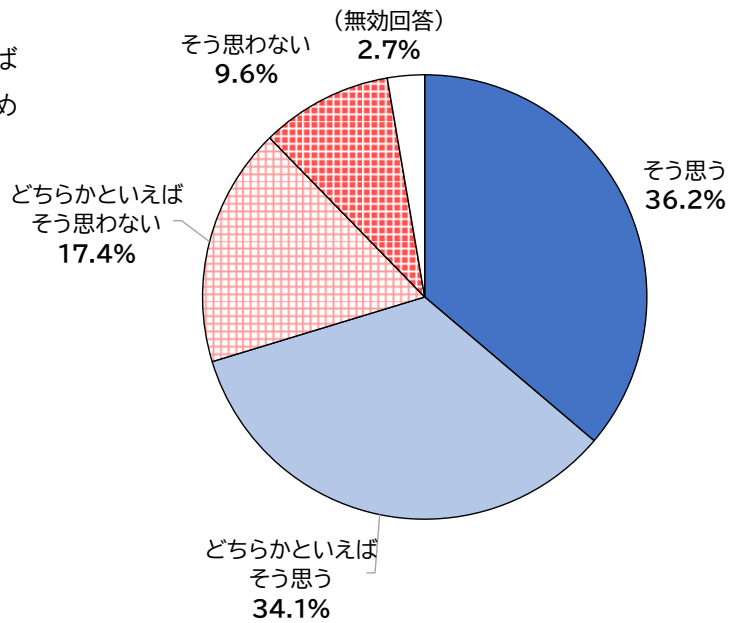
○いずれの年齢層も、調布駅が最も高くなっています。



問 48-1) あなたはその駅の周辺は利便性が高いと思いますか。

<全体 (n=1,193) >

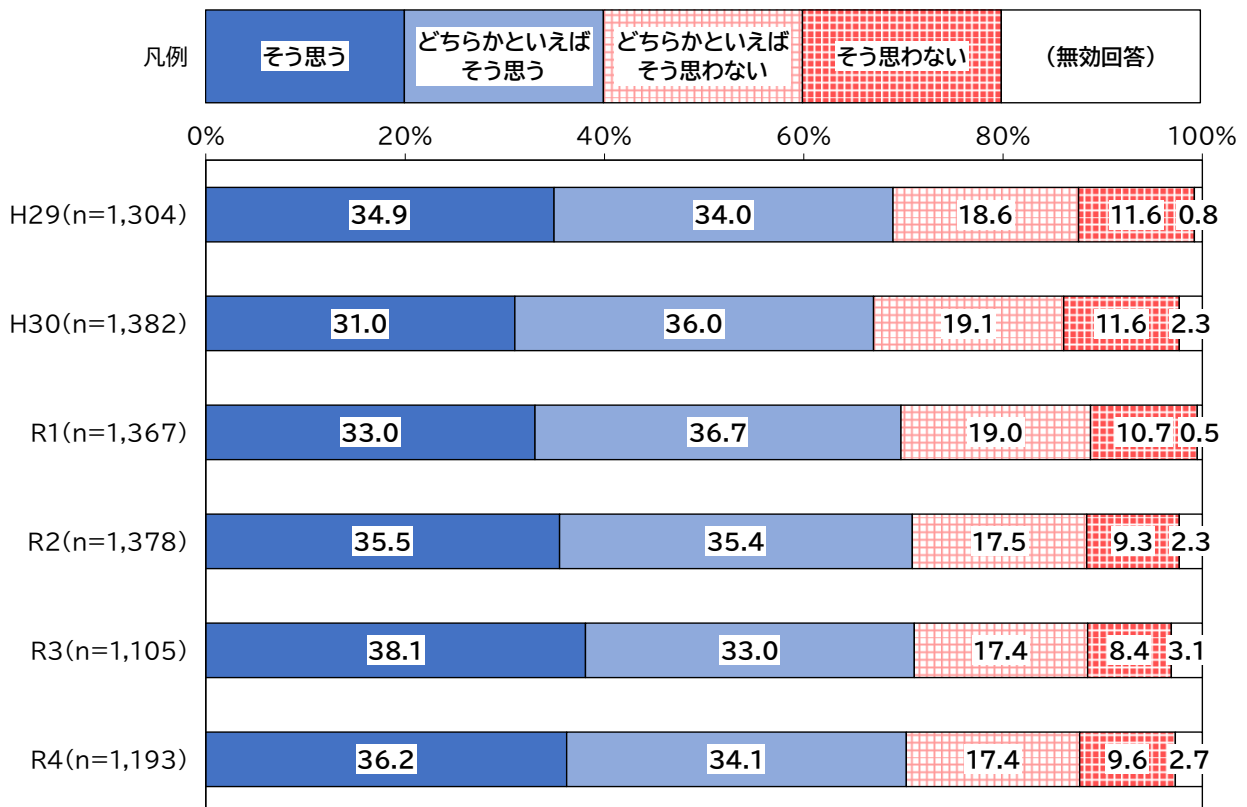
○「そう思う」が 36.2%、「どちらかといえば
そう思う」が 34.1%で、合計 70.3%を占め
ています。



<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成 30 年度以降、微増傾向で推移していましたが、令和 4 年度 (70.3%) は令和 3 年度 (71.1%) に比べ 0.8 ポイント減少しています。

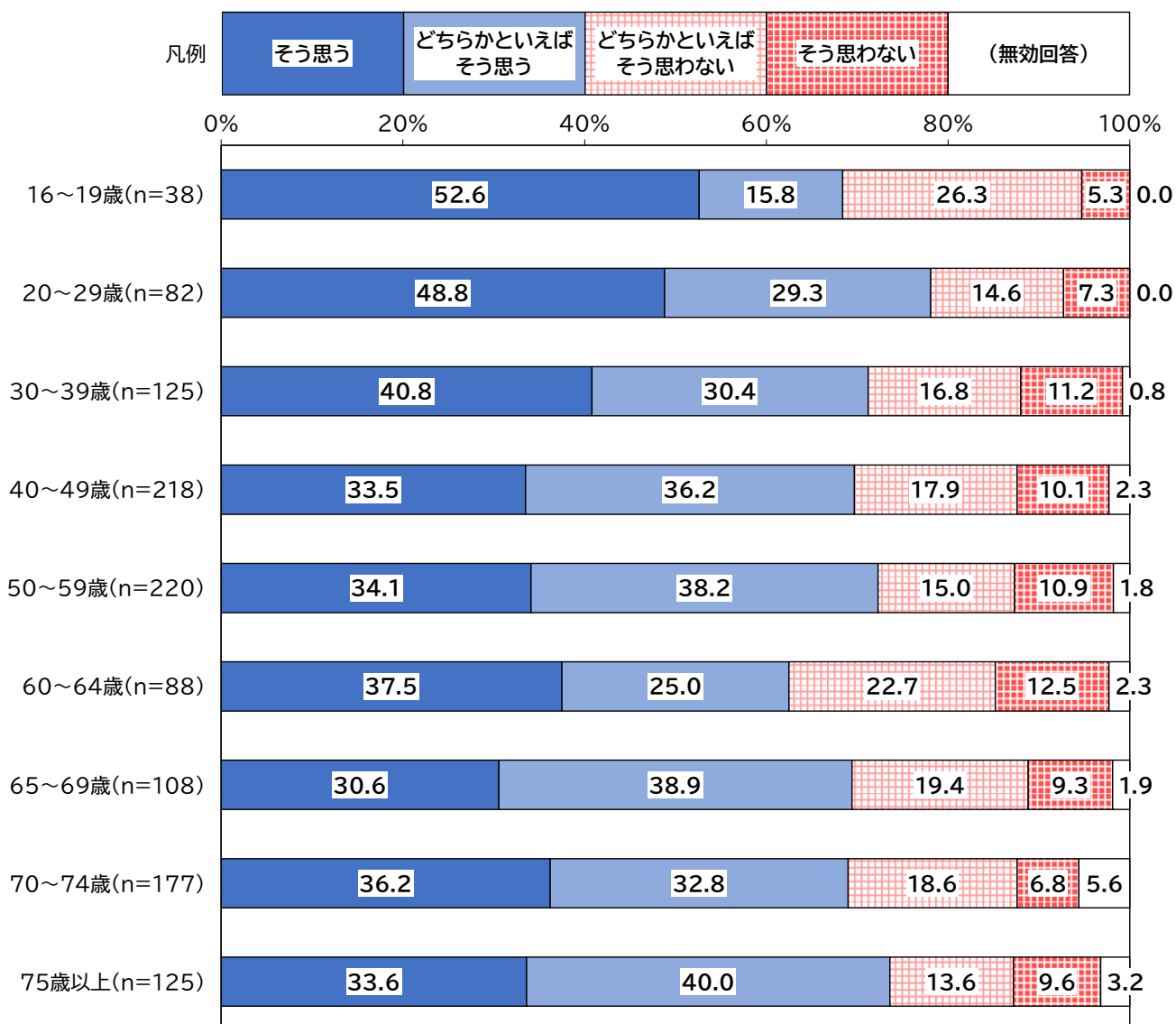
○一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は、平成 30 年度以降、微減傾向で推移していましたが、令和 4 年度 (27.0%) は令和 3 年度 (25.8%) に比べ 1.2 ポイント増加しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

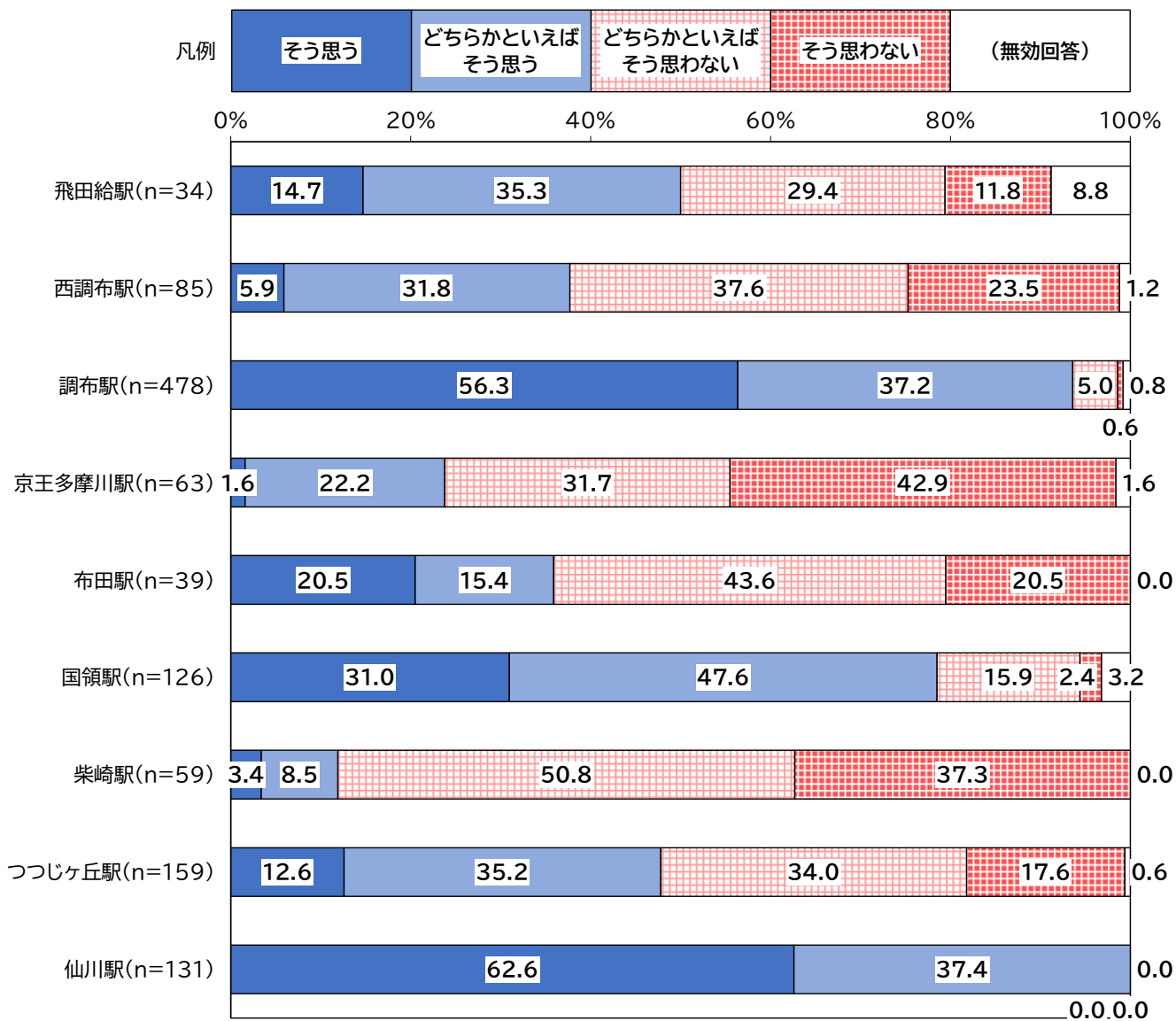
○20～29歳が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が78.1%と最も高く、次いで75歳以上の73.6%、50～59歳の72.3%の順となっています。



<利用駅別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、「調布駅」、「国領駅」及び「仙川駅」では70%を上回っています。

○一方で、「西調布駅」、「京王多摩川駅」、「布田駅」、「柴崎駅」及び「つつじヶ丘駅」では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が50%を上回っています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 普段利用する駅周辺のまちづくりについてのご意見・ご提案】(222件)

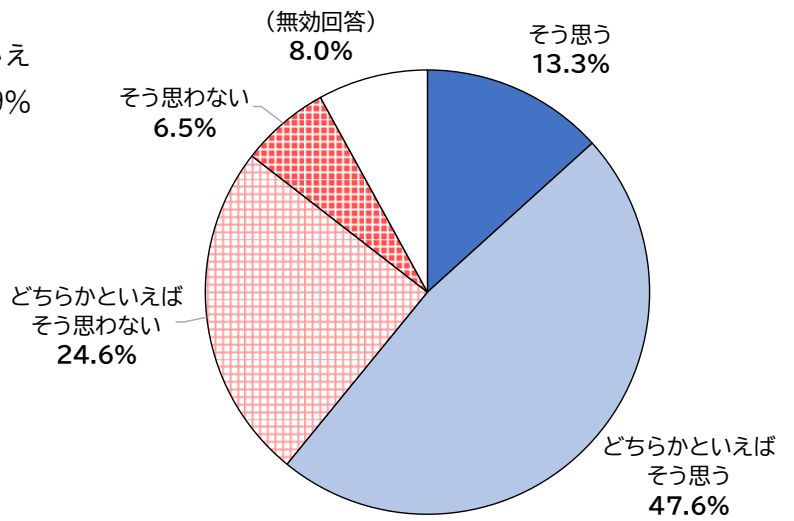
飛田給駅 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> 施設をおとずれた家族づれが食事ができたり、散歩ができたりできれば良いと思います。施設と公園等とても大きいのに点々としていてコンセプトがないと思う。 特急等の急行電車がイベントの時にしか止まらないのはどうかと思う。お店も少ない。
西調布駅 (27件)	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店が少ない。 道がせまい。
調布駅 (49件)	<ul style="list-style-type: none"> もう少し商店があるとありがたい。 駐輪場や駐車場がもっと充実してほしい。 道、歩道がせまい。
京王多摩川駅 (22件)	<ul style="list-style-type: none"> エスカレーターの設置をすべきだと思う。電車とホームの間に大きくあいている所もあり、今後策を講じてほしい。 スーパーがないです。日用品は買えません。 全体的な街づくりを検討してほしい。空店舗などが多いので。
布田駅 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> お店が少ない。 コンビニ、薬局、駐輪場が整備されているため、スポーツジムもでき、より魅力が高まったように思う。バス路線を整備してほしい。ロータリーがもったいない。
国領駅 (23件)	<ul style="list-style-type: none"> 急行、快速などが止まれば良いのと思う。 禁煙の徹底をして欲しい。
柴崎駅 (29件)	<ul style="list-style-type: none"> 開かずの踏切を早くどうにかして欲しい。 道がせまくて車も通るので歩きづらい。
つつじヶ丘駅 (50件)	<ul style="list-style-type: none"> 食品(飲料品)の店が少ない。駅前1店だけ、その他コンビニのみ。 商業施設の充実をし、ショッピングしやすく、人があつまるところがあったら良い。 交通の便は良いが、お店等はあまり良いと思わない。
仙川駅 (10件)	<ul style="list-style-type: none"> だいたい何でも揃っていて、とても便利だと思います。 もっと緑があれば、昔より少なくなっている。

【道路・交通について】

問 49) あなたは、市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。

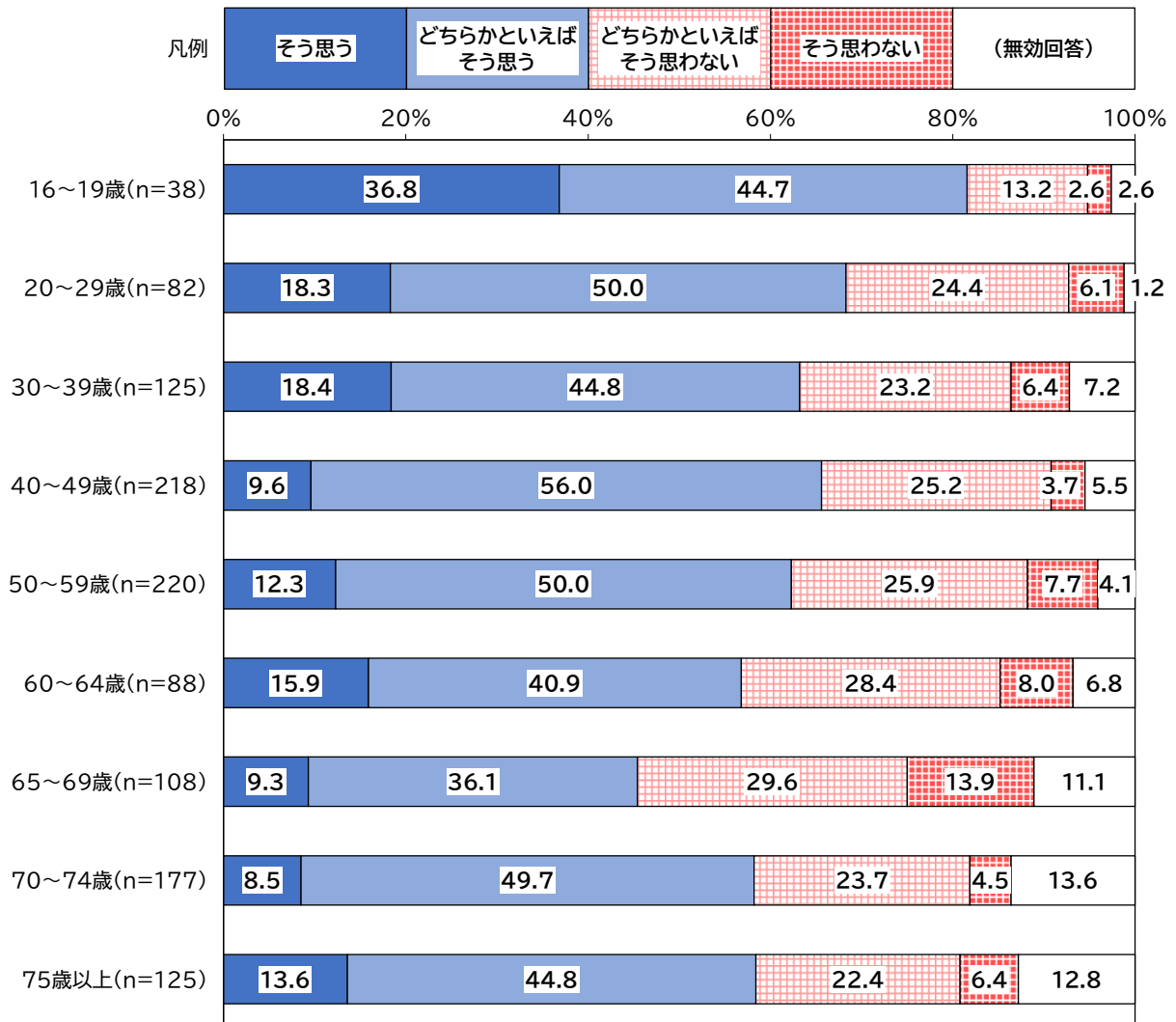
<全体 (n=1,193) >

○「そう思う」が13.3%、「どちらかといえばそう思う」が47.6%で、合計で60.9%を占めています。



<年齢層別>

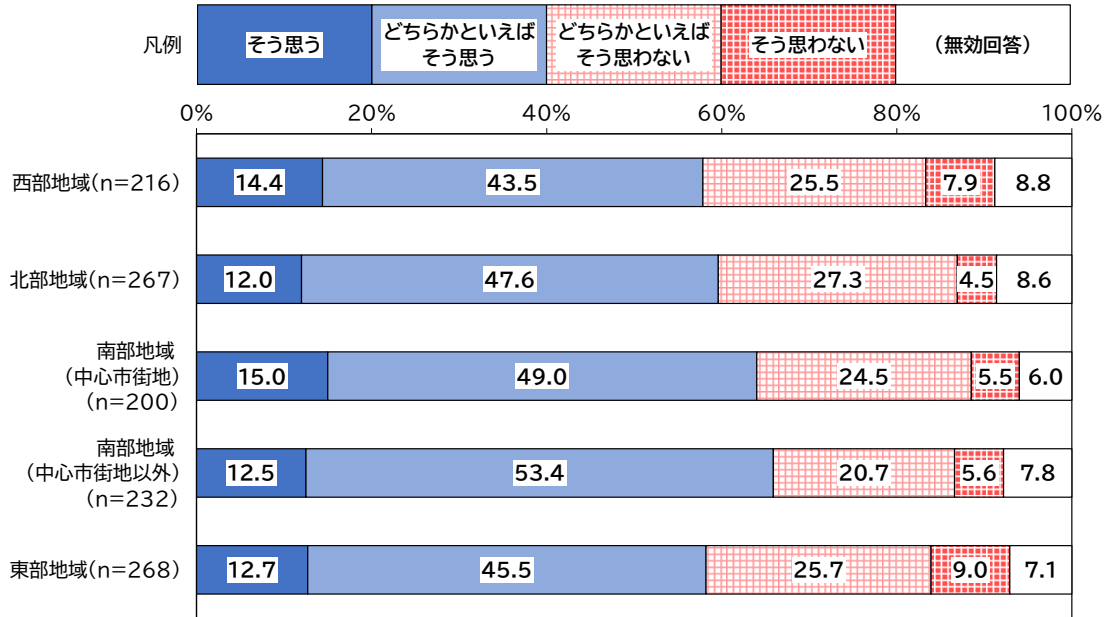
○16～19歳が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が81.5%で最も高く、次いで20～29歳の68.3%、40～49歳の65.6%の順となっており、69歳までは年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあります。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

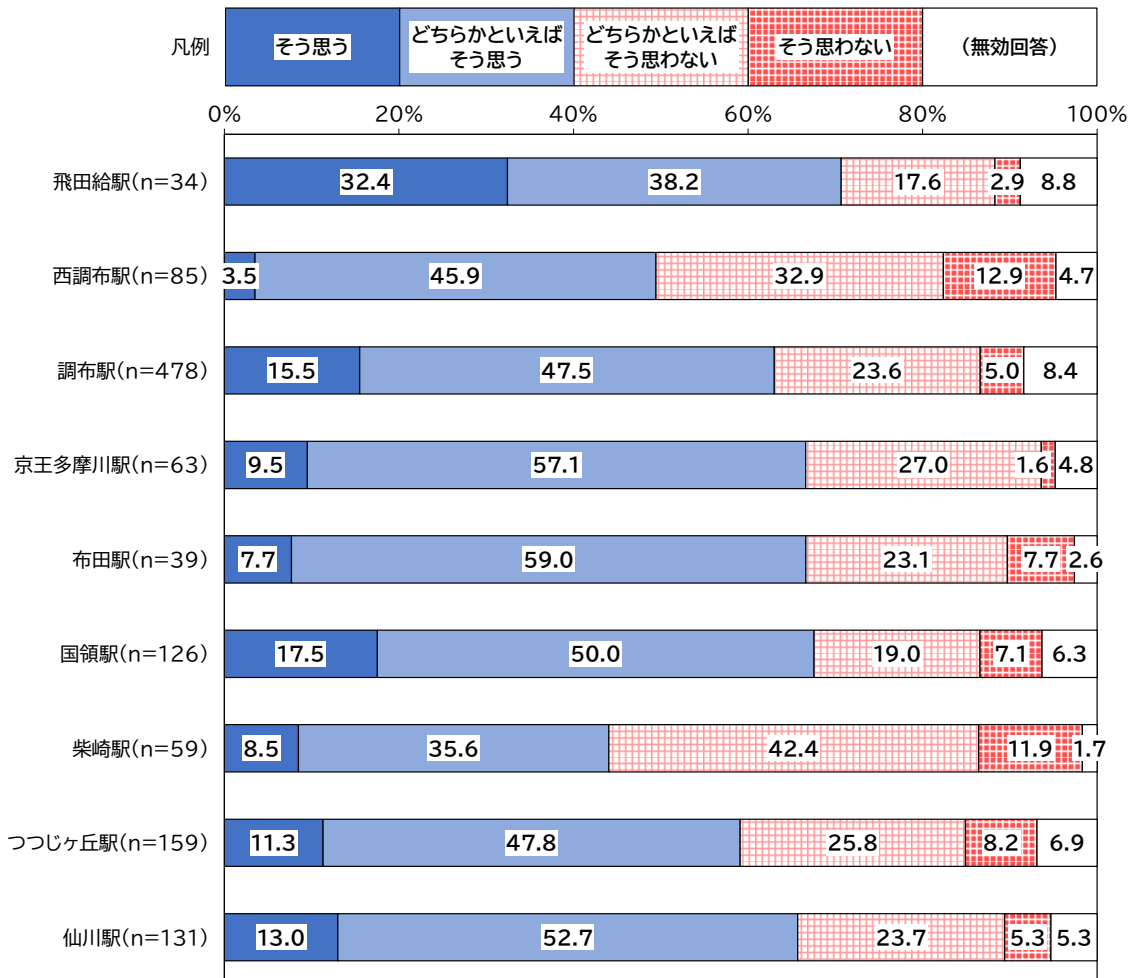
<地域別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、南部地域（中心市街地以外）の65.9%が最も高く、西部地域の57.9%が最も低くなっています。



<利用駅別>

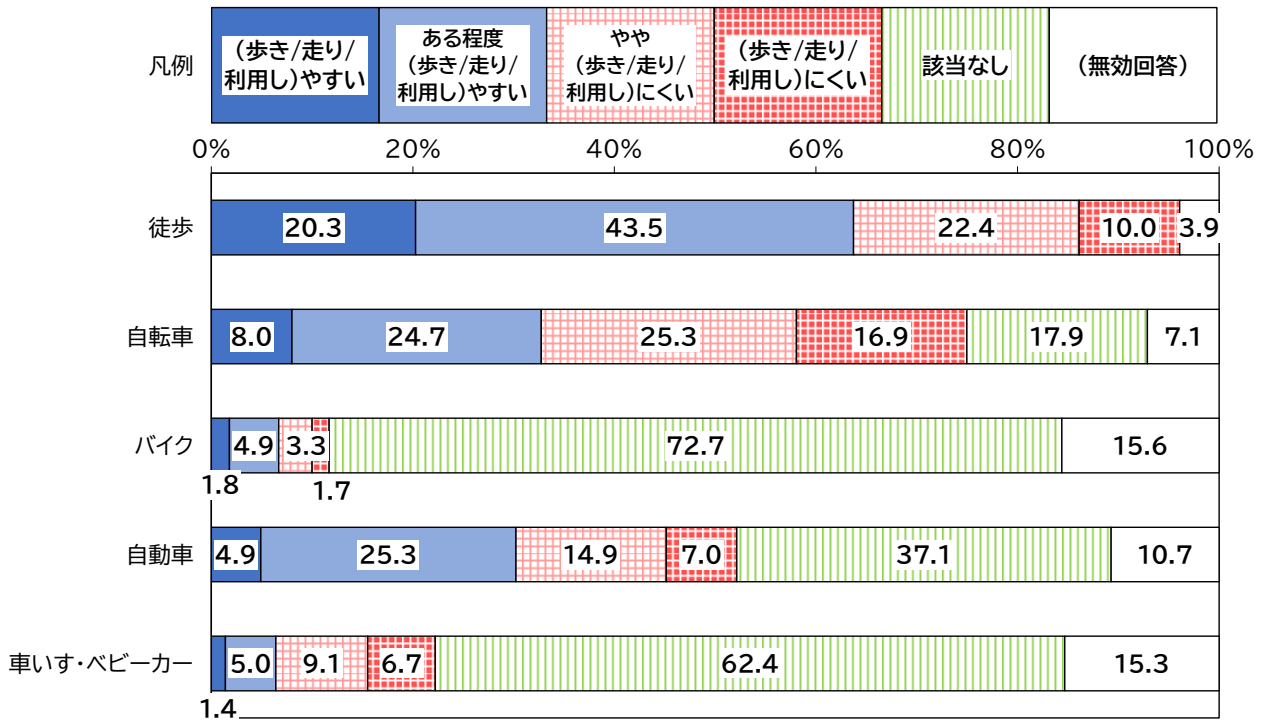
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、飛田給駅が70.6%で最も高く、次いで国領駅の67.5%，布田駅の66.7%の順となっていますが、柴崎駅（44.1%）と西調布駅（49.4%）は、他の利用駅に比べて低くなっています。



問 50) あなたは、普段利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。

<全体 (n=1,193) >

- 徒歩では、「歩きやすい」が20.3%、「ある程度歩きやすい」が43.5%で、合計で63.8%を占めています。
- 自転車では、「やや走りにくい」が25.3%、「走りにくい」が16.9%で、合計で42.2%を占めています。
- 車いす・ベビーカーは、「利用しやすい」と「ある程度利用しやすい」が合計で6.4%となっており、「やや利用しにくい」と「利用しにくい」の合計15.8%を大きく下回っています。

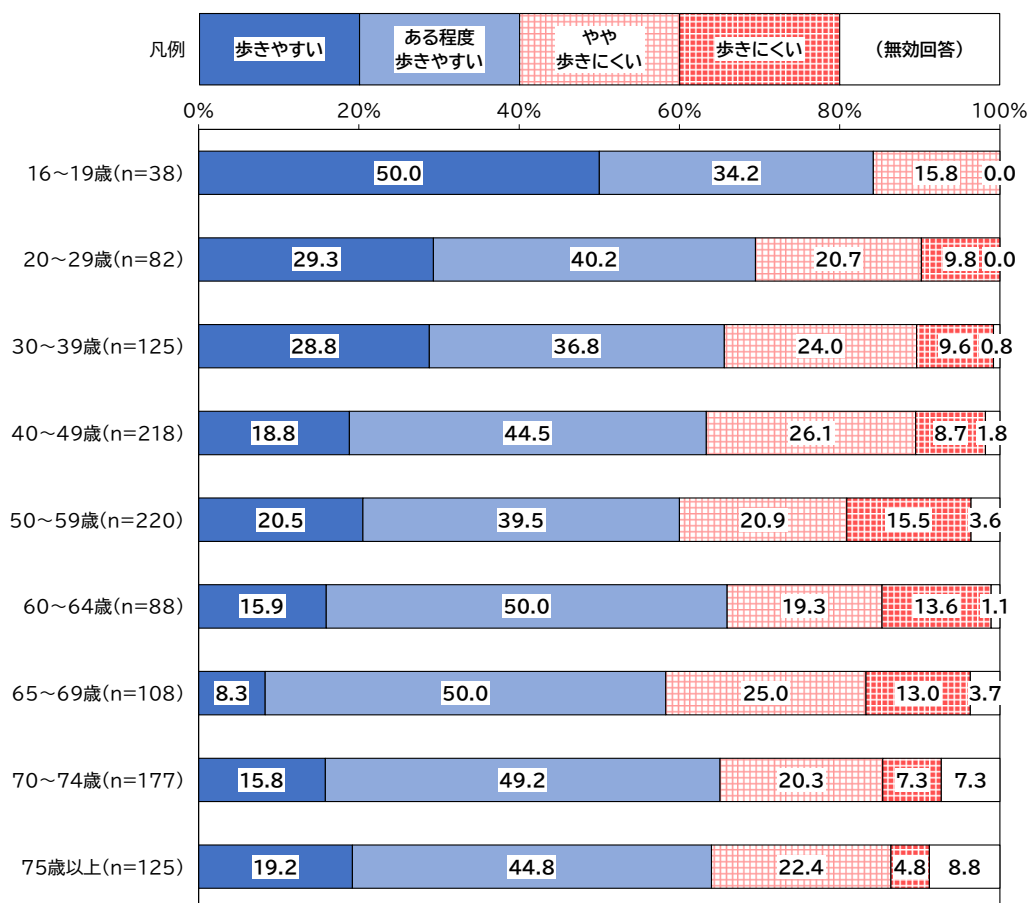


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

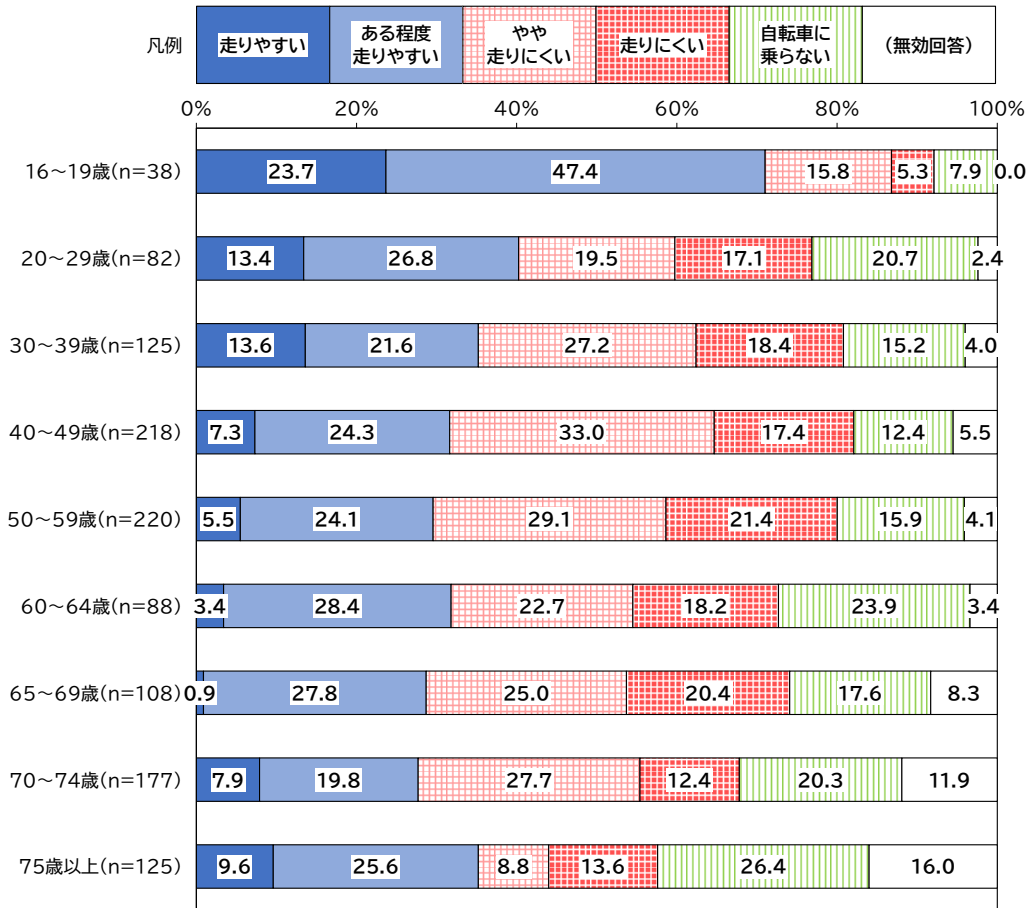
<年齢層別>

- 「ア 徒歩」では、いずれの年齢層も「歩きやすい」と「ある程度歩きやすい」の合計がおおむね60%を超えています。
- 「イ 自転車」では、16～19歳で「走りやすい」と「ある程度走りやすい」の合計が71.1%となっていますが、他の年齢層は、いずれもおおむね40%を下回っています。

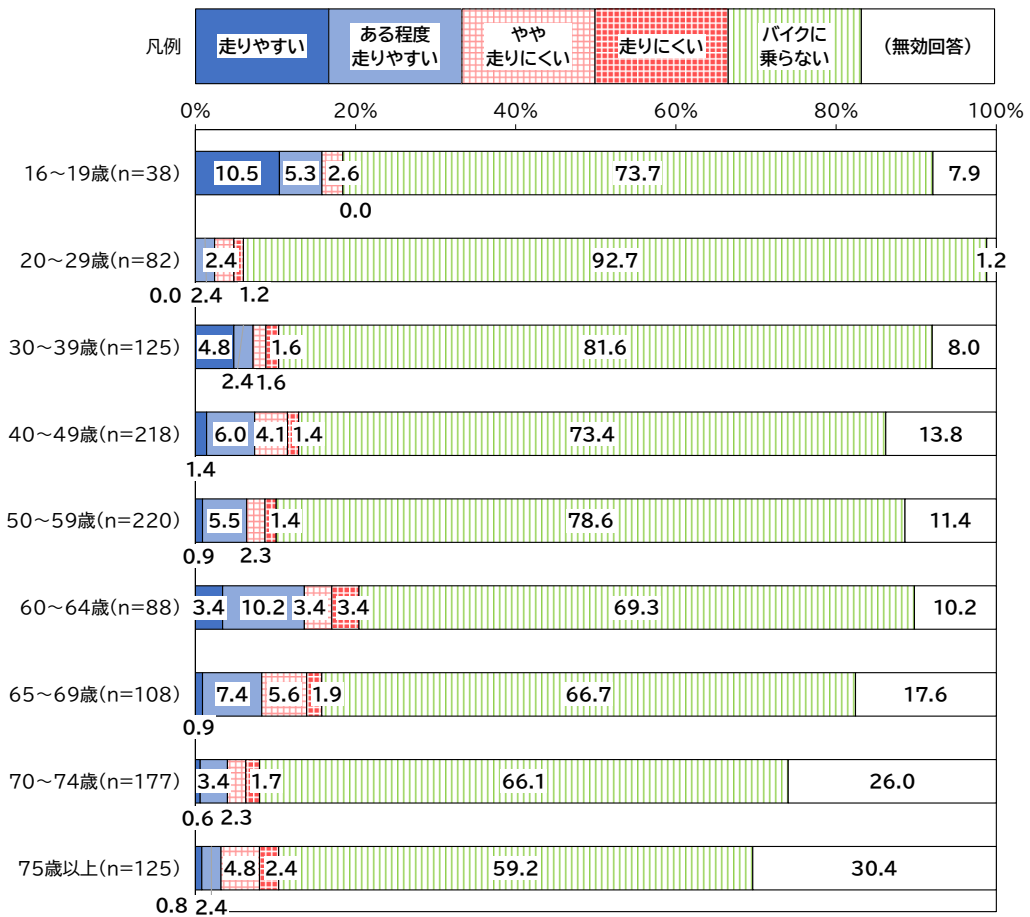
ア 徒歩



イ 自転車

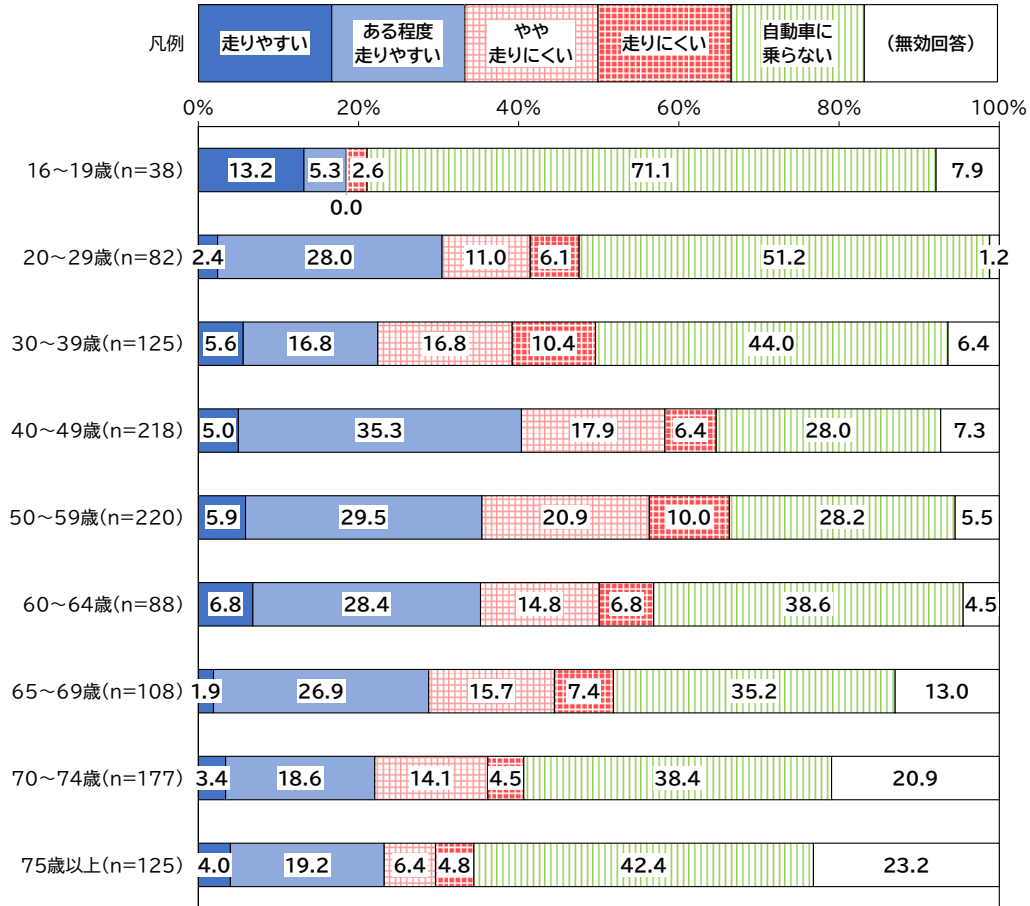


ウ バイク

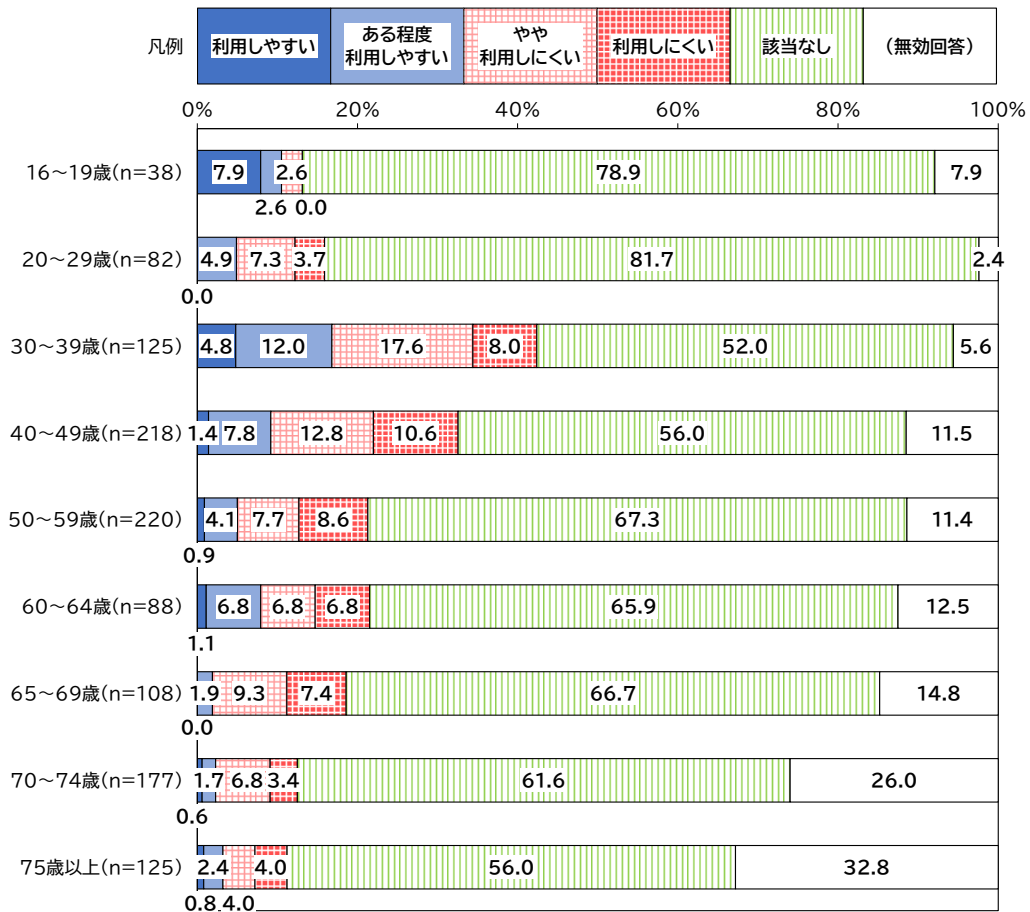


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

エ 自動車



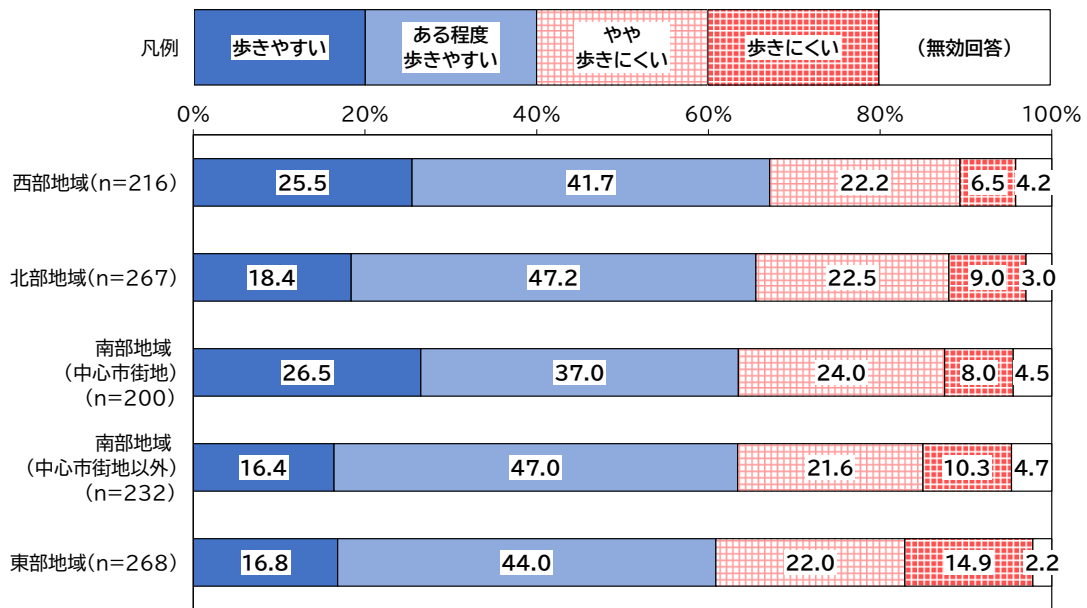
オ 車いす・ベビーカー



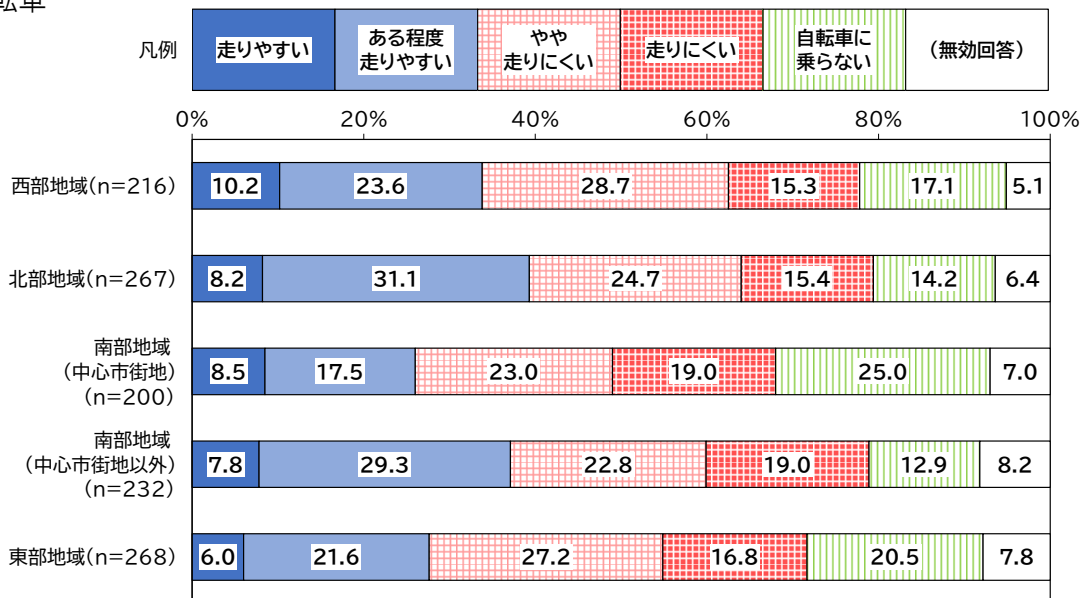
<地域別>

- 「ア 徒歩」では西部地域が「歩きやすい」、「ある程度歩きやすい」の合計が67.2%で最も高くなっており、いずれの地域も60%を超えています。
- 「イ 自転車」では、東部地域で「やや走りにくい」及び「走りにくい」の合計が、「走りやすい」及び「ある程度走りやすい」の合計を16.4ポイント上回っています。南部地域(中心市街地)でも同様に16.0ポイント上回っており、他の地域と比較して高くなっています。
- 車いす・ベビーカーは、北部地域、南部地域(中心市街地以外)及び東部地域で、「やや利用しにくい」及び「利用しにくい」の合計が、「利用しやすい」及び「ある程度利用しやすい」の合計を10ポイント以上上回っています。

ア 徒歩

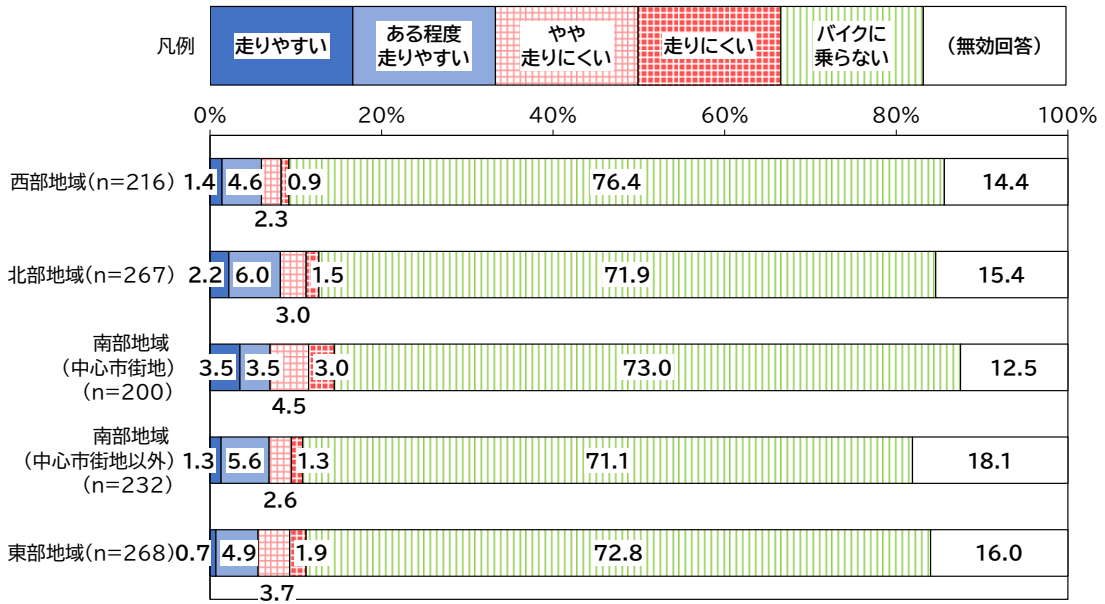


イ 自転車

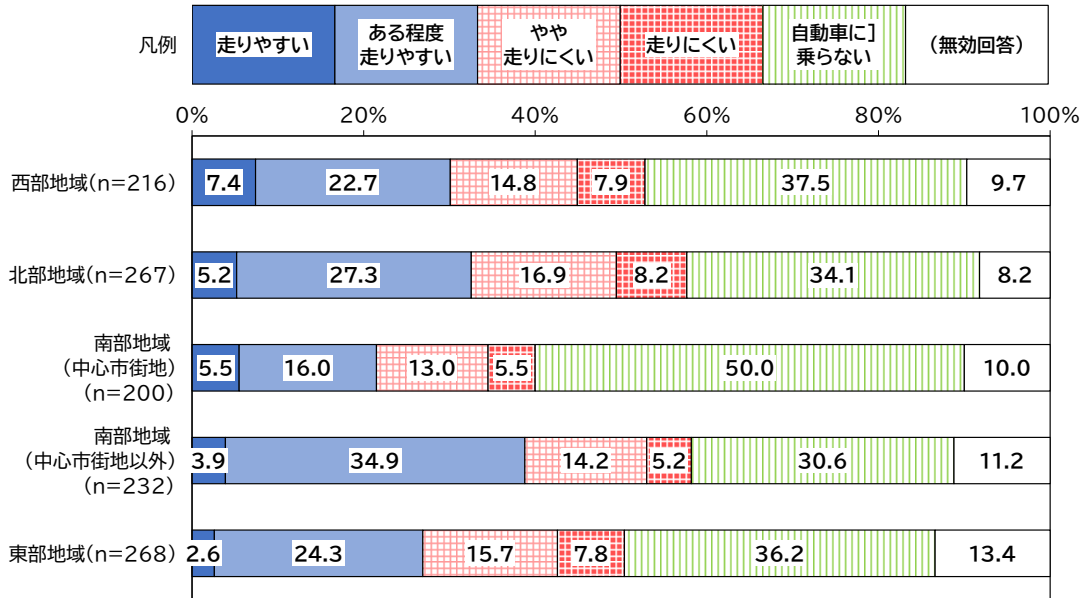


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

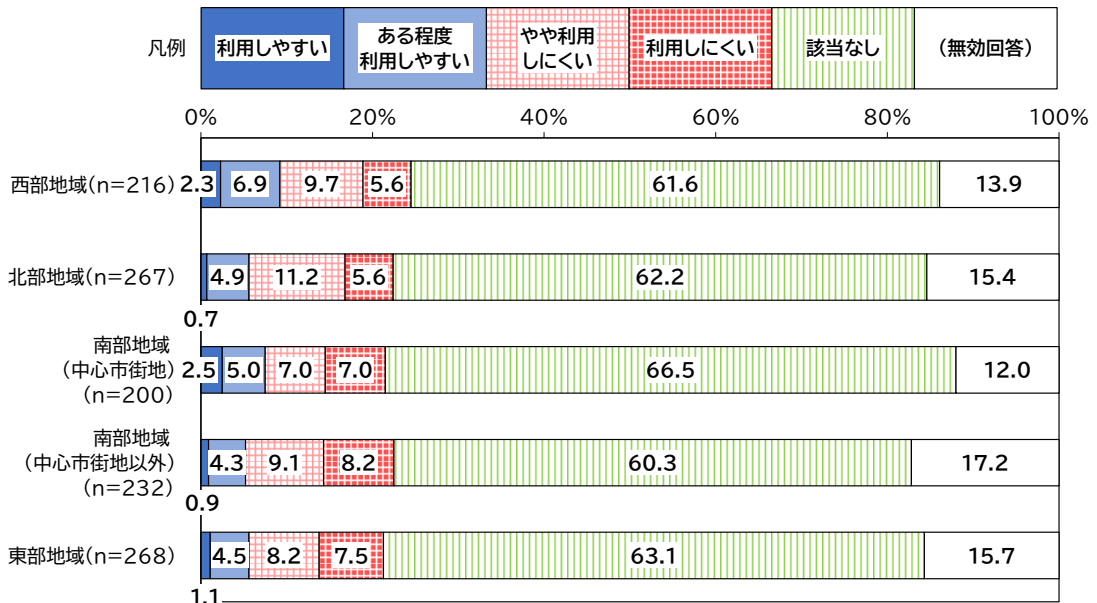
ウ バイク



エ 自動車



オ 車いす・ベビーカー

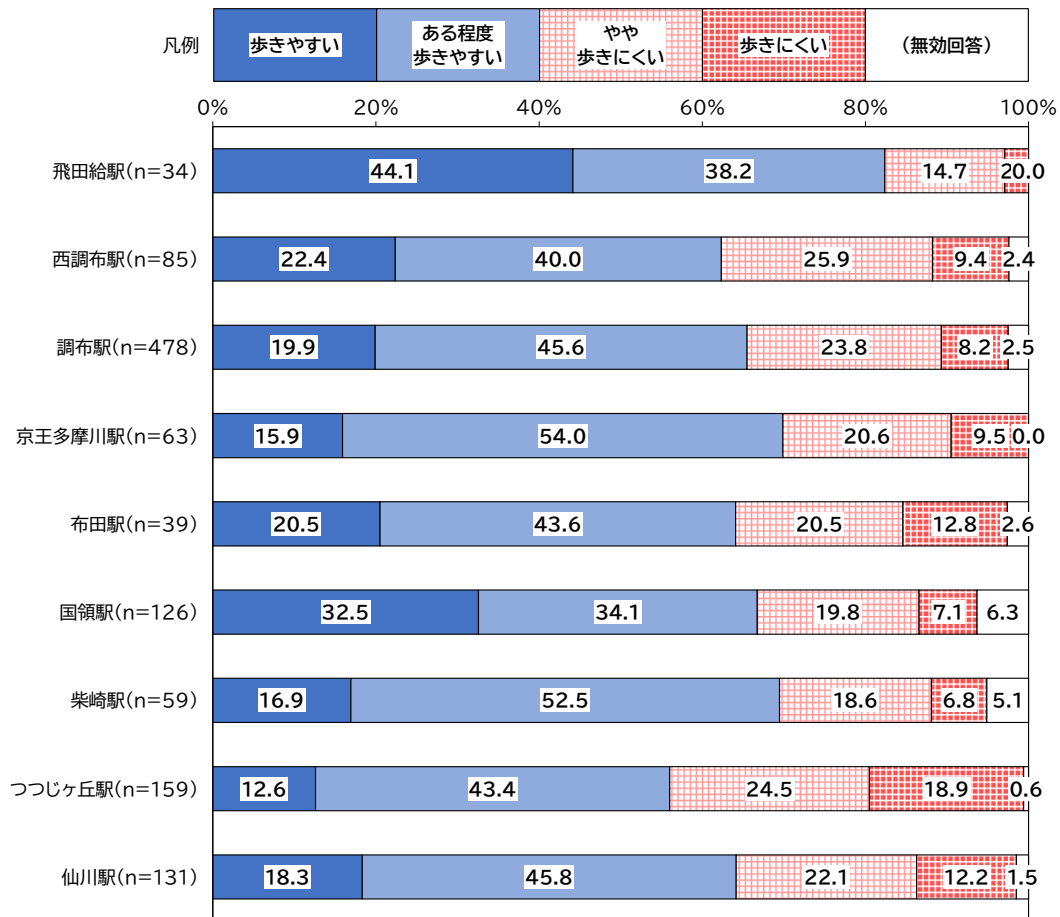


<利用駅別>

○「ア 徒歩」について、つつじヶ丘駅では「やや歩きにくい」と「歩きにくい」の合計が43.4%となっており、他の駅と比較して高くなっています。

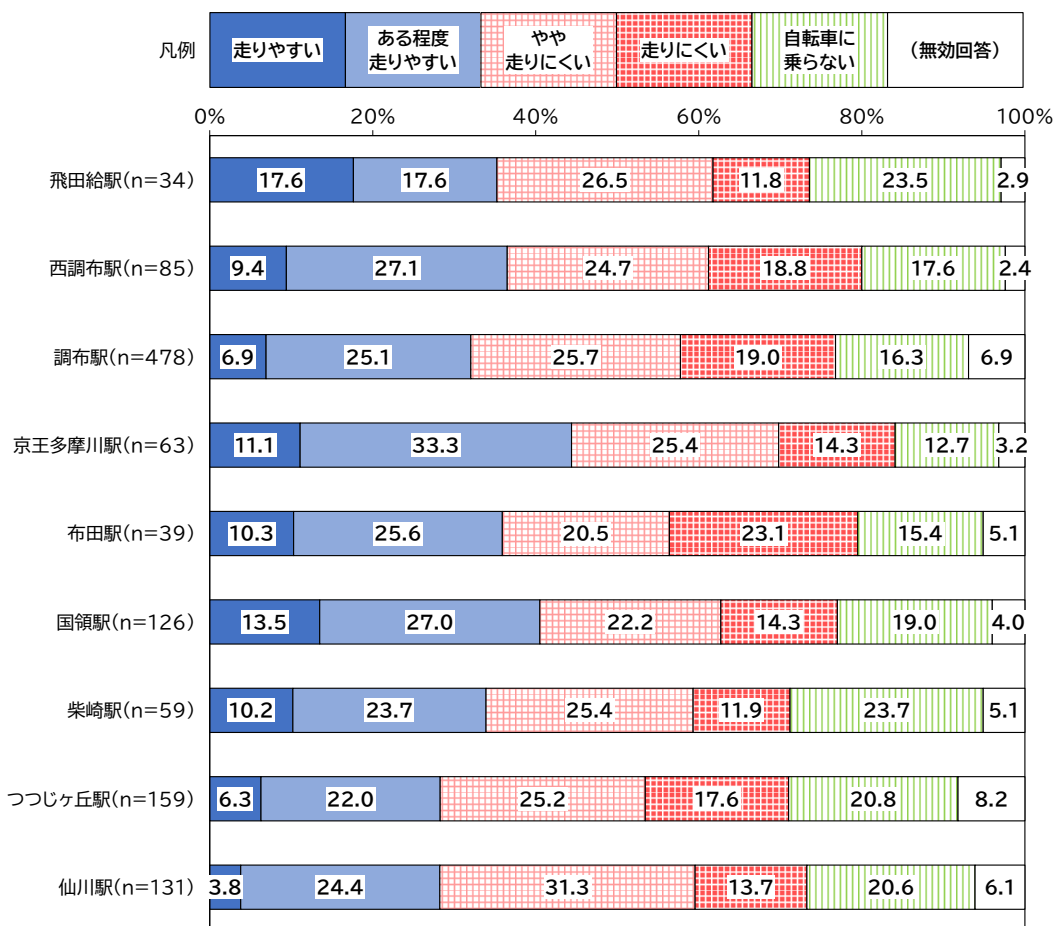
○「イ 自転車」については、西調布駅，調布駅，布田駅，つつじヶ丘駅及び仙川駅で「やや走りにくい」と「走りにくい」の合計が40%を超え，他の地域と比較してやや高くなっています。

ア 徒歩

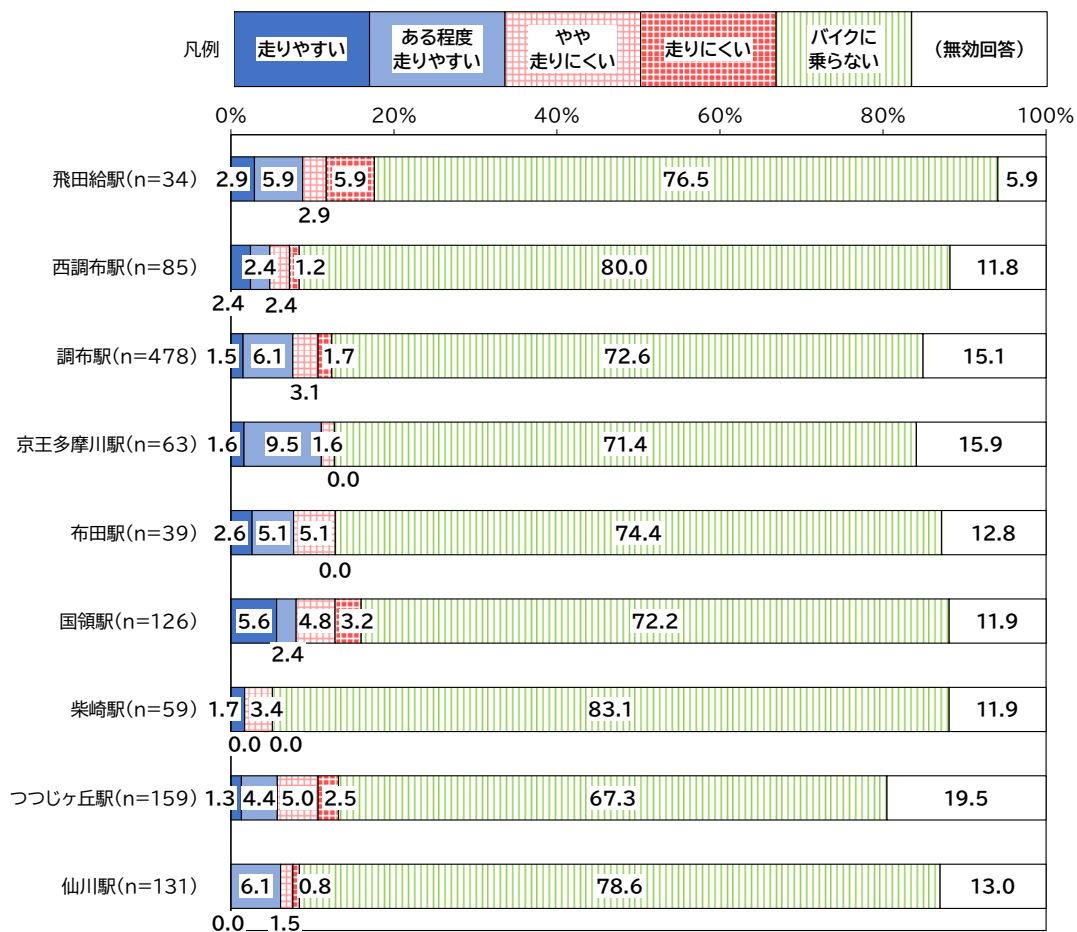


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

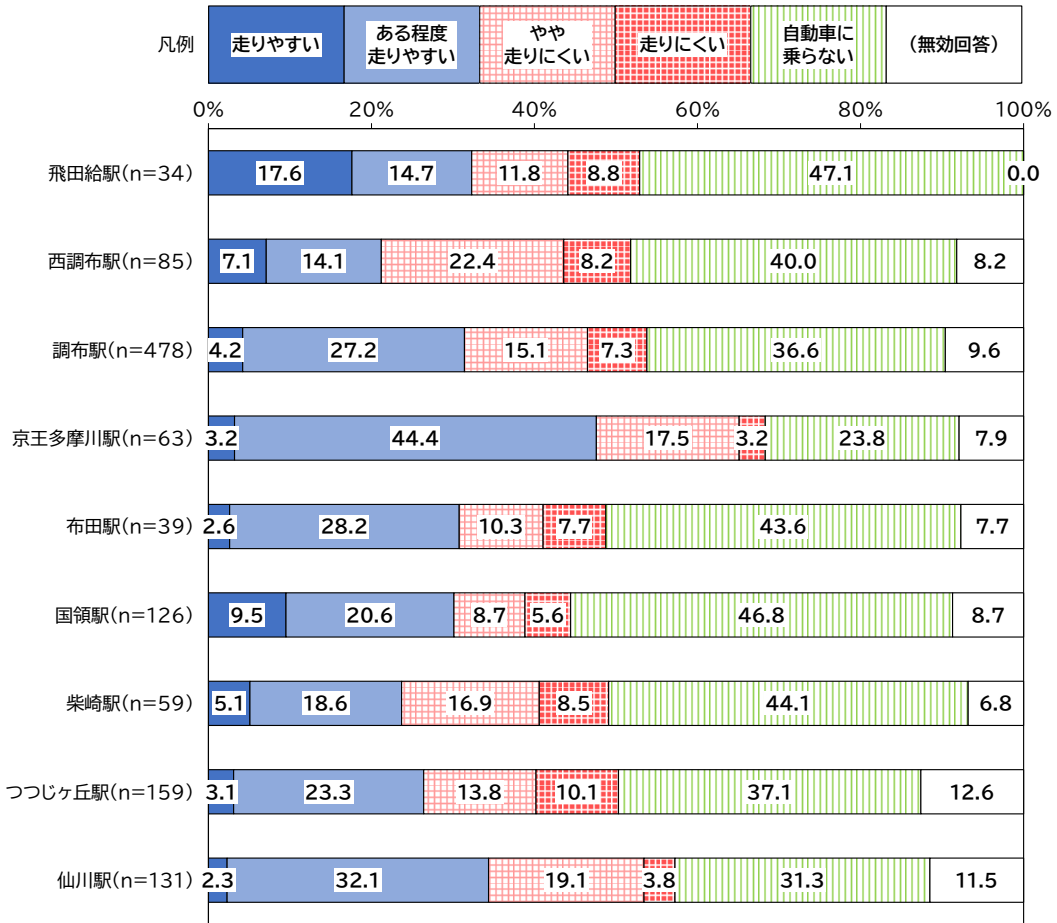
イ 自転車



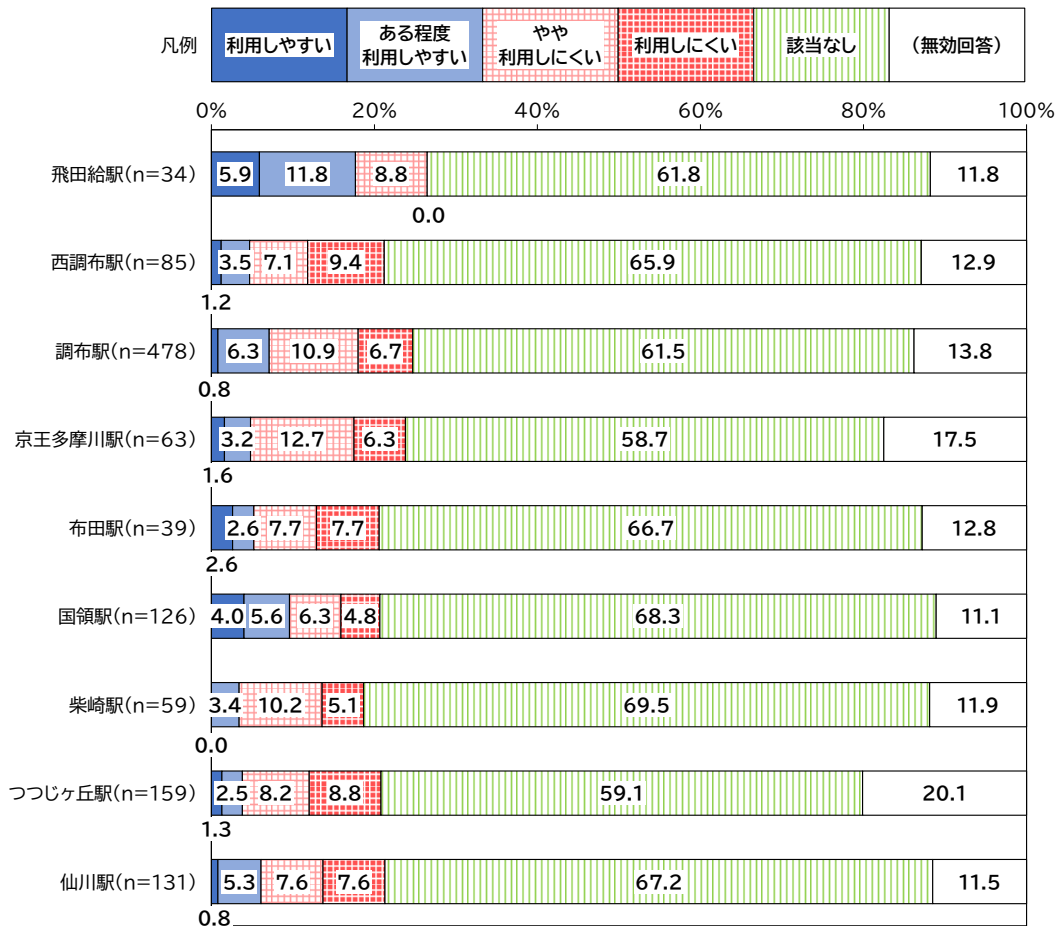
ウ バイク



エ 自動車



オ その他（車いす・ベビーカー）



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<自由記述>主な意見を抜粋

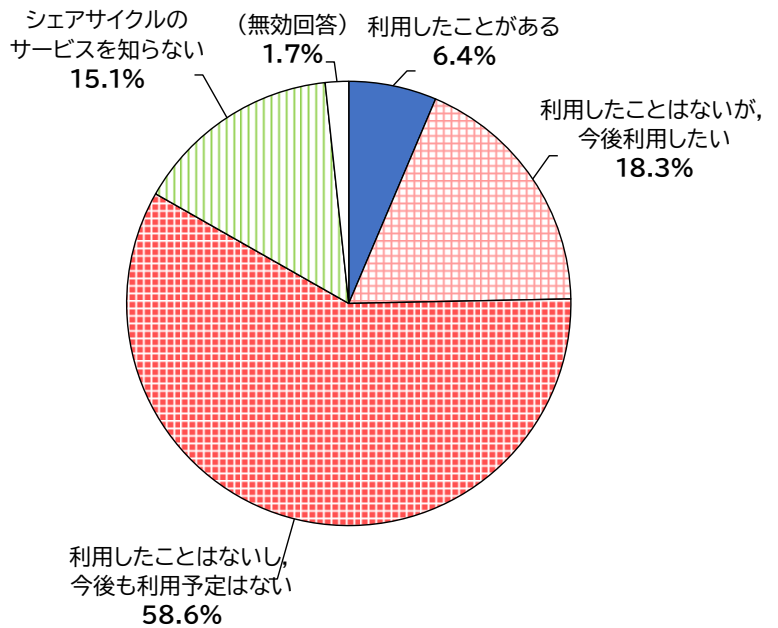
【図表 道路の新設整備や維持補修についてのご意見・ご提案】(232件)

- ・免許の必要なバイク，自動車は，道路整備云々は関係ない。どんな道でも走行できてあたり前なのだから。障がい者，お年寄，子どもが車や自転車に通行を妨げられない道やルールをしっかりとつくるべき。
- ・歩道が狭い上に電柱が邪魔でベビーカー，車イス利用の人が通りづらい。とにかく道路状況が昔のまま（40年前）とかわらない。

問51) あなたは、市内でシェアサイクルを利用したことはありますか。

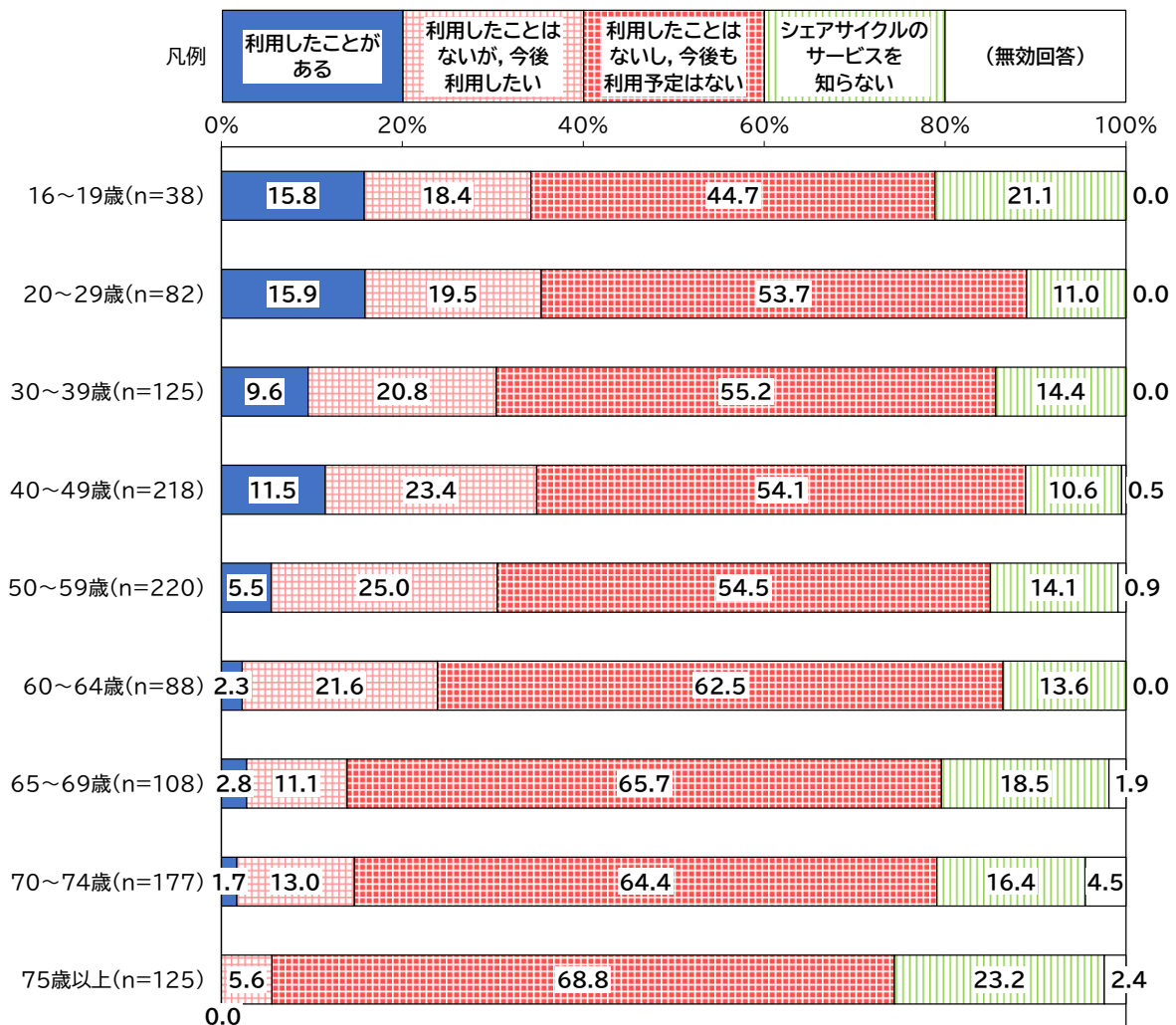
<全体 (n=1,193) >

○「利用したことがある」が6.4%、「利用したことはないが、今後利用したい」が18.3%で、合計で24.7%となっており、「利用したことはないし、今後も利用予定はない」は58.6%を占めています。



<年齢層別>

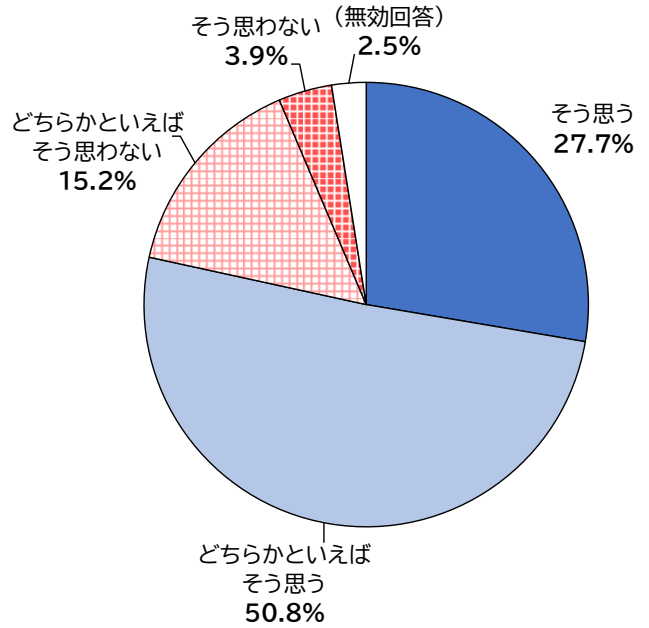
○49歳以下で、「利用したことがある」がおおむね10%以上となっていますが、60歳以上では、「利用したこともないし、今後も利用予定はない」が60%を超えています。



問 52) あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいと思いますか。

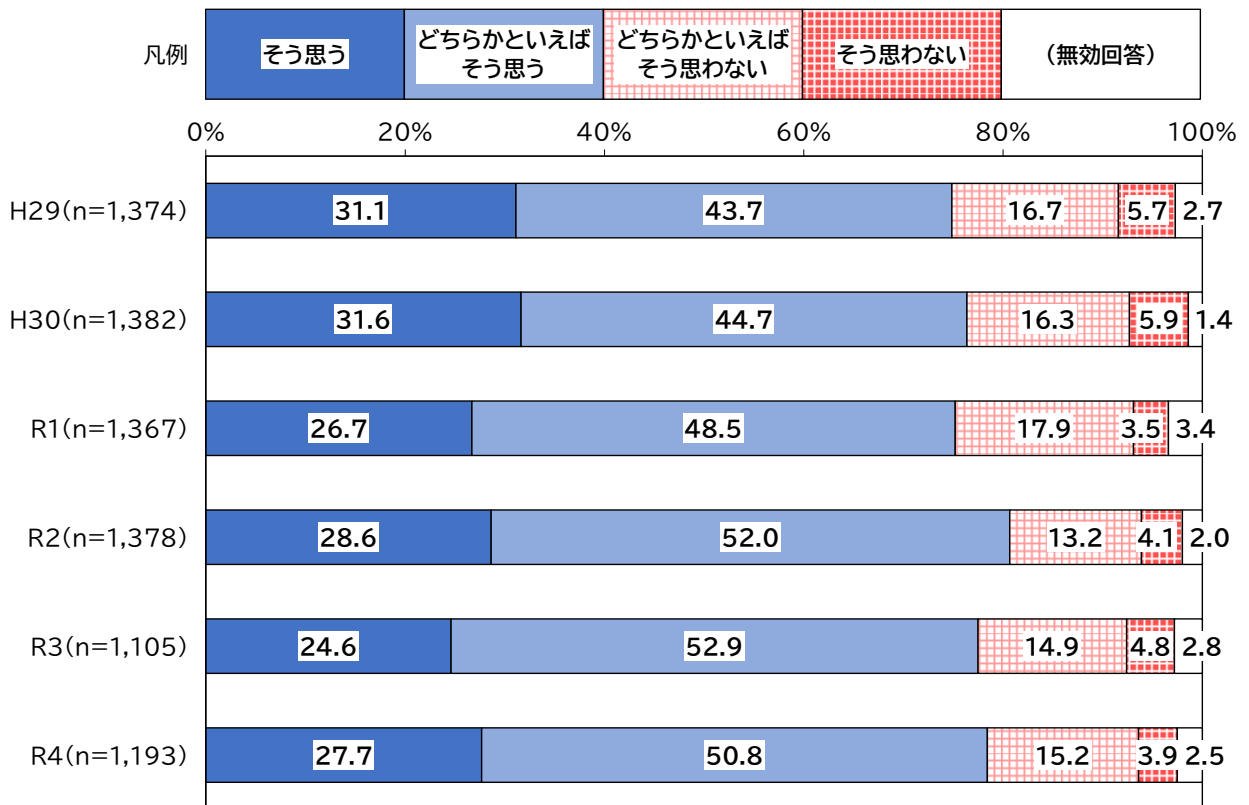
<全体 (n=1,193) >

○「そう思う」が 27.7%、「どちらかといえばそう思う」が 50.8%で、合計で 78.5%を占めています。



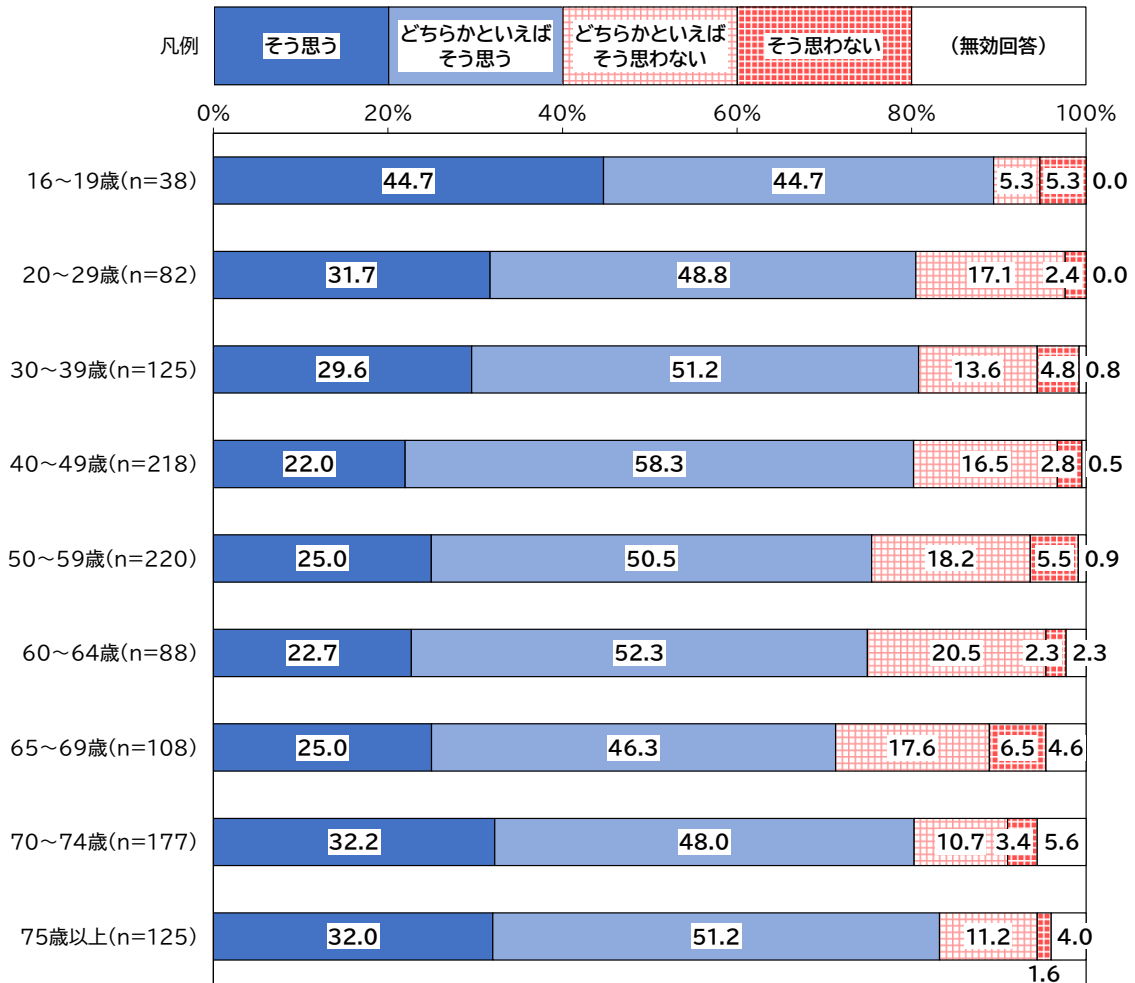
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、令和3年度(77.5%)は令和2年度(80.6%)より3.1ポイント減少しましたが、令和4年度(78.5%)は令和3年度に比べ1.0ポイント増加しています。



<年齢層別>

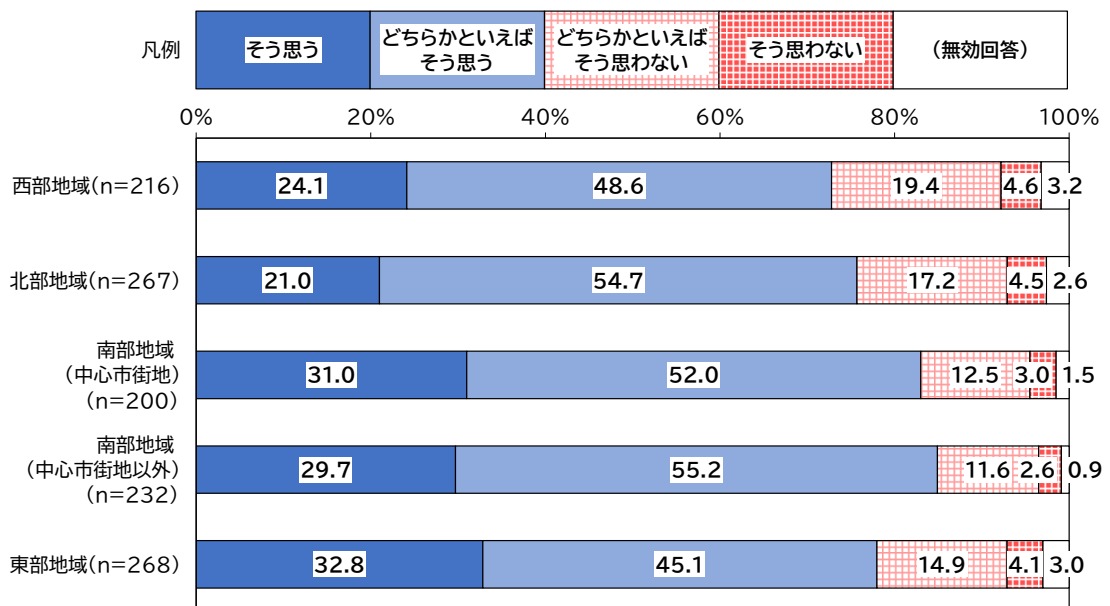
○16～19歳が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が89.4%と最も高く、次いで75歳以上の83.2%、30～39歳の80.8%の順となっています。



<地域別>

○いずれの地域でも、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が70%を超えています。

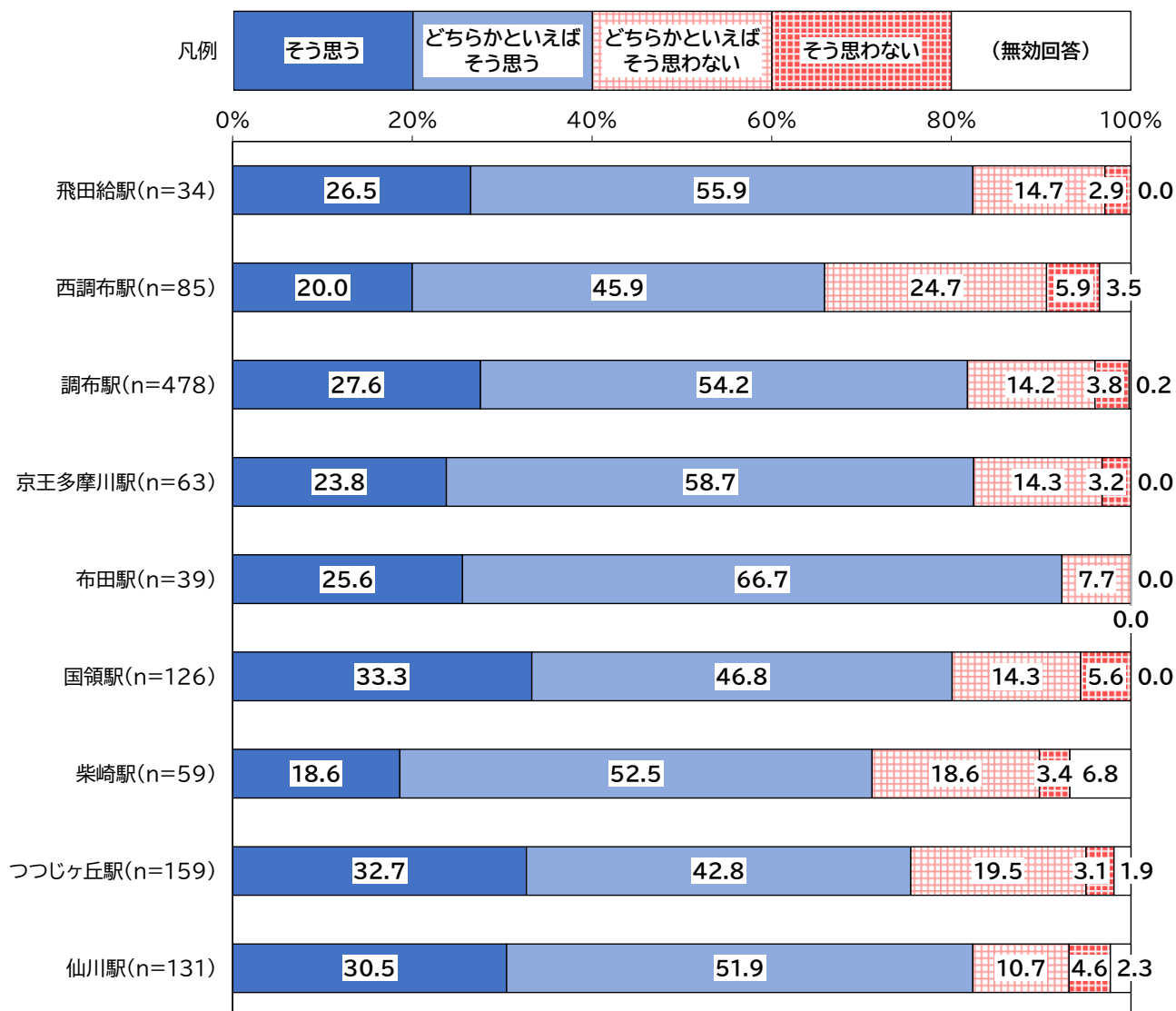
○西部地域では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が24.0%で、他の地域と比べてやや高くなっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<利用駅別>

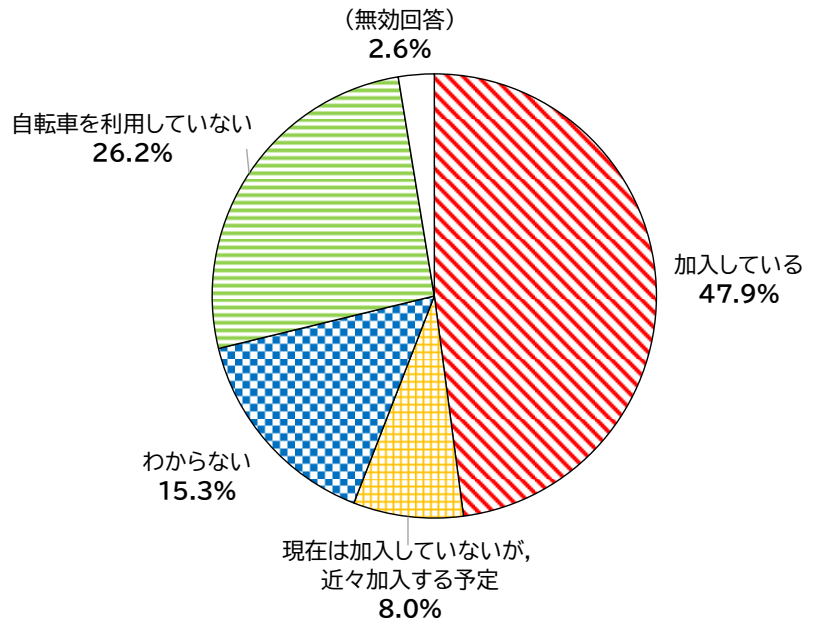
○布田駅（92.3%）をはじめ、多くの駅で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が80%を超えていますが、西調布駅（65.9%）、柴崎駅（71.1%）では、他の駅と比べて低くなっています。



問 53) あなたは、自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に参加していますか。

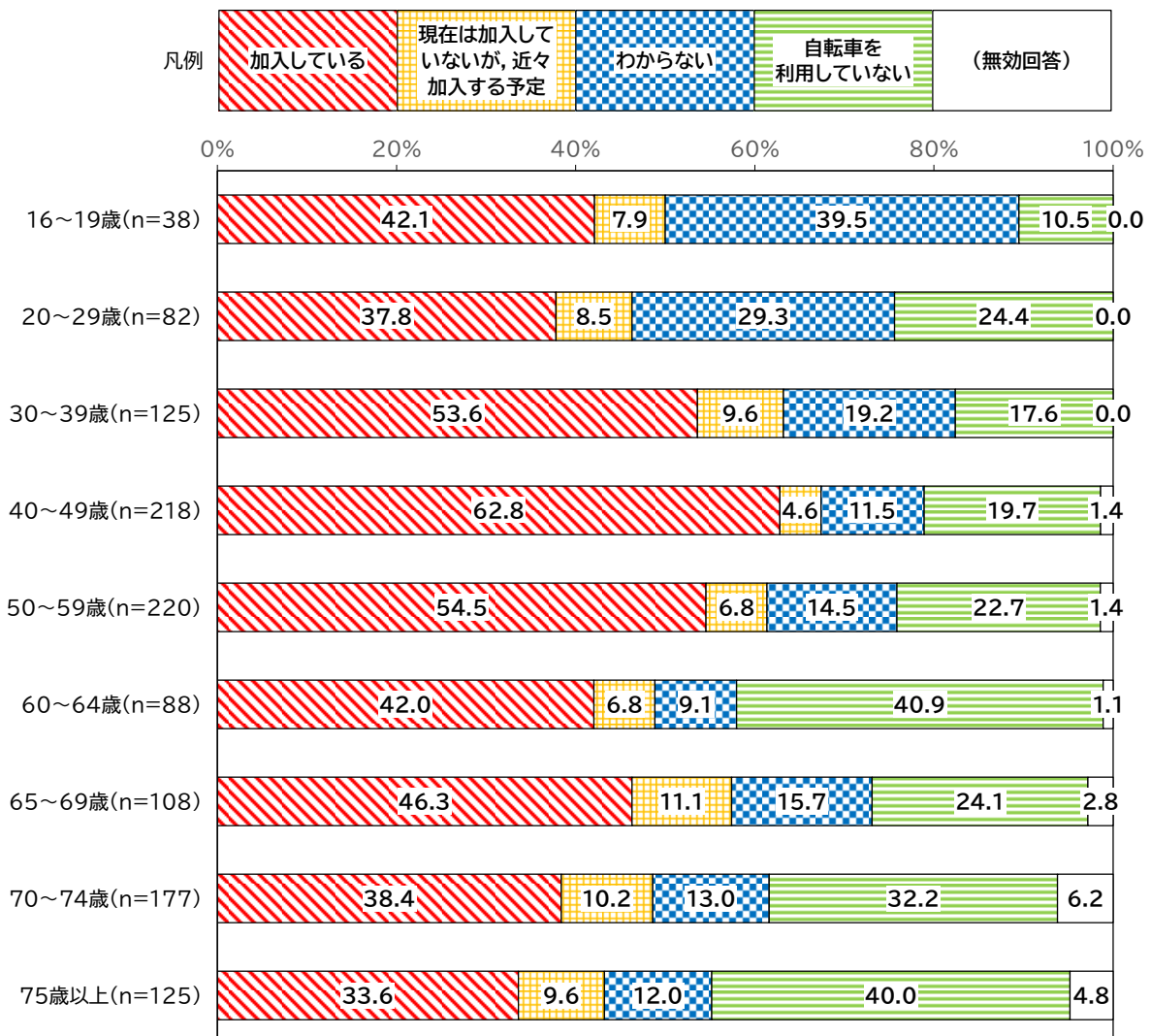
<全体 (n=1,193) >

○「加入している」が47.9%、「現在は加入していないが、近々加入する予定」が8.0%となっています。



<年齢層別>

○「加入している」は40～49歳が62.8%で最も高く、次いで50～59歳の54.5%、30～39歳の53.6%の順となっています。

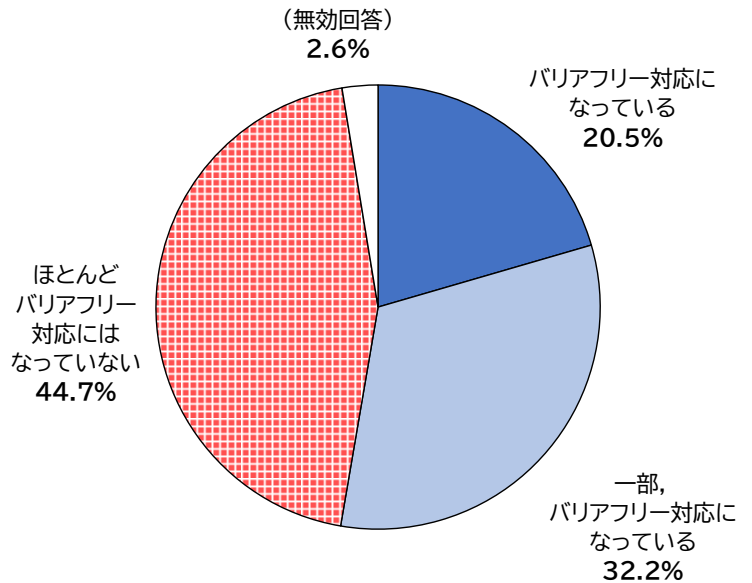


【住環境づくり・地球温暖化対策について】

問 54) あなたの住んでいる住居はバリアフリー（段差解消やスロープの設置など）対応になっていますか。

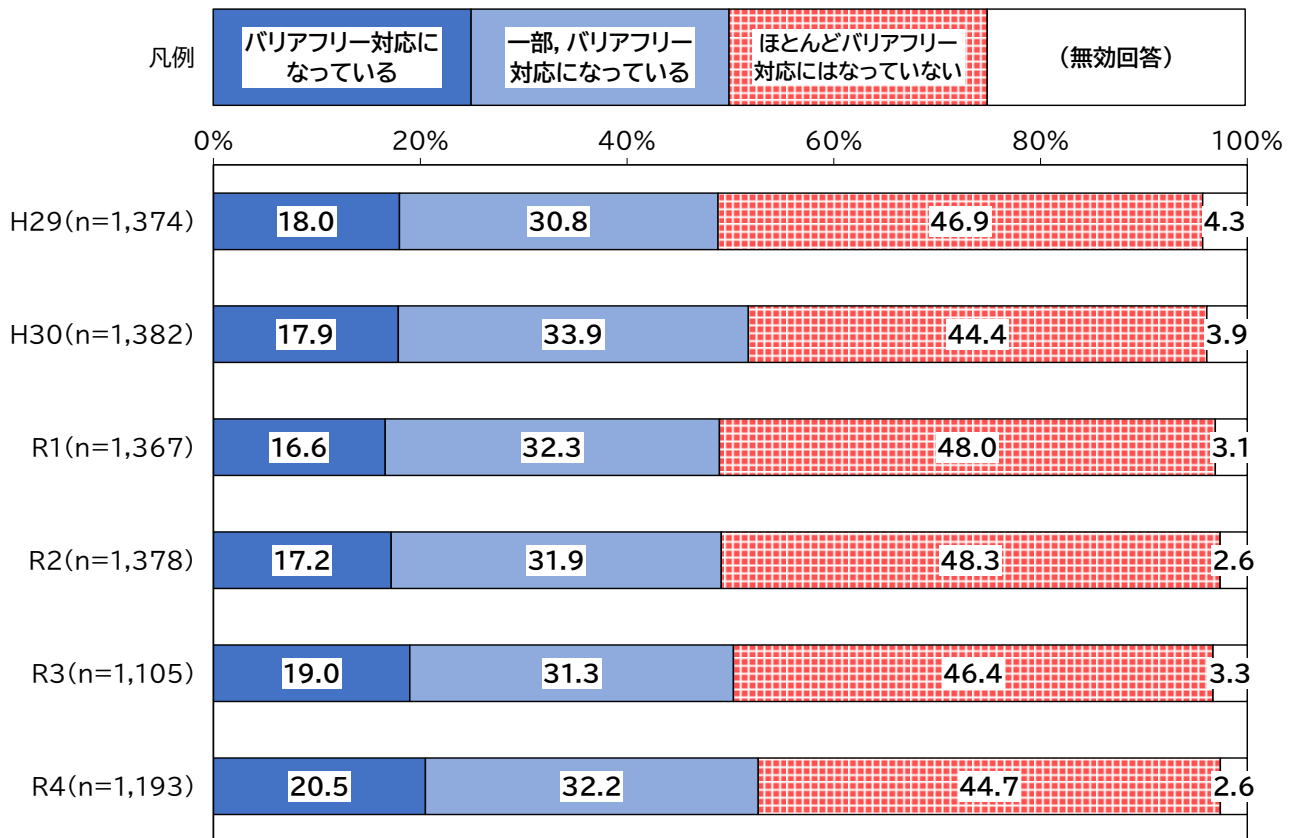
<全体 (n=1,193) >

○「バリアフリー対応になっている」が20.5%、「一部、バリアフリー対応になっている」が32.2%で、合計52.7%を占めています。



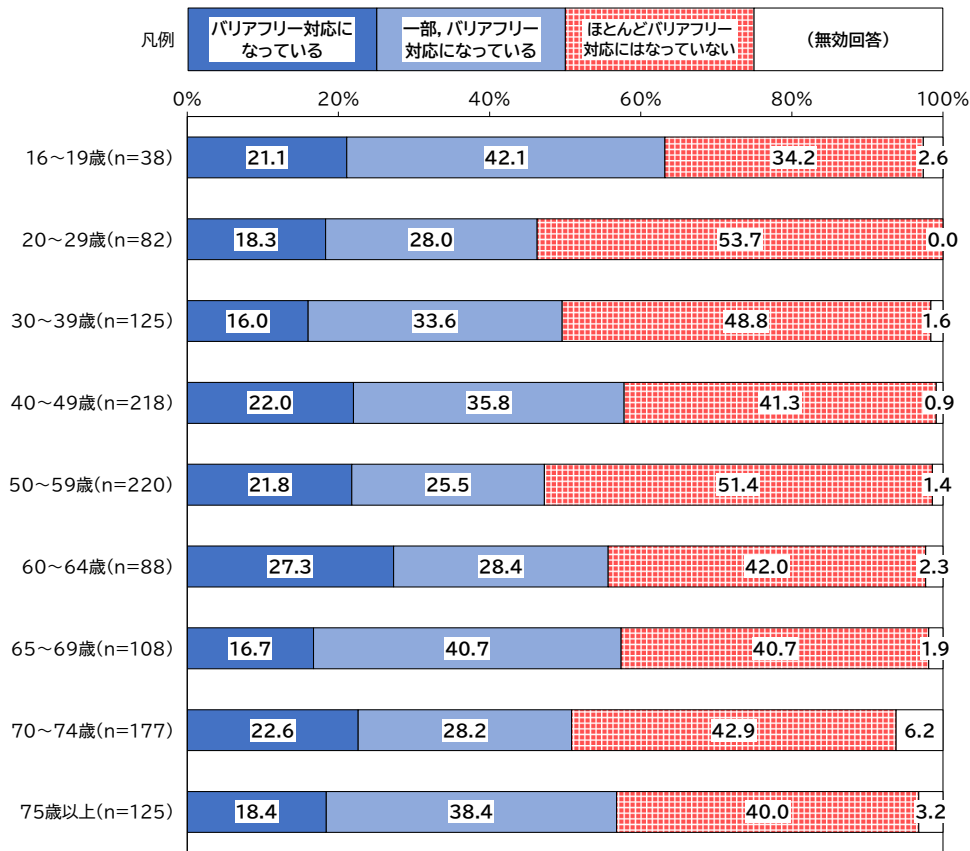
<経年比較>

○「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計は、おおむね50%前後で推移しており、令和4年度(52.7%)は令和3年度(50.3%)に比べ2.4ポイント増加しています。



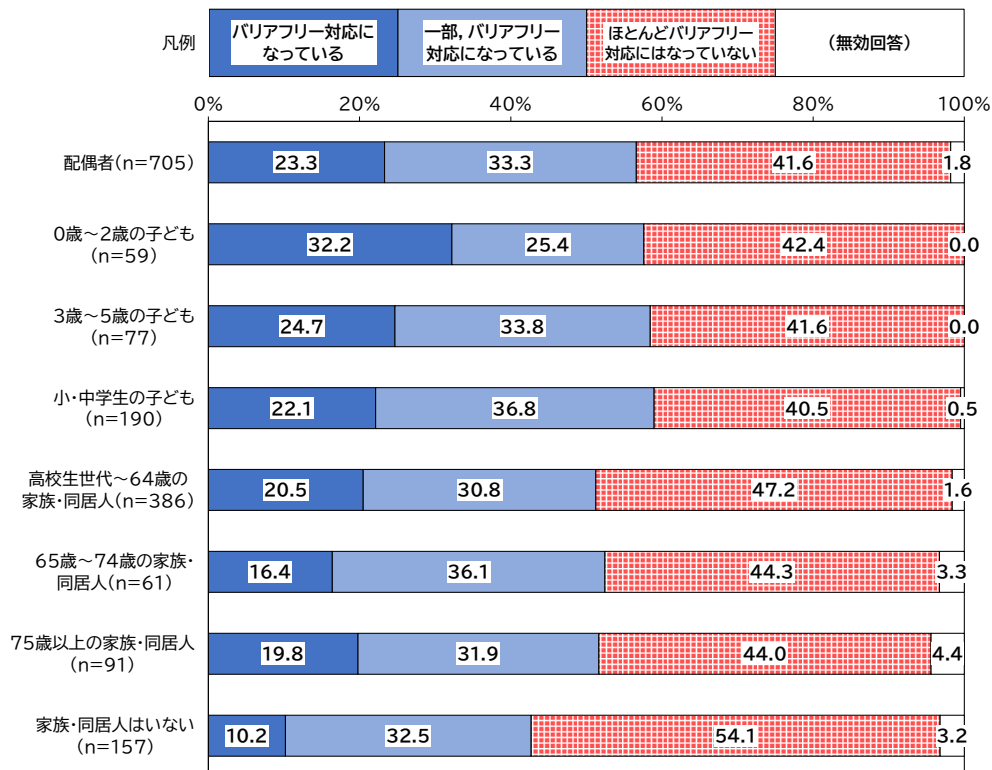
<年齢層別>

○60歳以上では、「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計が50%台となっていますが、70～74歳（50.8%）は、60歳以上の他の年齢層と比べてやや低くなっています。



<同居人別>

○家族・同居人はいないを除いて、「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計は50%を超えています。高校生世代以上・高齢者の家族・同居人は、他の同居人のケースと比べてやや低くなっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<自由記述>主な意見を抜粋

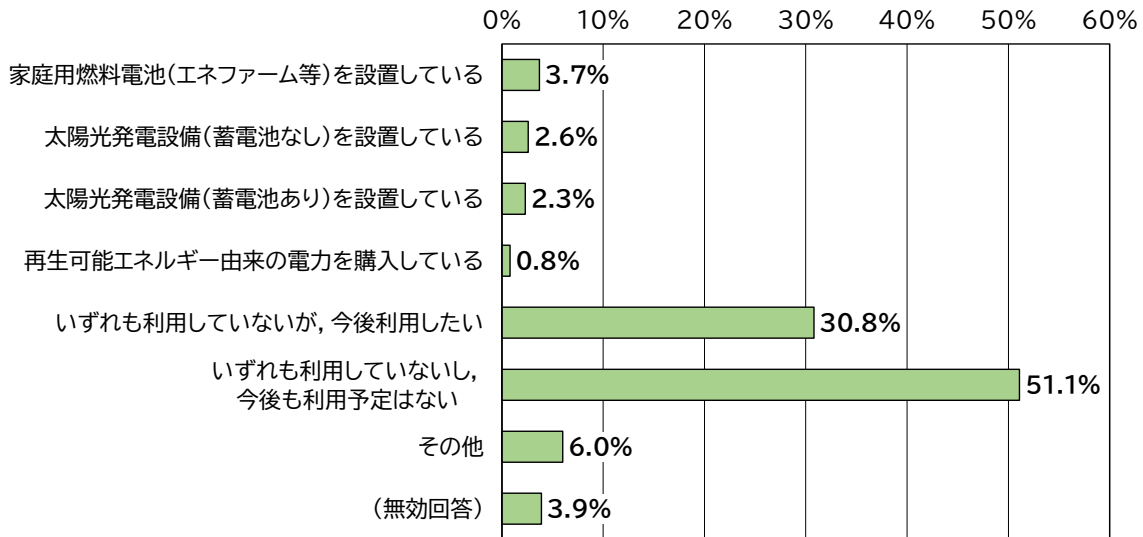
【図表 住環境づくりに関する施策についてのご意見・ご提案】(36件)

- ・自分は現在健常者ですが、仕事で障害のある方と接しているので、バリアフリー対応の物件や施設が増えていけば良いなと思います。
- ・今後バリアフリーに補修する際は、補助金を支給して頂ければありがたいです。

問 55) あなたの住んでいる住居において、再生可能エネルギーを利用してはいますか。また、創エネルギー設備を設置していますか。

<全体 (n=1,193)>

○「家庭用燃料電池(エネファーム等)を設置している」が3.7%、「太陽光発電設備(蓄電池なし)を設置している」が2.6%、「太陽光発電設備(蓄電池あり)を設置している」が2.3%となっています。なお、「いずれも利用していないし、今後も利用予定はない」は51.1%となっています。



<年齢層別>

○再生可能エネルギーの利用または創エネルギー設備を設置している回答のうち、40歳以上の年齢層で「家庭用燃料電池(エネファーム等)を設置している」の割合が高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
家庭用燃料電池(エネファーム等)を設置している	44	0	4	2	11	8	4	6	8	1
太陽光発電設備(蓄電池なし)を設置している	31	0	6	3	5	5	3	3	5	1
太陽光発電設備(蓄電池あり)を設置している	27	0	4	4	6	4	2	3	2	1
再生可能エネルギー由来の電力を購入している	10	0	2	2	0	1	1	1	2	1
いずれも利用していないが、今後利用したい	367	17	26	48	66	77	32	25	42	29
いずれも利用していないし、今後も利用予定はない	610	15	38	62	121	109	41	60	88	74
その他	72	5	4	5	9	15	3	8	14	9
(無効回答)	46	1	1	0	3	3	5	3	17	9

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

※網掛けは再生可能エネルギーの利用または創エネルギー設備を設置している回答のうちの割合の高いもの

<自由記述>主な意見を抜粋

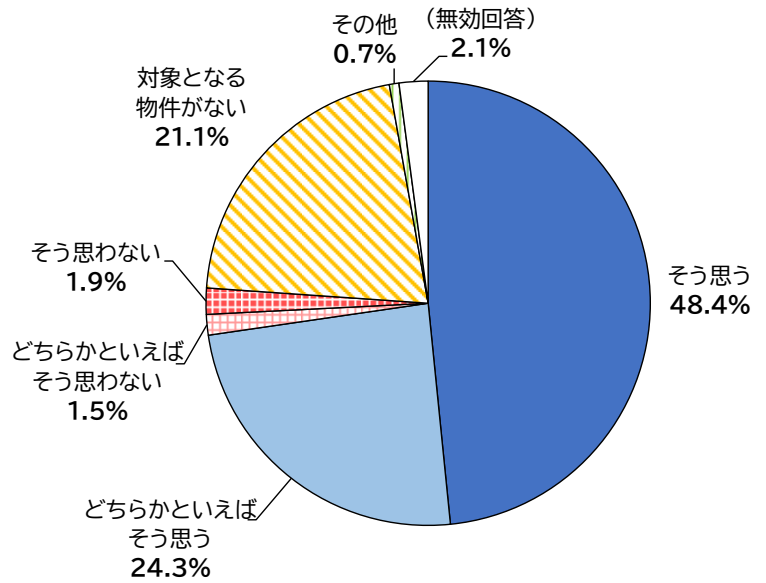
【図表 地球温暖化対策・ゼロカーボンシティに関する施策についてのご意見・ご提案】(48件)

- ・ 設備の設置、メンテナンスに対して補助金があれば、広く普及につながると思います。
- ・ 日照のための建築制限で北ながれの屋根が多く、太陽光パネルの設置上、相性が悪いと思う。
- ・ 街路樹・公園・花壇・ビルの屋上花園、菜園など、市内を緑豊かにするのも一つの方法だと思います。

問 56) あなたは、たとえばあなた自身や家族・親戚が所有する市内の物件について、適切な管理が行われていない空き家とならないための対策が必要だと思いますか。

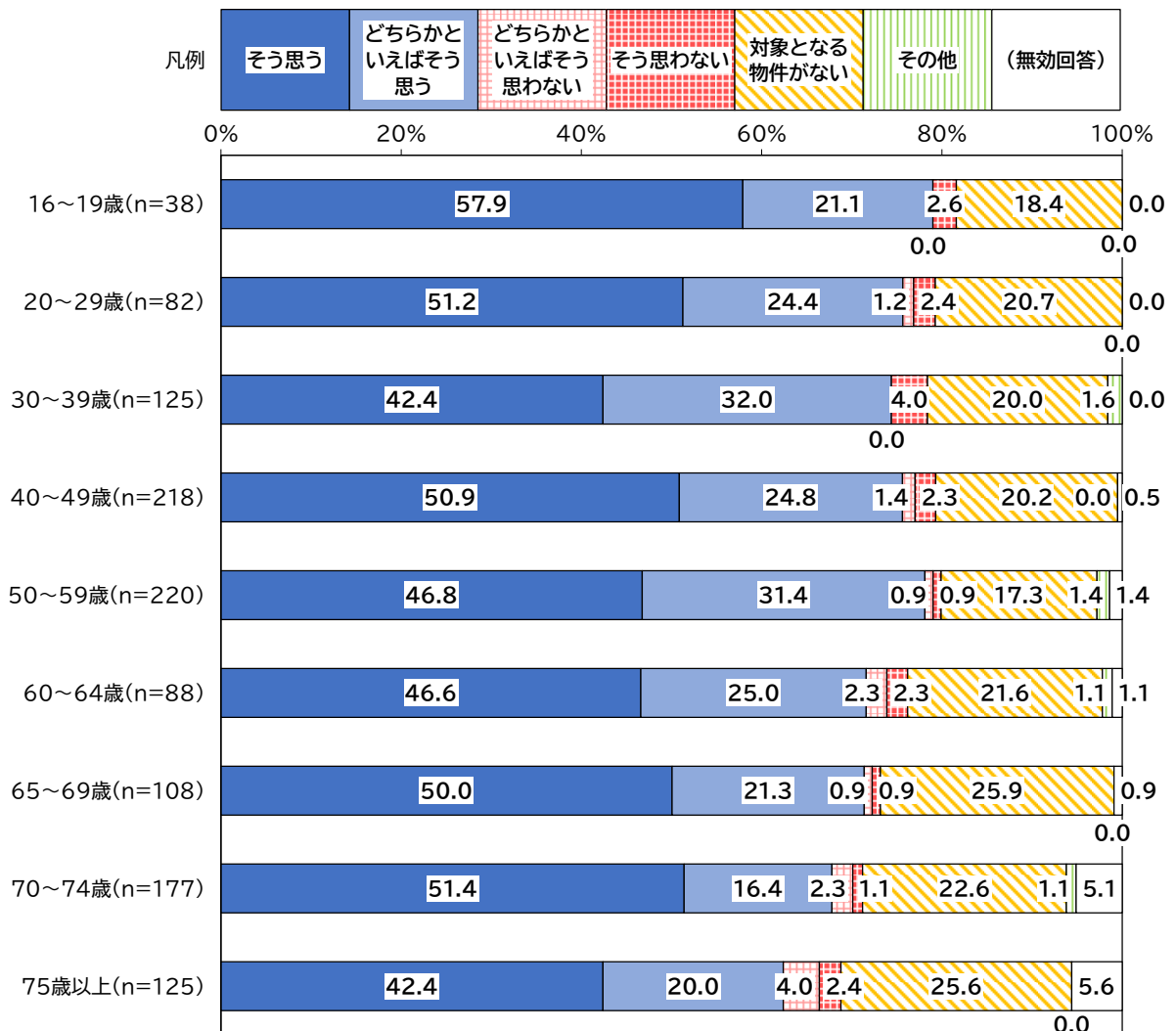
<全体 (n=1,193) >

○「そう思う」が 48.4%、「どちらかといえばそう思う」が 24.3%で、合計 72.7%を占めています。



<年齢層別>

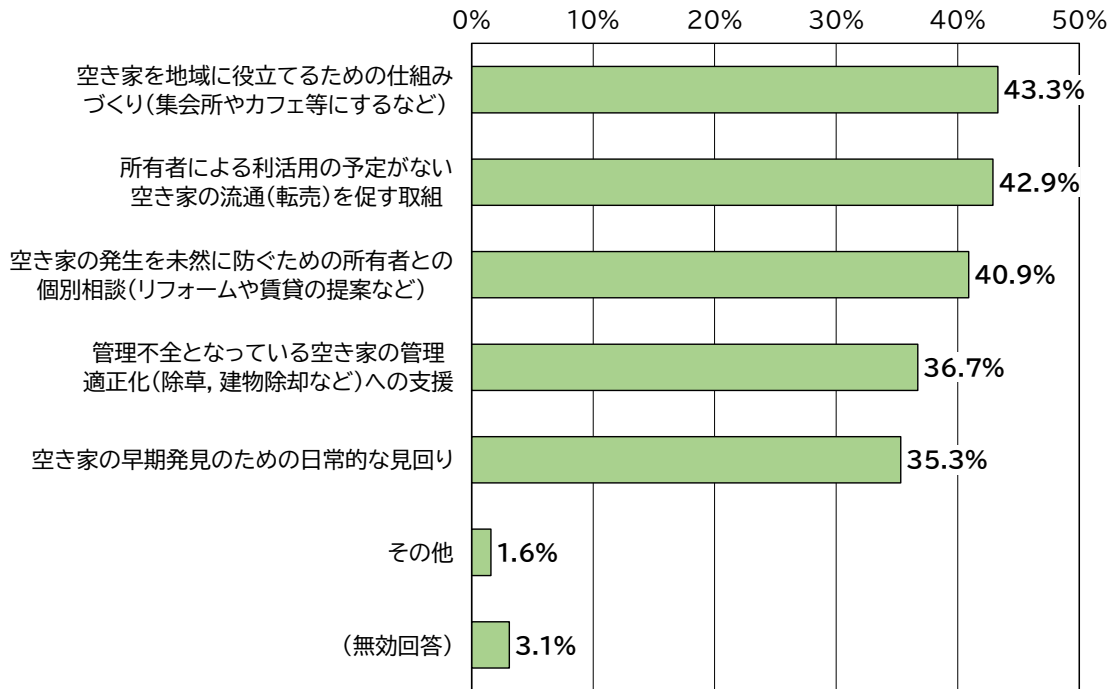
○69 歳以下の年齢層で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が 70%台となっています。



問 56-1) あなたは、空き家対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思えますか。

<全体 (n=1,193)>

○「空き家を地域に役立てるための仕組みづくり(集会所やカフェ等にするなど)」が43.3%で最も高く、次いで「所有者による利活用の予定がない空き家の流通(転売)を促す取組」の42.9%、「空き家の発生を未然に防ぐための所有者との個別相談(リフォームや賃貸の提案など)」の40.9%の順となっています。



<年齢層別>

○20~49歳では「空き家を地域に役立てるための仕組みづくり(集会所やカフェ等にするなど)」が、50~59歳では、「所有者による利活用の予定がない空き家の流通(転売)を促す取組」が、その他の年齢層では、「空き家の発生を未然に防ぐための所有者との個別相談(リフォームや賃貸の提案など)」が高くなっています。また、75歳以上では、「空き家の早期発見のための日常的な見回り」が高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
空き家を地域に役立てるための仕組みづくり(集会所やカフェ等にするなど)	516	17	37	66	107	96	34	45	66	46
	43.3%	44.7%	45.1%	52.8%	49.1%	43.6%	38.6%	41.7%	37.3%	36.8%
所有者による利活用の予定がない空き家の流通(転売)を促す取組	512	7	29	56	101	114	34	50	76	43
	42.9%	18.4%	35.4%	44.8%	46.3%	51.8%	38.6%	46.3%	42.9%	34.4%
空き家の発生を未然に防ぐための所有者との個別相談(リフォームや賃貸の提案など)	488	18	31	55	88	77	39	51	80	43
	40.9%	47.4%	37.8%	44.0%	40.4%	35.0%	44.3%	47.2%	45.2%	34.4%
管理不全となっている空き家の管理適正化(除草, 建物除却など)への支援	438	10	29	44	78	91	31	48	64	40
	36.7%	26.3%	35.4%	35.2%	35.8%	41.4%	35.2%	44.4%	36.2%	32.0%
空き家の早期発見のための日常的な見回り	421	16	30	47	68	63	32	44	59	58
	35.3%	42.1%	36.6%	37.6%	31.2%	28.6%	36.4%	40.7%	33.3%	46.4%
その他	19	1	1	4	3	4	1	1	1	3
	1.6%	2.6%	1.2%	3.2%	1.4%	1.8%	1.1%	0.9%	0.6%	2.4%
(無効回答)	37	0	1	1	1	3	2	2	13	11
	3.1%	0.0%	1.2%	0.8%	0.5%	1.4%	2.3%	1.9%	7.3%	8.8%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 空き家対策についてのご意見・ご提案】(55件)

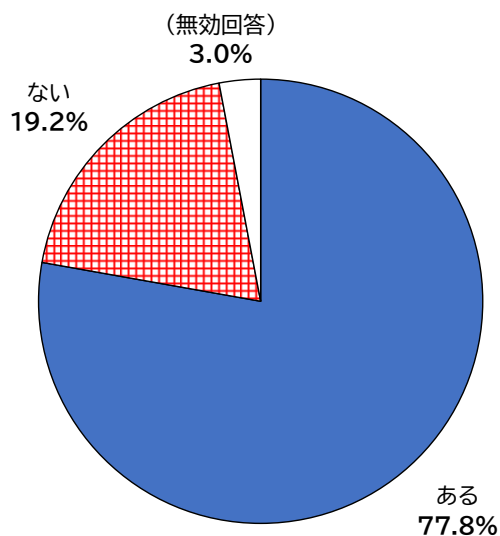
- ・住宅価格が高騰している折、空き家にしておくのはもったいないので、賃貸や宿泊施設への転換など、流通させたらよい。
- ・景観や防犯上、問題があるため、取り壊しも必要ではないか。除草や樹木の伐採など最低限の管理はして欲しい。
- ・空き家にならないための支援や、空き家になった場合の利活用、除却のための補助金などが必要ではないか。

【平和について】

問57) あなたは、これまでに戦争中の話をしたり聞いたりしたことがありますか。

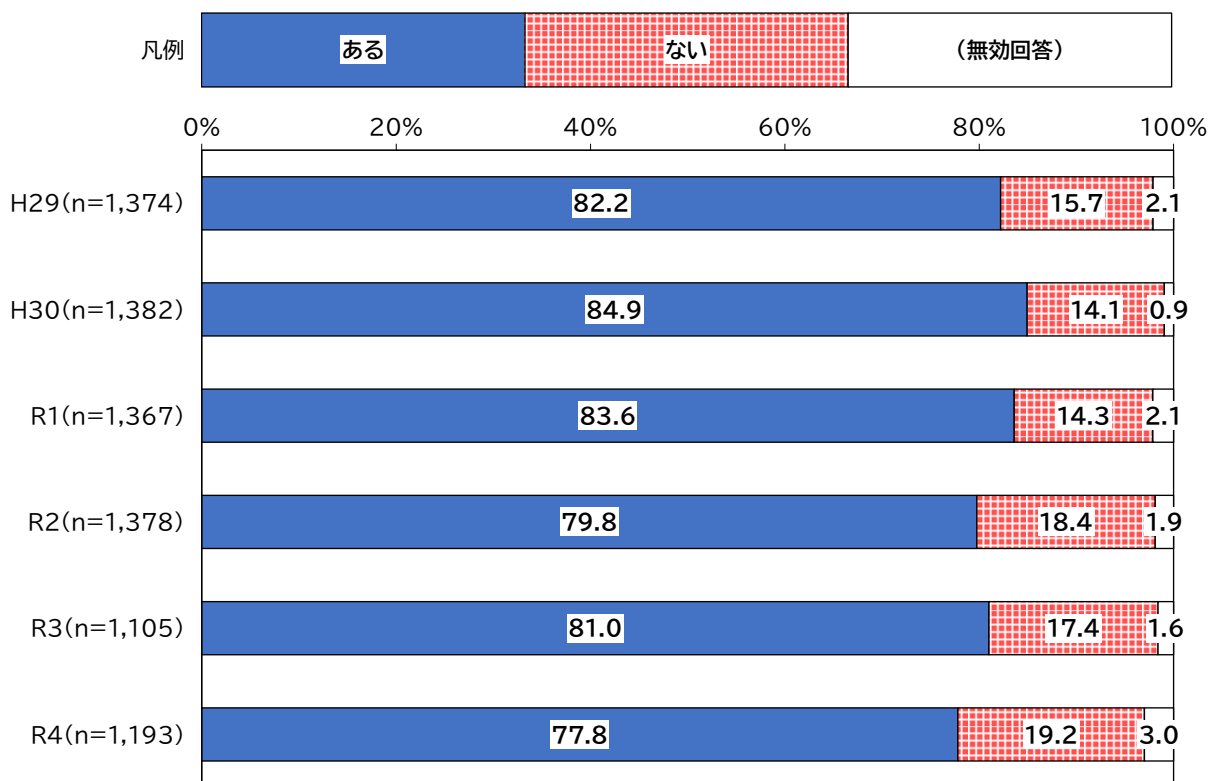
＜全体 (n=1,193) ＞

○「ある」が77.8%、「ない」が19.2%となっています。



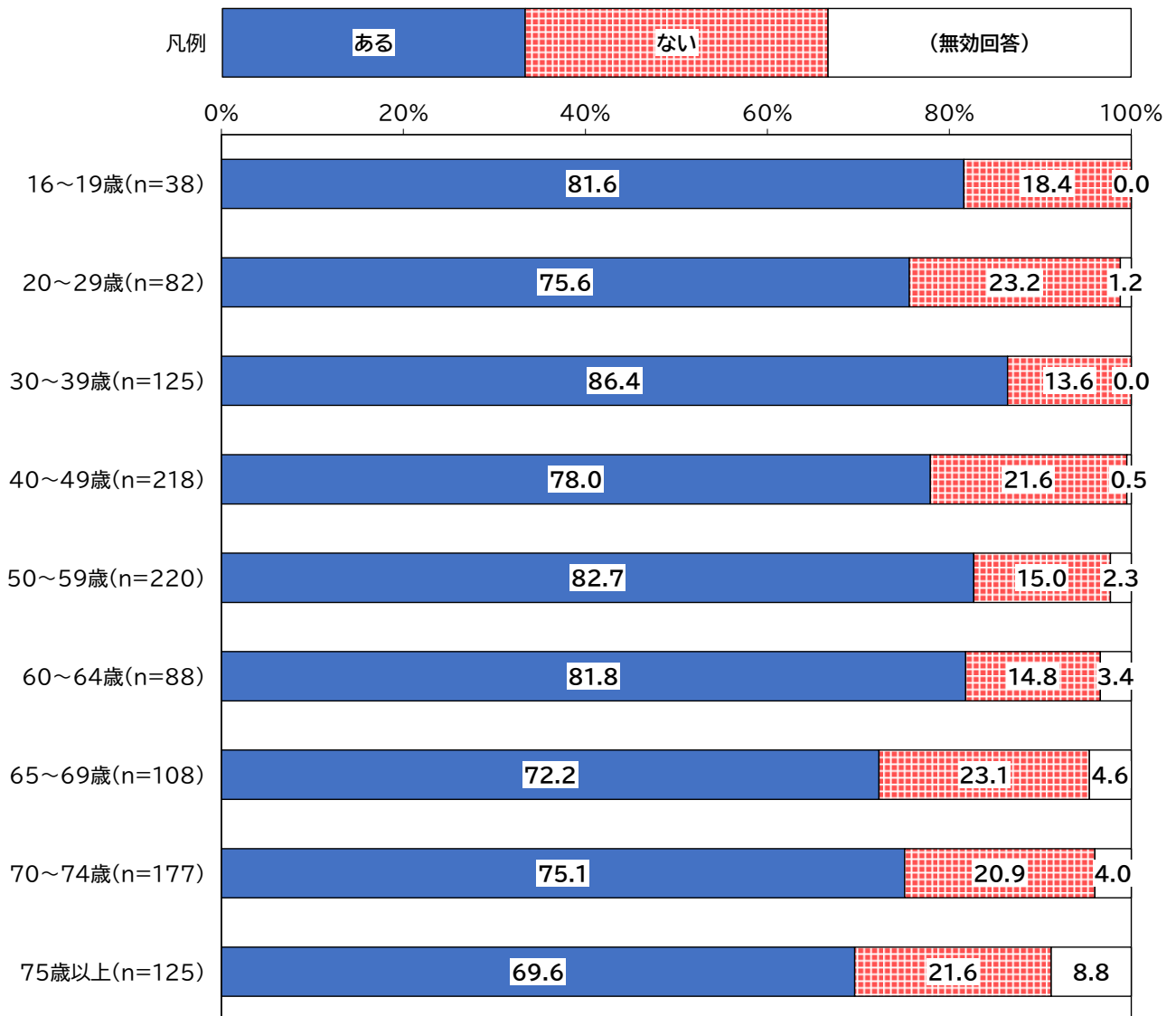
＜経年比較＞

○「ある」は、令和3年度(81.0%)に比べて、3.2ポイント減少しています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も「ある」がおおむね70%を超えています。



<自由記述>主な意見を抜粋

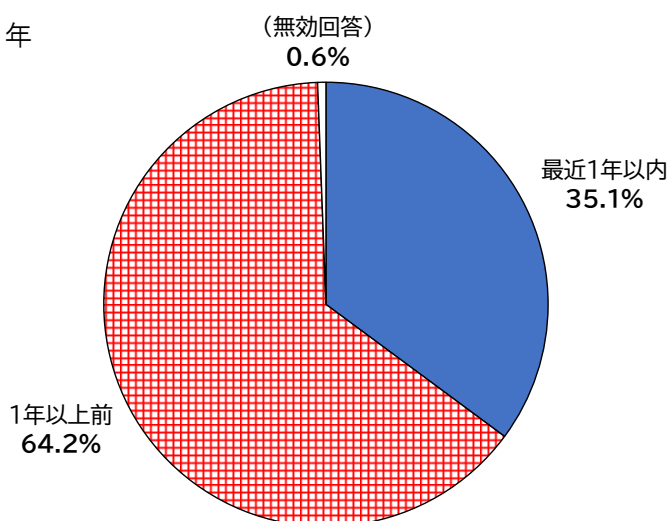
【図表 平和に関する施策についてのご意見・ご提案】(37件)

- ・語り手の方の育成を継承。高齢者が多いので次の世代へのひきつぎはやっていかねばと思う。
- ・平和維持，戦争を起こさない教育が，子供のうちから必要です。

問 57-1) 戦争中の話をしたり聞いたりしたのはいつ頃ですか。

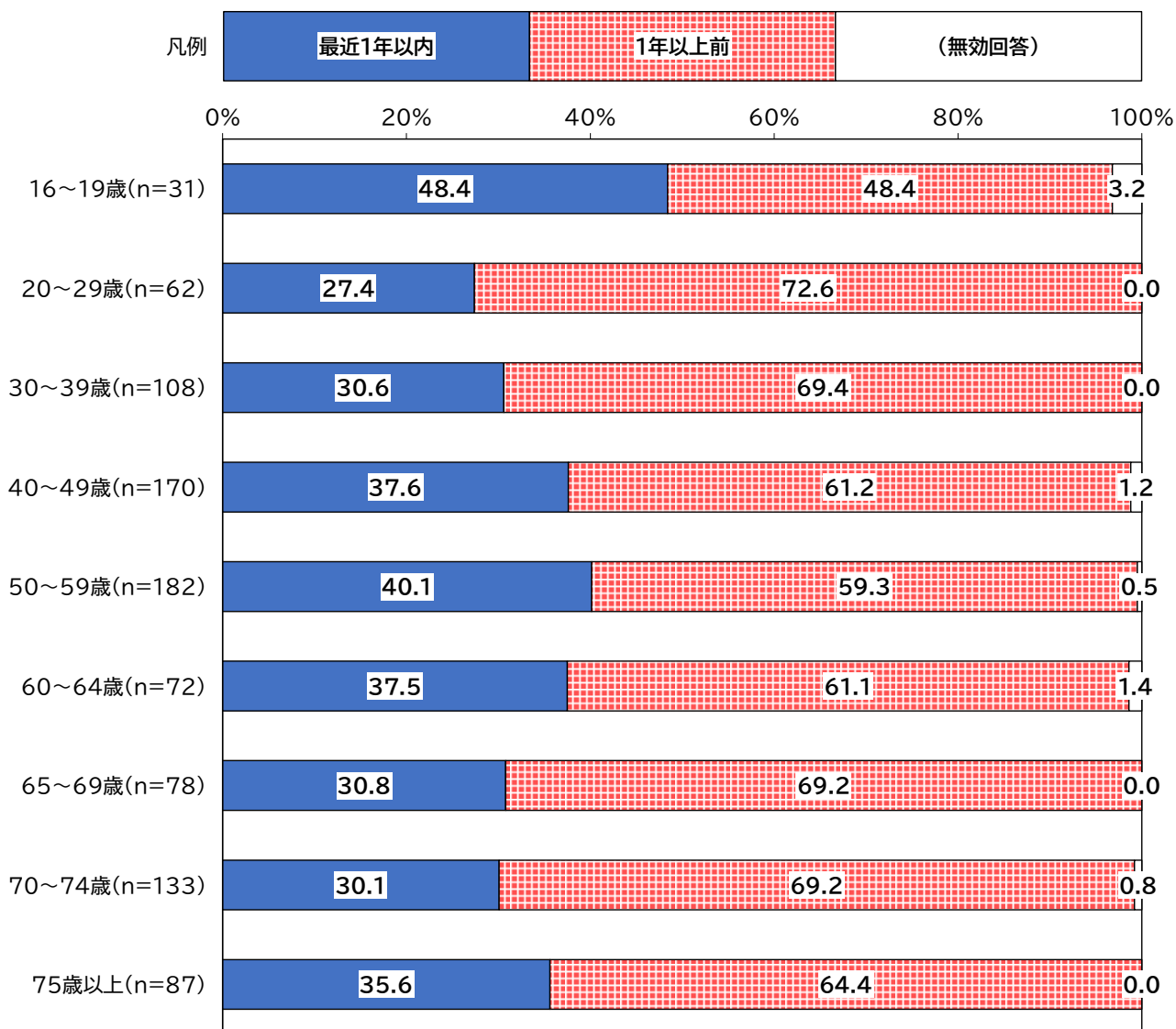
<全体 (n=928) >

○時期については、「最近1年以内」が35.1%、「1年以上前」が64.2%となっています。



<年齢層別>

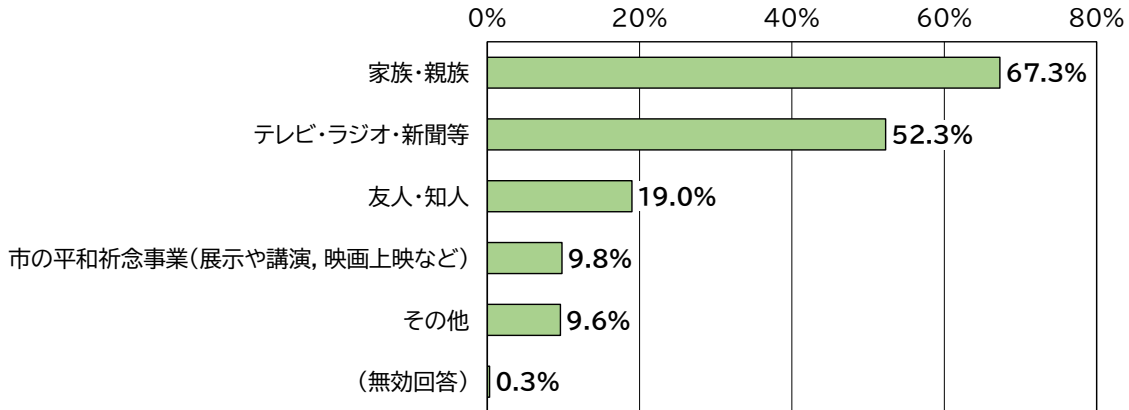
○「最近1年以内」では、16～19歳が48.4%と最も高く、次いで50～59歳の40.1%、40～49歳の37.6%の順となっています。



問 57-2) それは誰と (誰から) 話をしたり, 聞いたりしましたか。

<全体 (n=928) >

○相手については, 「家族・親族」が67.3%で最も高く, 次いで「テレビ・ラジオ・新聞等」の52.3%, 「友人・知人」の19.0%の順となっています。



<年齢層別>

○「その他」を除くと, いずれの年齢層も「家族・親族」と「テレビ・ラジオ・新聞等」が高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	928	31	62	108	170	182	72	78	133	87
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家族・親族	625	12	31	65	113	138	55	58	93	56
	67.3%	38.7%	50.0%	60.2%	66.5%	75.8%	76.4%	74.4%	69.9%	64.4%
テレビ・ラジオ・新聞等	485	15	28	49	83	101	32	44	80	52
	52.3%	48.4%	45.2%	45.4%	48.8%	55.5%	44.4%	56.4%	60.2%	59.8%
友人・知人	176	3	14	15	23	27	21	20	23	27
	19.0%	9.7%	22.6%	13.9%	13.5%	14.8%	29.2%	25.6%	17.3%	31.0%
市の平和祈念事業(展示や講演, 映画上映など)	91	4	12	20	16	20	5	4	5	5
	9.8%	12.9%	19.4%	18.5%	9.4%	11.0%	6.9%	5.1%	3.8%	5.7%
その他	89	14	14	16	19	19	2	2	1	2
	9.6%	45.2%	22.6%	14.8%	11.2%	10.4%	2.8%	2.6%	0.8%	2.3%
(無効回答)	3	0	1	1	1	0	0	0	0	0
	0.3%	0.0%	1.6%	0.9%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(上段: 実数 (人), 下段: 構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

※網掛けは「その他」を除く回答のうちの割合の高いもの

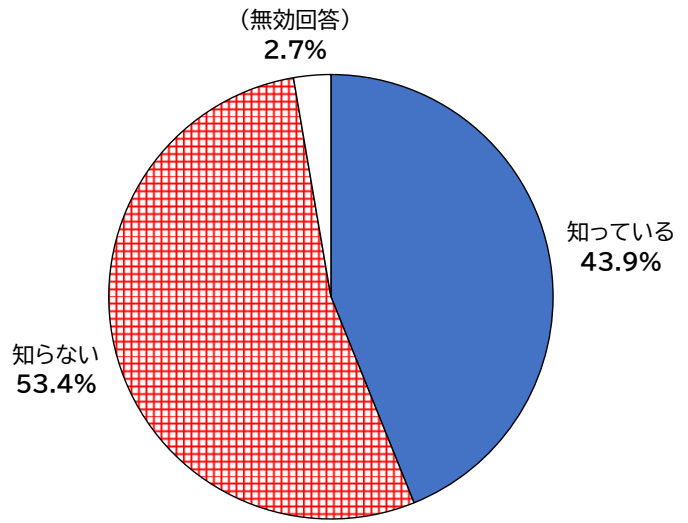
【児童虐待・人権・男女共同参画について】

問 58) あなたは、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）に関する次の相談窓口を知っていますか。

<全体 (n=1,193) >

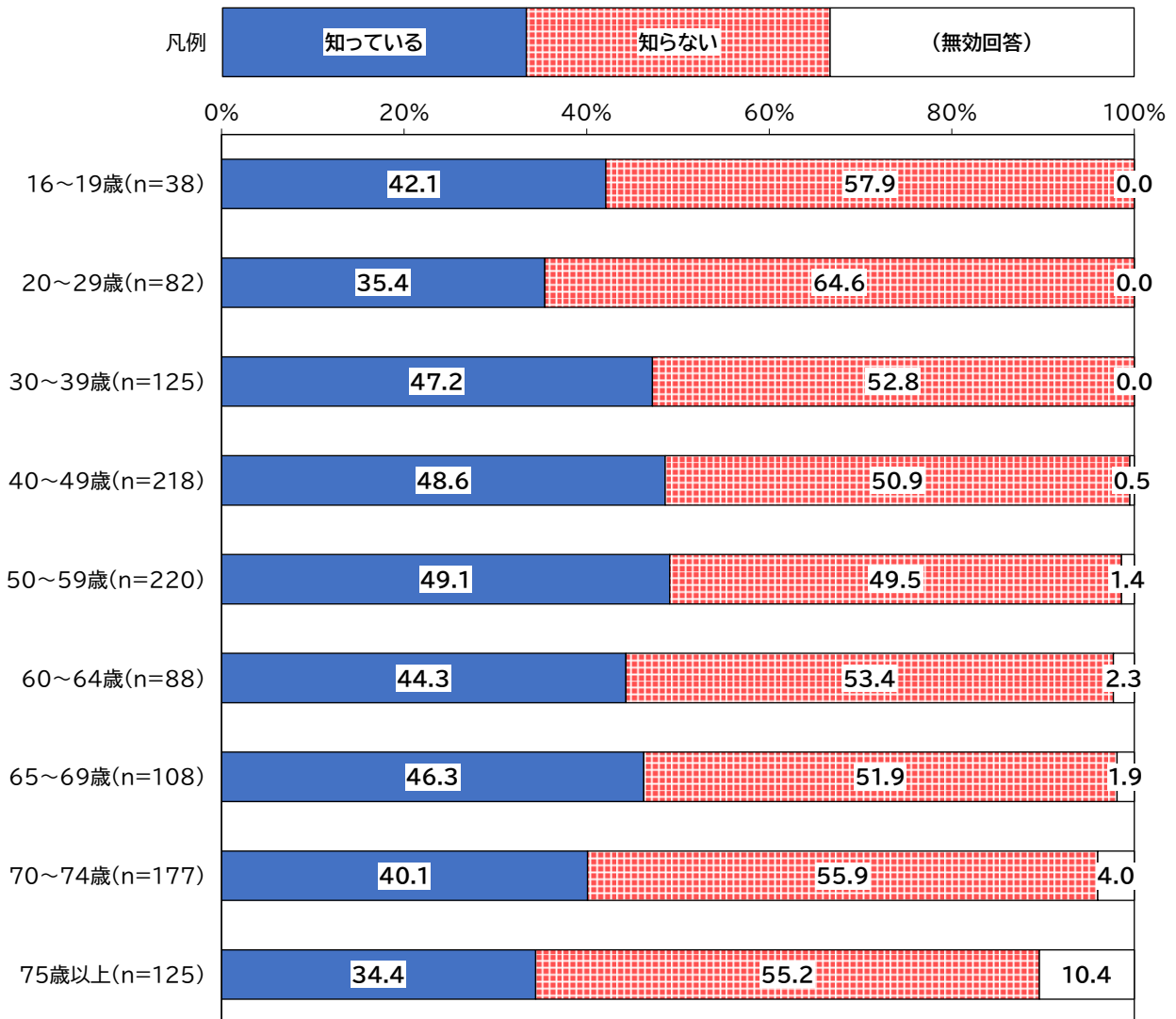
ア 児童虐待に関する相談

○「知っている」は43.9%、「知らない」は53.4%
 となっています。



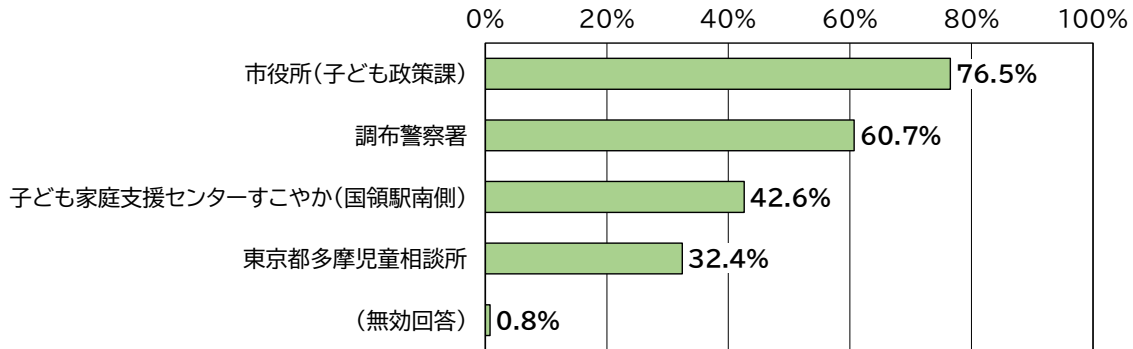
<年齢層別>

○20～29歳では「知らない」が60%を超えています。



<相談窓口 (n=524) >

○「市役所 (子ども政策課)」が 76.5%で最も高く、次いで「調布警察署」の 60.7%、「子ども家庭支援センターすこやか (国領駅南側)」の 42.6%の順となっています。



<年齢別相談窓口>

○おおむねいずれの年齢層も「市役所 (子ども政策課)」と「調布警察署」が高くなっていますが、30～39歳では「子ども家庭支援センターすこやか(国領駅南側)」が他の年齢層と比べて高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	524	16	29	59	106	108	39	50	71	43
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市役所 (子ども政策課)	401	12	25	47	76	84	29	34	58	34
	76.5%	75.0%	86.2%	79.7%	71.7%	77.8%	74.4%	68.0%	81.7%	79.1%
調布警察署	318	8	17	30	62	70	25	31	48	27
	60.7%	50.0%	58.6%	50.8%	58.5%	64.8%	64.1%	62.0%	67.6%	62.8%
子ども家庭支援センターすこやか (国領駅南側)	223	6	8	37	60	43	13	17	26	12
	42.6%	37.5%	27.6%	62.7%	56.6%	39.8%	33.3%	34.0%	36.6%	27.9%
東京都多摩児童相談所	170	3	6	12	40	39	11	26	21	12
	32.4%	18.8%	20.7%	20.3%	37.7%	36.1%	28.2%	52.0%	29.6%	27.9%
(無効回答)	4	1	0	0	1	0	0	0	0	1
	0.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%

(上段：実数 (人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：



回答割合が2番目に高い：



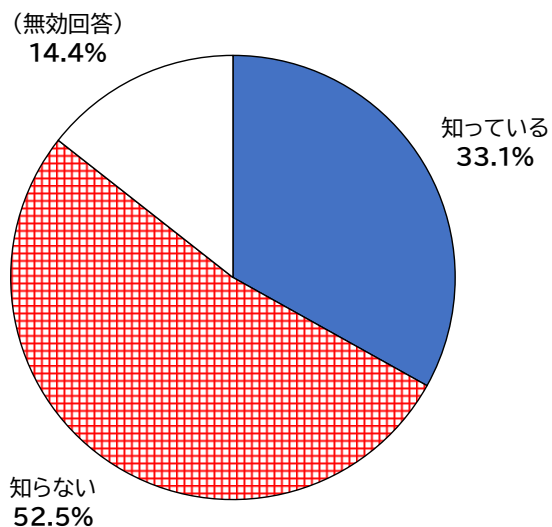
第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<全体 (n=1,193) >

イ DV (ドメスティックバイオレンス) に関する相談

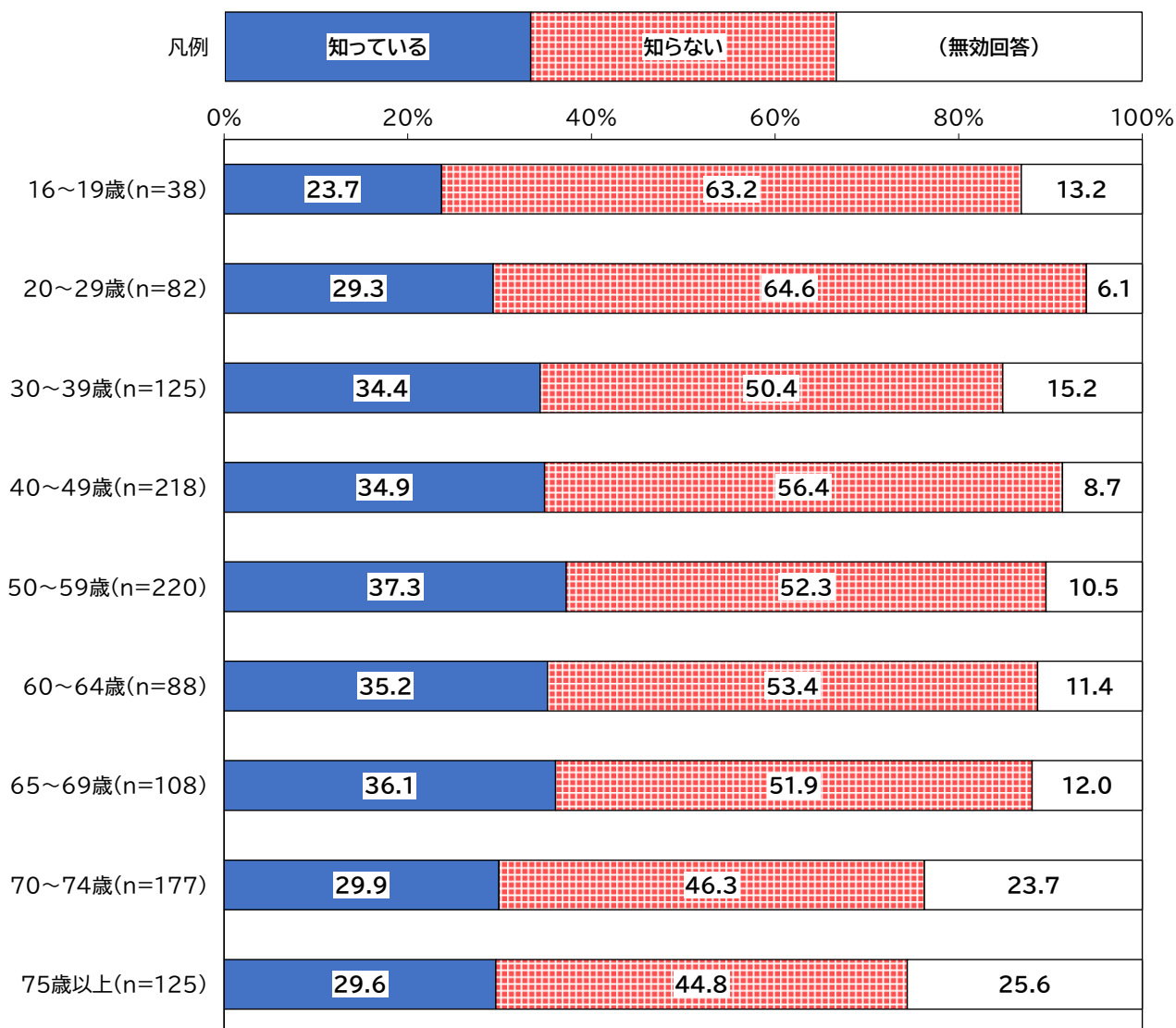
○「知っている」は 33.1%, 「知らない」は 52.5%

となっています。



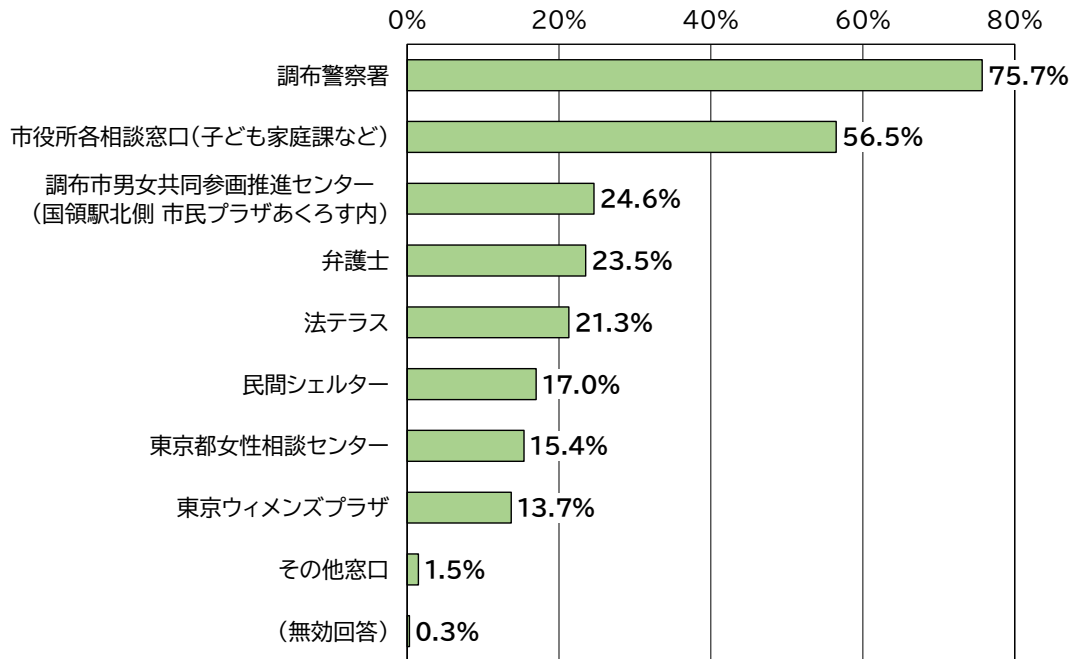
<年齢層別>

○いずれの年齢層も「知らない」が「知っている」を上回っており、特に16~29歳は「知らない」が60%を超えています。



<相談窓口 (n=395) >

○「調布警察署」が75.7%で最も高く、次いで「市役所各相談窓口(子ども家庭課など)」の56.5%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも「調布警察署」が最も高く、「市役所各相談窓口(子ども家庭課など)」がおおむね2番目に高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	395	9	24	43	76	82	31	39	53	37
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
調布警察署	299	6	18	31	56	59	24	29	44	31
	75.7%	66.7%	75.0%	72.1%	73.7%	72.0%	77.4%	74.4%	83.0%	83.8%
市役所各相談窓口(子ども家庭課など)	223	2	16	23	39	41	19	23	33	27
	56.5%	22.2%	66.7%	53.5%	51.3%	50.0%	61.3%	59.0%	62.3%	73.0%
調布市男女共同参画推進センター(国領駅北側 市民プラザあくろす内)	97	0	7	10	25	19	9	10	11	6
	24.6%	0.0%	29.2%	23.3%	32.9%	23.2%	29.0%	25.6%	20.8%	16.2%
弁護士	93	1	6	11	20	22	8	13	8	4
	23.5%	11.1%	25.0%	25.6%	26.3%	26.8%	25.8%	33.3%	15.1%	10.8%
法テラス	84	2	5	12	20	21	6	7	5	6
	21.3%	22.2%	20.8%	27.9%	26.3%	25.6%	19.4%	17.9%	9.4%	16.2%
民間シェルター	67	0	2	7	15	16	6	8	8	5
	17.0%	0.0%	8.3%	16.3%	19.7%	19.5%	19.4%	20.5%	15.1%	13.5%
東京都女性相談センター	61	0	1	5	11	13	9	7	12	3
	15.4%	0.0%	4.2%	11.6%	14.5%	15.9%	29.0%	17.9%	22.6%	8.1%
東京ウィメンズプラザ	54	0	0	3	13	17	4	8	5	4
	13.7%	0.0%	0.0%	7.0%	17.1%	20.7%	12.9%	20.5%	9.4%	10.8%
その他窓口	6	0	0	1	0	1	3	1	0	0
	1.5%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	1.2%	9.7%	2.6%	0.0%	0.0%
(無効回答)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	0.3%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：



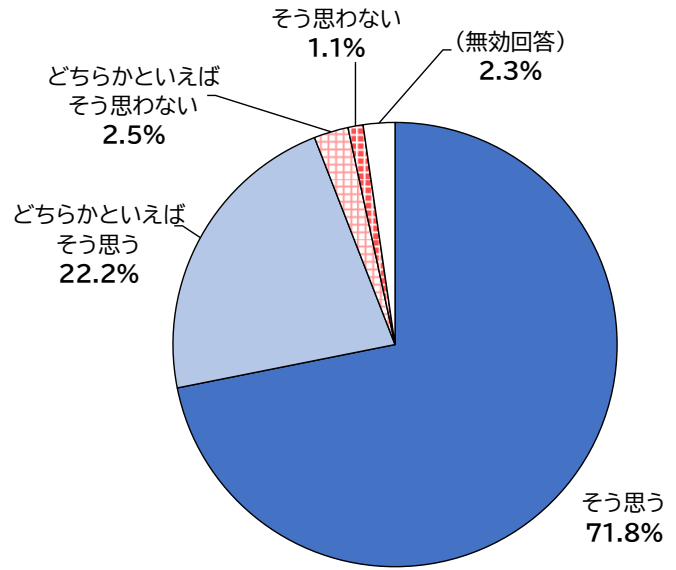
回答割合が2番目に高い：



問 59) あなたは、家事・子育て・介護などの家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。

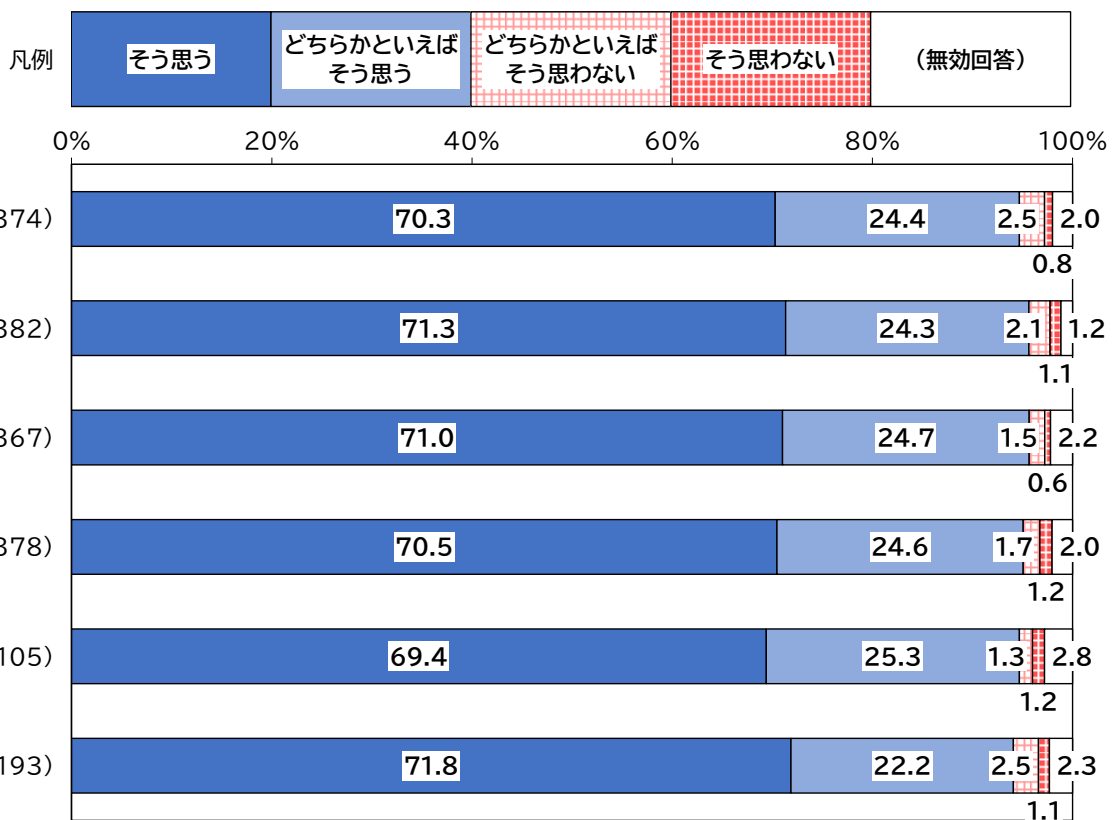
<全体 (n=1,193) >

○「そう思う」が71.8%、「どちらかといえばそう思う」が22.2%で、合計94.0%を占めています。



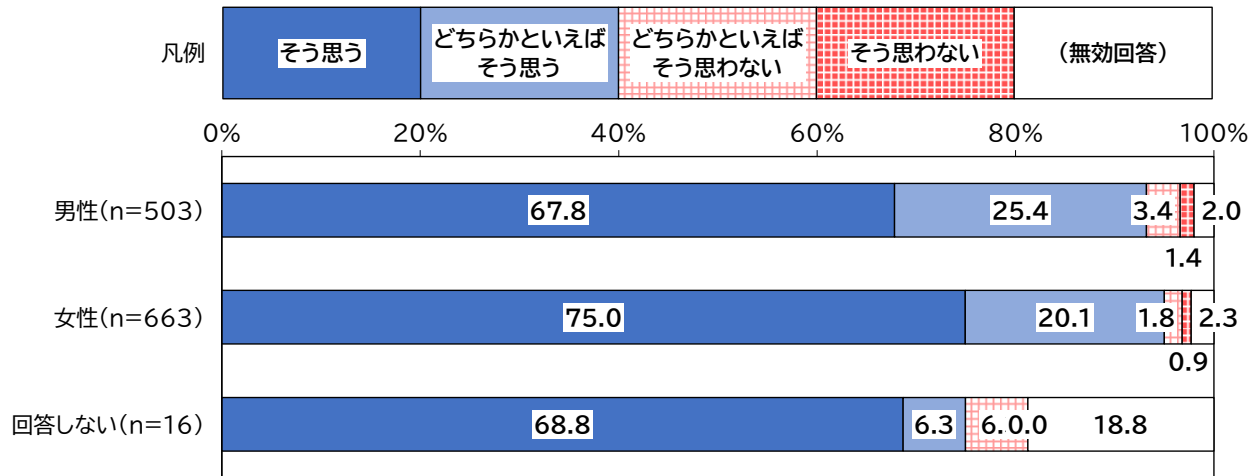
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成29年度以降、一貫して95%前後で推移しています。



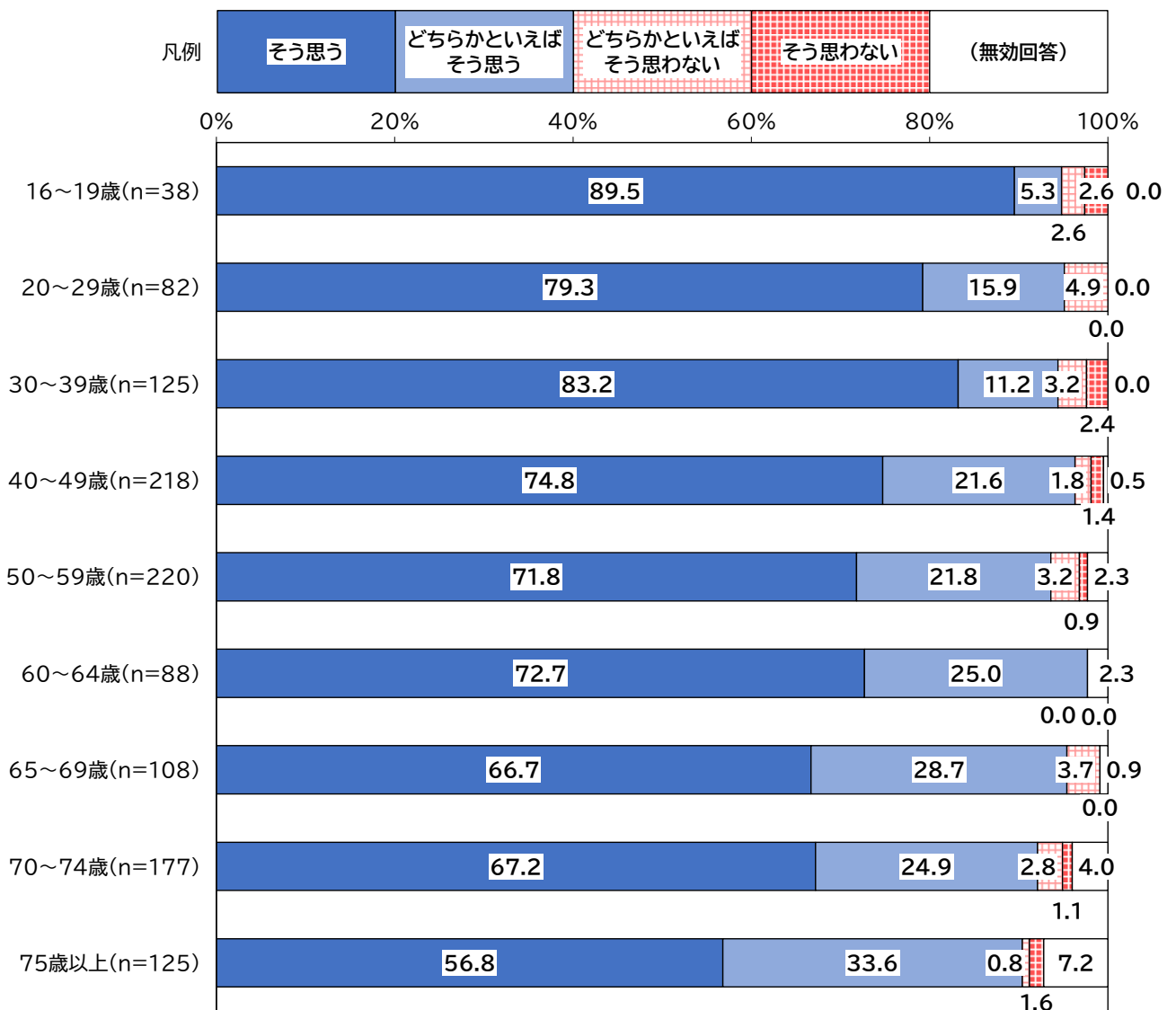
<性別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、男性が93.2%、女性が95.1%となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が90%台となっています。また、「そう思う」は、おおむね年齢が下がるにつれて高くなる傾向にあります。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<自由記述>主な意見を抜粋

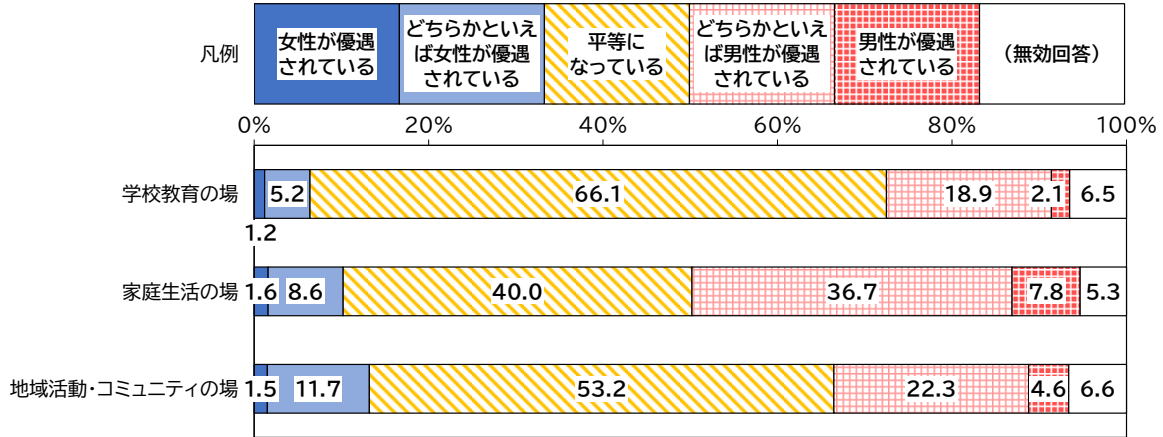
【図表 人権・男女共同参画に関する施策についてのご意見・ご提案】(42件)

- ・お互い協力しあうべき。
- ・男女共に子育てを同等に行う。親としての自覚を持つ。
- ・家事は男女平等であるべきと思うが、男性が一家の稼ぎ頭という認識が世の中の標準である限り、家事は女性の役割と思われても仕方ない。

問 60) 次の場面について、あなたは男女平等だと感じていますか。

<全体 (n=1,193) >

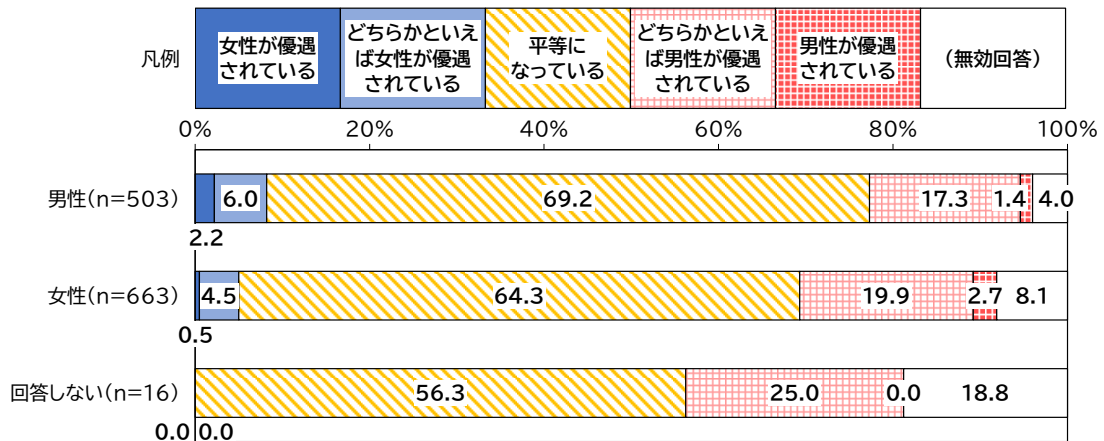
○「学校教育の場」及び「地域活動・コミュニティの場」では「平等になっている」が半数を超えています。一方、「家庭生活の場」では、「どちらかといえば男性が優遇されている」が36.7%で高くなっています。



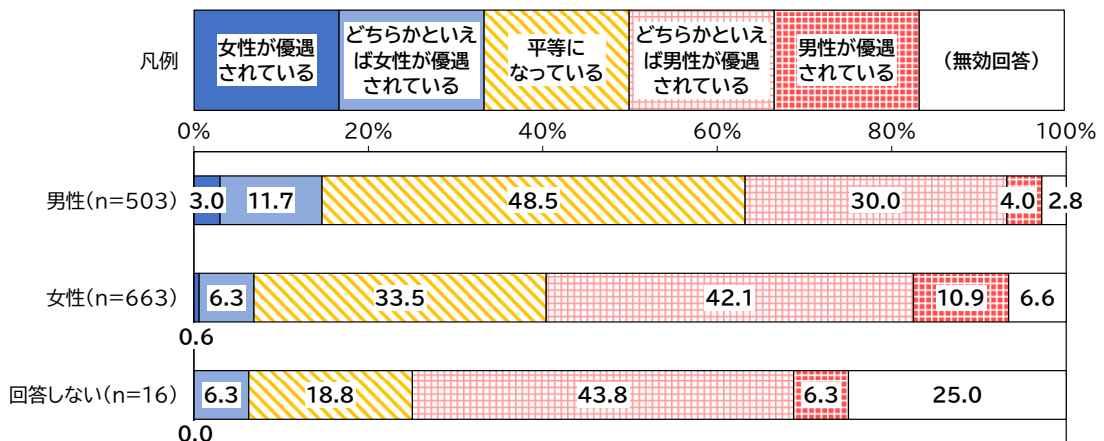
<性別>

○いずれの場面も、「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」の合計が、「どちらかといえば女性が優遇されている」と「女性が優遇されている」の合計を上回っていますが、「学校教育の場」及び「地域活動・コミュニティの場」では、「平等になっている」が男性・女性とも半数を超えています。

学校教育の場

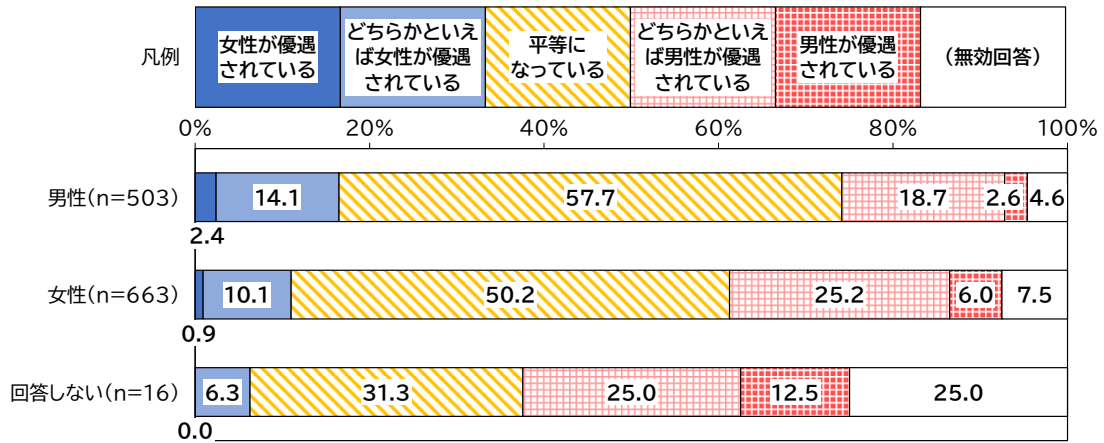


家庭生活の場



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

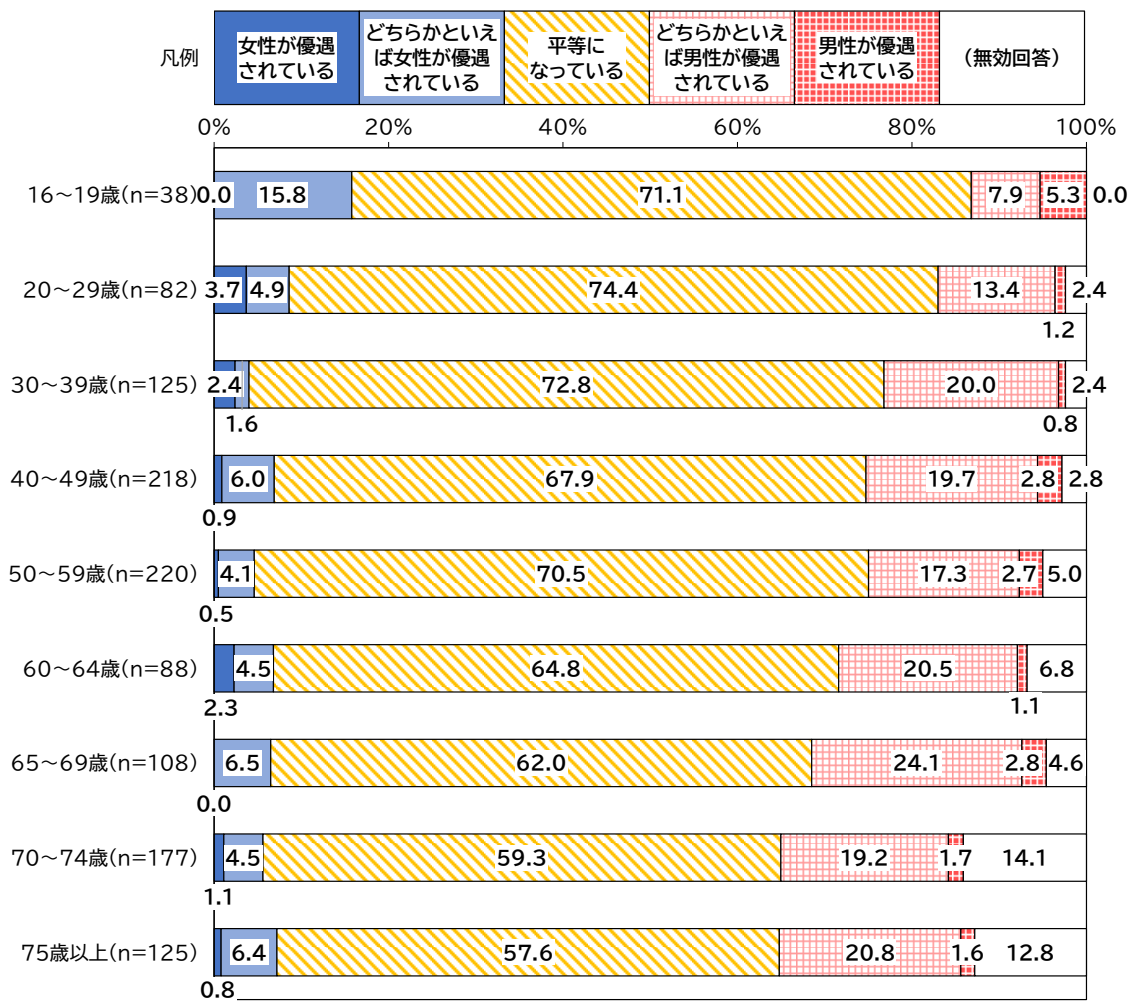
地域活動・コミュニティの場



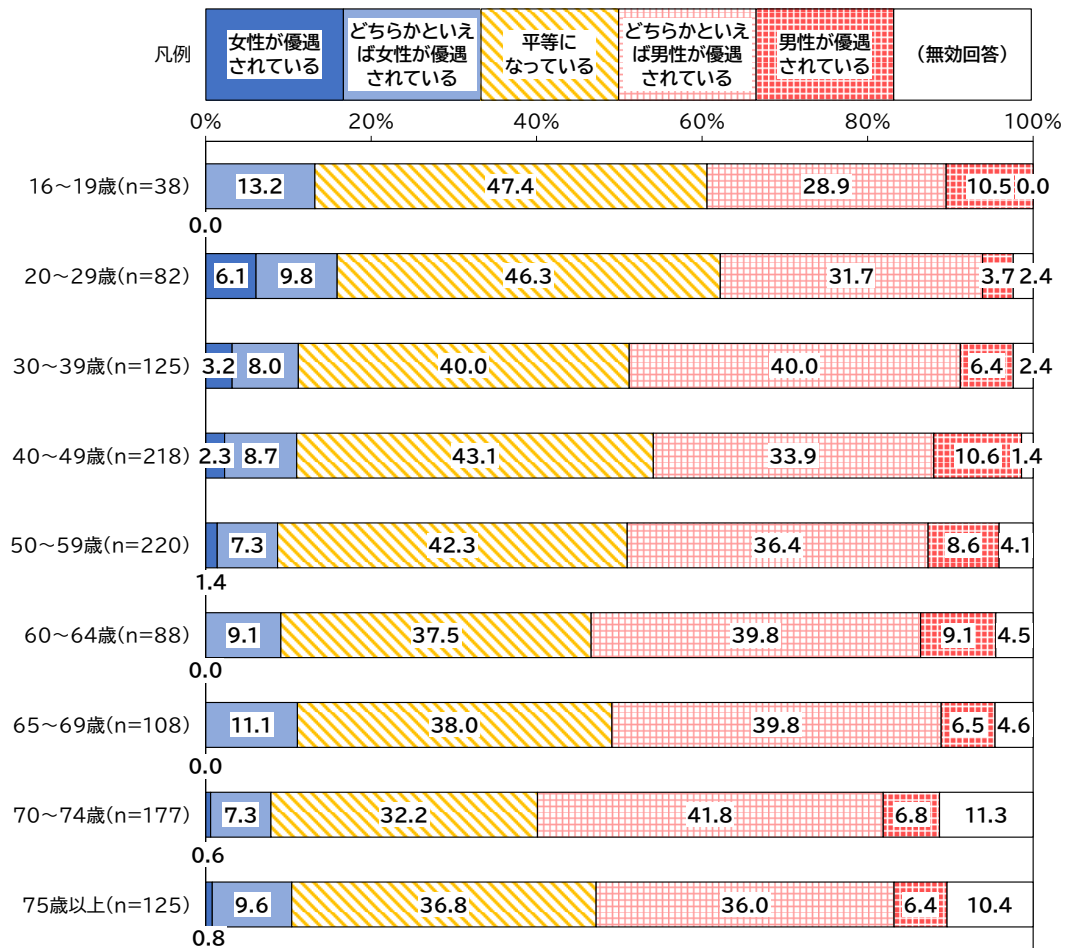
<年齢層別>

○「学校教育の場」の16～19歳、「地域活動・コミュニティの場」の20～29歳を除き、いずれの場面、年齢層も、「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」の合計が、「どちらかといえば女性が優遇されている」と「女性が優遇されている」の合計を上回っています。

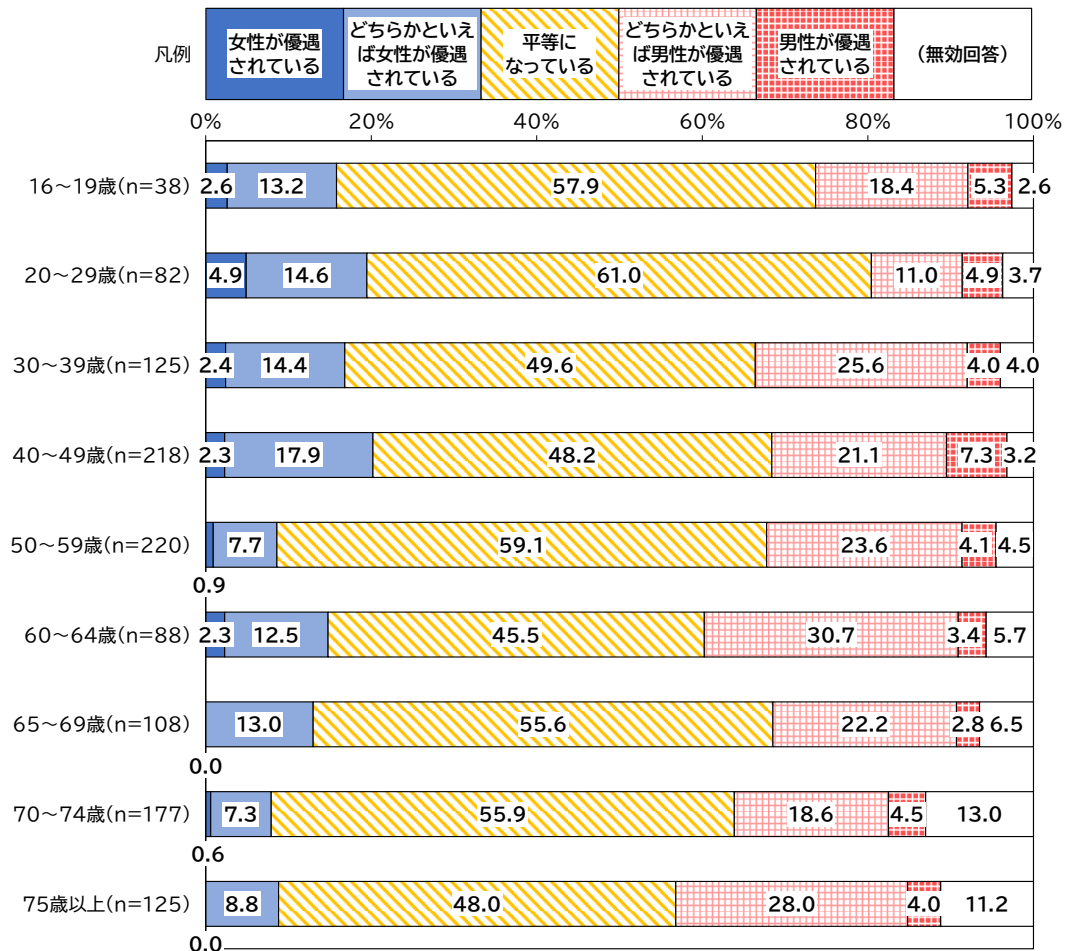
学校教育の場



家庭生活の場



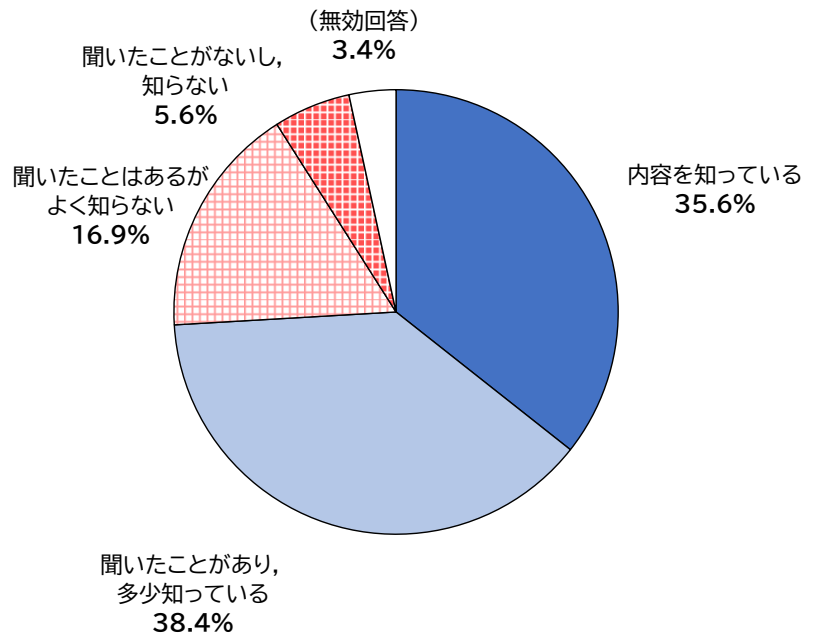
地域活動・コミュニティの場



問61) あなたは、多様な性に関してLGBTやSOGIという言葉を知っていますか。

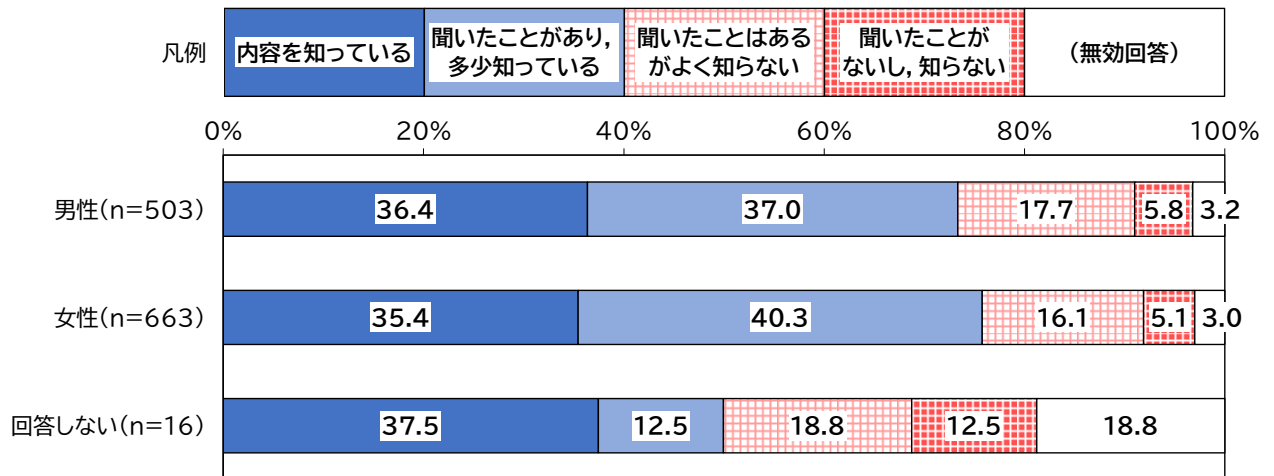
<全体 (n=1,193)>

○「内容を知っている」が35.6%、「聞いたことがあります、多少知っている」が38.4%で、合計74.0%を占めています。



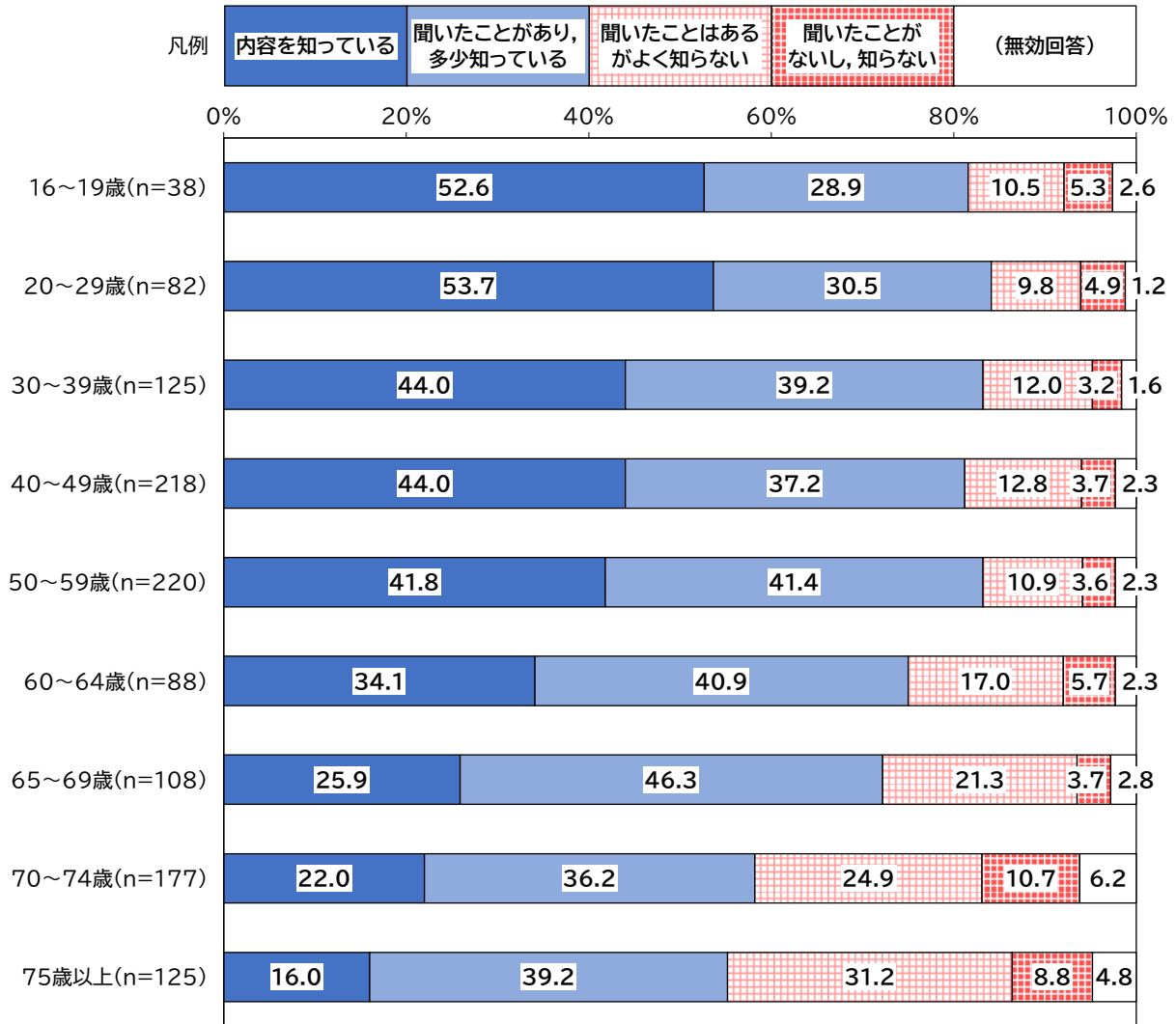
<性別>

○「内容を知っている」と「聞いたことがあります、多少知っている」の合計は、男性・女性とも70%以上となっていますが、男性と比較して女性の比率がやや高くなっています。



<年齢層別>

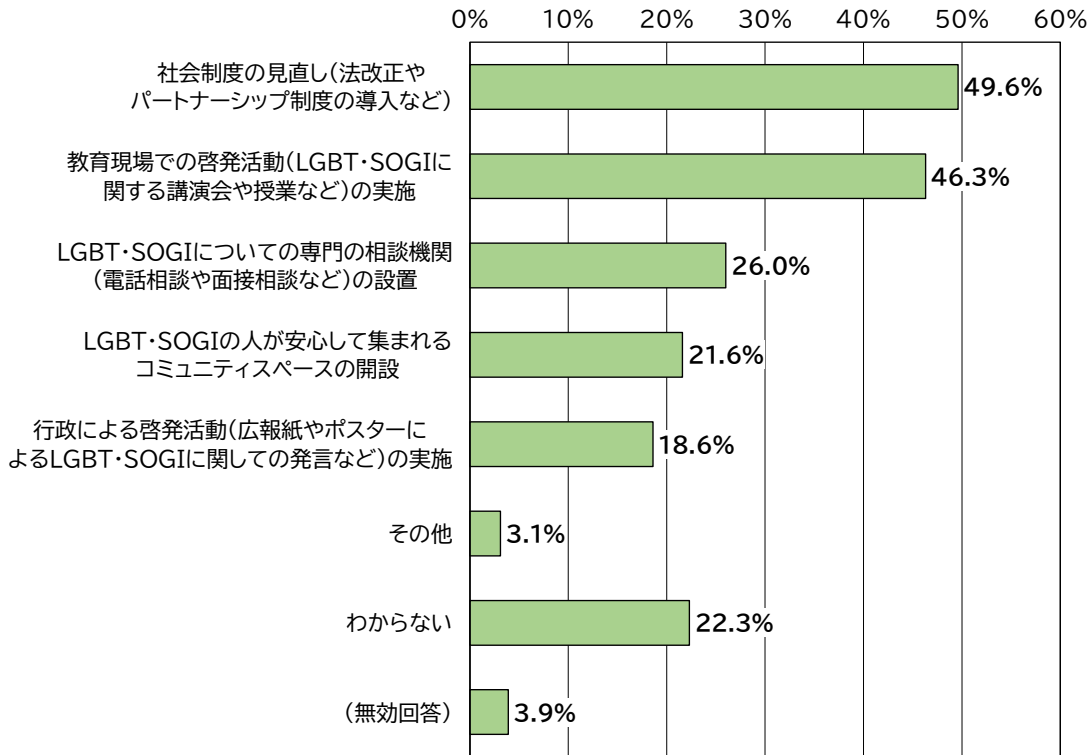
○「内容を知っている」と「聞いたことがあり、多少知っている」の合計は、69歳以下の年齢層でいずれも70%以上となっています。また、おおむね年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあります。



問 62) あなたは、多様な性に関する啓発などについて、どのような取組が必要だと思いますか。

<全体 (n=1,193) >

○「社会制度の見直し（法改正やパートナーシップ制度の導入など）」が49.6%で最も高く、次いで「教育現場での啓発活動（LGBT・SOGIに関する講演会や授業など）の実施」の46.3%、「LGBT・SOGIについての専門の相談機関（電話相談や面接相談など）の設置」の26.0%の順となっています。



<年齢層別>

○おおむねいずれの年齢層も、「社会制度の見直し（法改正やパートナーシップ制度の導入など）」、「教育現場での啓発活動（LGBT・SOGIに関する講演会や授業など）の実施」が高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
社会制度の見直し（法改正やパートナーシップ制度の活用など）	592	19	52	71	113	122	40	55	73	44
	49.6%	50.0%	63.4%	56.8%	51.8%	55.5%	45.5%	50.9%	41.2%	35.2%
教育現場での啓発活動（LGBT・SOGIに関する講演会や授業など）の実施	552	17	34	64	107	109	44	54	73	48
	46.3%	44.7%	41.5%	51.2%	49.1%	49.5%	50.0%	50.0%	41.2%	38.4%
LGBT・SOGIについての専門の相談機関（電話相談や面接相談など）の設置	310	13	15	33	56	57	23	32	46	32
	26.0%	34.2%	18.3%	26.4%	25.7%	25.9%	26.1%	29.6%	26.0%	25.6%
LGBT・SOGIの人が安心して集まれるコミュニティスペースの開設	258	18	17	34	50	52	14	21	24	27
	21.6%	47.4%	20.7%	27.2%	22.9%	23.6%	15.9%	19.4%	13.6%	21.6%
行政による啓発活動（広報紙やポスターによるLGBT・SOGIに関しての発言など）の実施	222	12	8	20	34	41	22	19	44	21
	18.6%	31.6%	9.8%	16.0%	15.6%	18.6%	25.0%	17.6%	24.9%	16.8%
その他	37	2	4	3	8	9	2	3	2	3
	3.1%	5.3%	4.9%	2.4%	3.7%	4.1%	2.3%	2.8%	1.1%	2.4%
わからない	266	5	17	27	34	44	23	23	53	39
	22.3%	13.2%	20.7%	21.6%	15.6%	20.0%	26.1%	21.3%	29.9%	31.2%
(無効回答)	46	0	1	0	2	4	2	5	16	11
	3.9%	0.0%	1.2%	0.0%	0.9%	1.8%	2.3%	4.6%	9.0%	8.8%

(上段：実数（人），下段：構成比)

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

※網掛けは必要と思われる取組を回答したうちの割合の高いもの

＜自由記述＞主な意見を抜粋

【図表 上記の取組が必要だと思う理由】(147件)

- ・「人間」の多様性を認める事だから。
- ・「人権」という観点から。
- ・LGBTの人の中には未だに肩身の狭い思いをしている人がいると思うので。
- ・そもそも取り組まなければいけない問題なのか。対人間として接すればいいだけの話なのではないか。

【図表 多様な性に対する理解の促進に関する施策についてのご意見・ご提案】(55件)

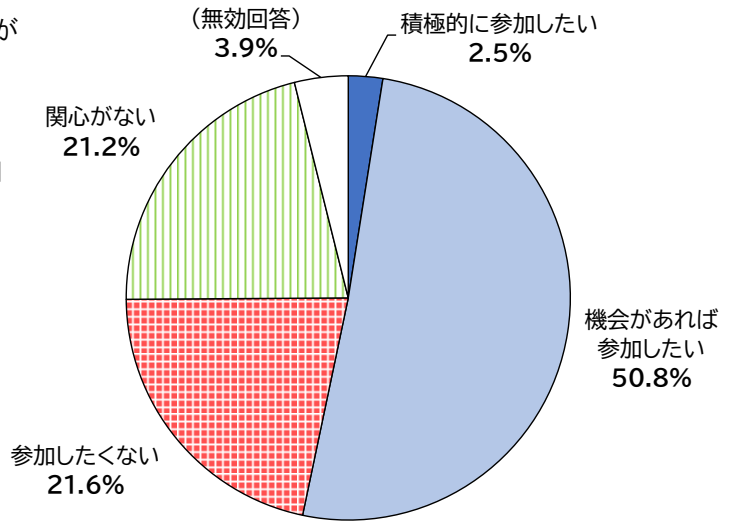
- ・求む人の権利と義務を当たり前提供するだけでいいと思う。過度な啓発は不要と考える。
- ・私の持論になってしまうが、LGBT・SOGIを「理解する」のではなく「自然な事」と解釈すれば、世界はもっと住みやすくなると思う。
- ・性と自己表現は近いものがあると思うので、服装などの自由化（男女で分けないなど）が必要だと思う。

【市政等の情報について】

問 63) あなたは、市政・まちづくりに参加したいと思いませんか。

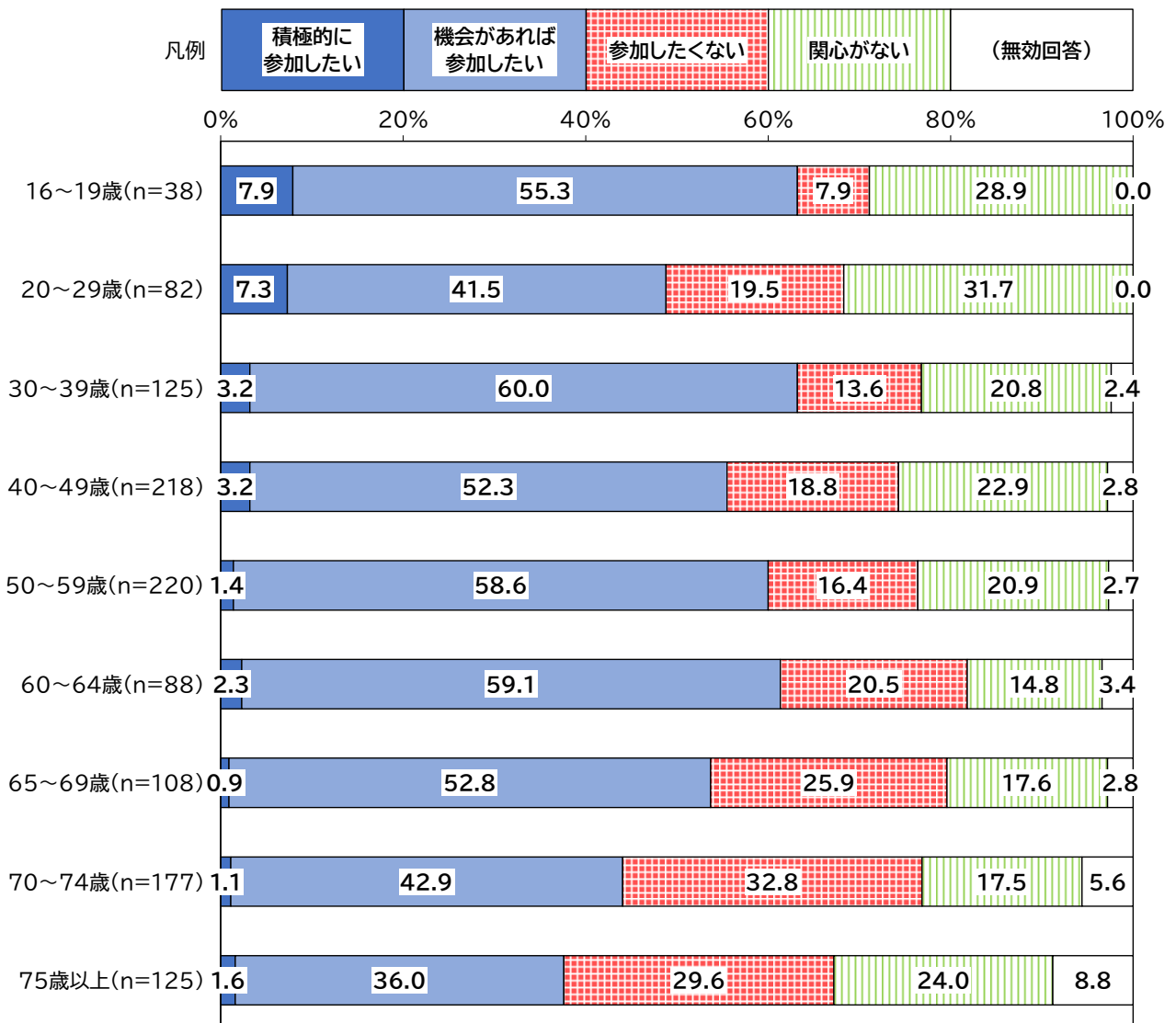
<全体 (n=1,193) >

- 「積極的に参加したい」の 2.5%と「機会があれば参加したい」の 50.8%の合計は、53.3%を占めています。
- 「参加したくない」は 21.6%、「関心がない」は 21.2%となっています。



<年齢層別>

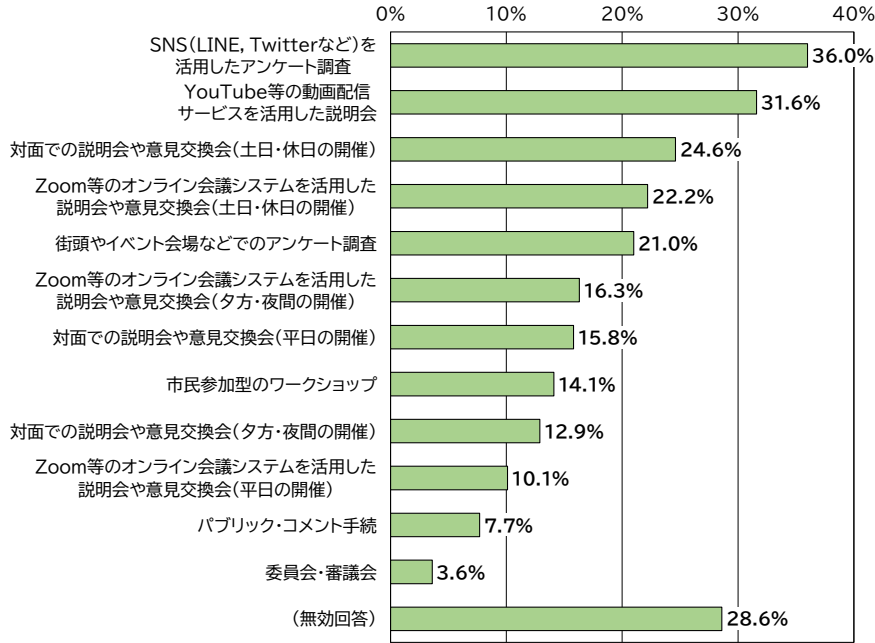
- 「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計は、20～29歳及び70歳以上を除く世代で半数を上回っています。



問 64) あなたは、市民参加の取組を行うとしたら、どのような手法なら参加できますか。

<全体 (n=1,193) >

○「SNS (LINE, Twitter など) を活用したアンケート調査」が 36.0%で最も高く、次いで「YouTube 等の動画配信サービスを活用した説明会」の 31.6%, 「対面での説明会や意見交換会 (土日・休日の開催)」の 24.6%の順となっています。



<年齢層別>

○16～64 歳では、「SNS (LINE, Twitter など) を活用したアンケート調査」や「YouTube などの動画配信サービスを活用した説明会」、65 歳以上では、「対面での説明会や意見交換会 (土日・休日の開催)」や「対面での説明会や意見交換会 (平日の開催)」が高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
SNS (LINE, Twitter など) を活用したアンケート調査	429	24	60	74	114	84	26	17	21	8
YouTube等の動画配信サービスを活用した説明会	377	17	36	57	103	79	25	19	24	14
対面での説明会や意見交換会 (土日・休日の開催)	293	12	22	36	67	67	22	28	22	17
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会 (土日・休日の開催)	265	12	29	45	65	57	19	13	16	9
街頭やイベント会場などでのアンケート調査	251	8	18	34	39	57	21	20	38	16
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会 (夕方・夜間の開催)	194	11	20	34	46	44	13	8	12	5
対面での説明会や意見交換会 (平日の開催)	188	1	3	15	15	31	20	19	43	40
市民参加型のワークショップ	168	7	10	16	35	34	14	21	22	9
対面での説明会や意見交換会 (夕方・夜間の開催)	154	7	19	15	34	35	17	10	11	5
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会 (平日の開催)	120	4	10	17	16	19	13	10	22	7
パブリック・コメント手続	92	5	12	12	18	24	8	4	9	0
委員会・審議会	43	1	2	3	7	6	8	7	7	2
(無効回答)	341	4	13	25	35	52	21	39	82	61

(上段：実数 (人), 下段：構成比)

回答割合が最も高い：



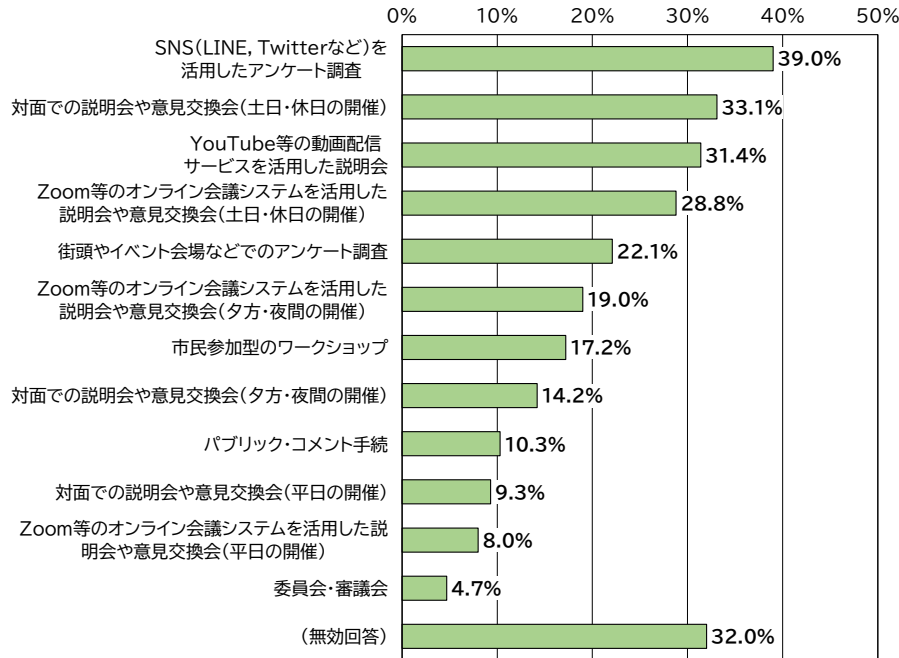
回答割合が2番目に高い：



問 64) (続き) あなたは、より多くの市民の意見が行政に届くには、どのような参加手法をとればよいと思いますか。

<全体 (n=1,193) >

○「SNS (LINE, Twitter など) を活用したアンケート調査」が 39.0%で最も高く、次いで「対面での説明会や意見交換会(土日・休日の開催)」の 33.1%,「YouTube 等の動画配信サービスを活用した説明会」の 31.4%の順となっています。



<年齢層別>

○16~64歳では、「SNS (LINE, Twitter など) を活用したアンケート調査」、65歳以上では、「対面での説明会や意見交換会(土日・休日の開催)」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
SNS (LINE, Twitter など) を活用したアンケート調査	465	22	48	67	121	100	35	25	30	16
	39.0%	57.9%	58.5%	53.6%	55.5%	45.5%	39.8%	23.1%	16.9%	12.8%
対面での説明会や意見交換会(土日・休日の開催)	395	14	38	41	85	74	29	36	49	28
	33.1%	36.8%	46.3%	32.8%	39.0%	33.6%	33.0%	33.3%	27.7%	22.4%
YouTube等の動画配信サービスを活用した説明会	375	20	35	53	89	88	22	24	26	16
	31.4%	52.6%	42.7%	42.4%	40.8%	40.0%	25.0%	22.2%	14.7%	12.8%
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会(土日・休日の開催)	344	15	37	41	76	68	27	25	32	23
	28.8%	39.5%	45.1%	32.8%	34.9%	30.9%	30.7%	23.1%	18.1%	18.4%
街頭やイベント会場などでのアンケート調査	264	14	23	35	58	55	16	18	27	17
	22.1%	36.8%	28.0%	28.0%	26.6%	25.0%	18.2%	16.7%	15.3%	13.6%
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会(夕方・夜間の開催)	227	14	21	35	58	46	20	15	10	7
	19.0%	36.8%	25.6%	28.0%	26.6%	20.9%	22.7%	13.9%	5.6%	5.6%
市民参加型のワークショップ	205	11	16	21	46	43	13	13	22	19
	17.2%	28.9%	19.5%	16.8%	21.1%	19.5%	14.8%	12.0%	12.4%	15.2%
対面での説明会や意見交換会(夕方・夜間の開催)	169	3	19	19	42	36	19	15	10	6
	14.2%	7.9%	23.2%	15.2%	19.3%	16.4%	21.6%	13.9%	5.6%	4.8%
パブリック・コメント手続	123	10	14	11	23	28	6	8	17	6
	10.3%	26.3%	17.1%	8.8%	10.6%	12.7%	6.8%	7.4%	9.6%	4.8%
対面での説明会や意見交換会(平日の開催)	111	2	6	14	31	19	10	9	11	8
	9.3%	5.3%	7.3%	11.2%	14.2%	8.6%	11.4%	8.3%	6.2%	6.4%
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会(平日の開催)	96	7	8	14	32	18	8	2	5	1
	8.0%	18.4%	9.8%	11.2%	14.7%	8.2%	9.1%	1.9%	2.8%	0.8%
委員会・審議会	56	4	7	7	7	10	4	5	7	5
	4.7%	10.5%	8.5%	5.6%	3.2%	4.5%	4.5%	4.6%	4.0%	4.0%
(無効回答)	382	6	16	28	43	56	23	42	91	68
	32.0%	15.8%	19.5%	22.4%	19.7%	25.5%	26.1%	38.9%	51.4%	54.4%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 上記のように思う理由】(104件)

- ・働き方が多様化しているため。
- ・サラリーマンは平日対面での参加が難しく、意見が偏ってしまう。SNSの活用のほうが広く意見を聞き取れると思う。
- ・説明会やワークショップは「声の大きい人」の意見を聞く会になってしまいがち。広く市民の声「賛成」「反対」「興味なし」も含む意見を聞く仕組みづくりが必要。

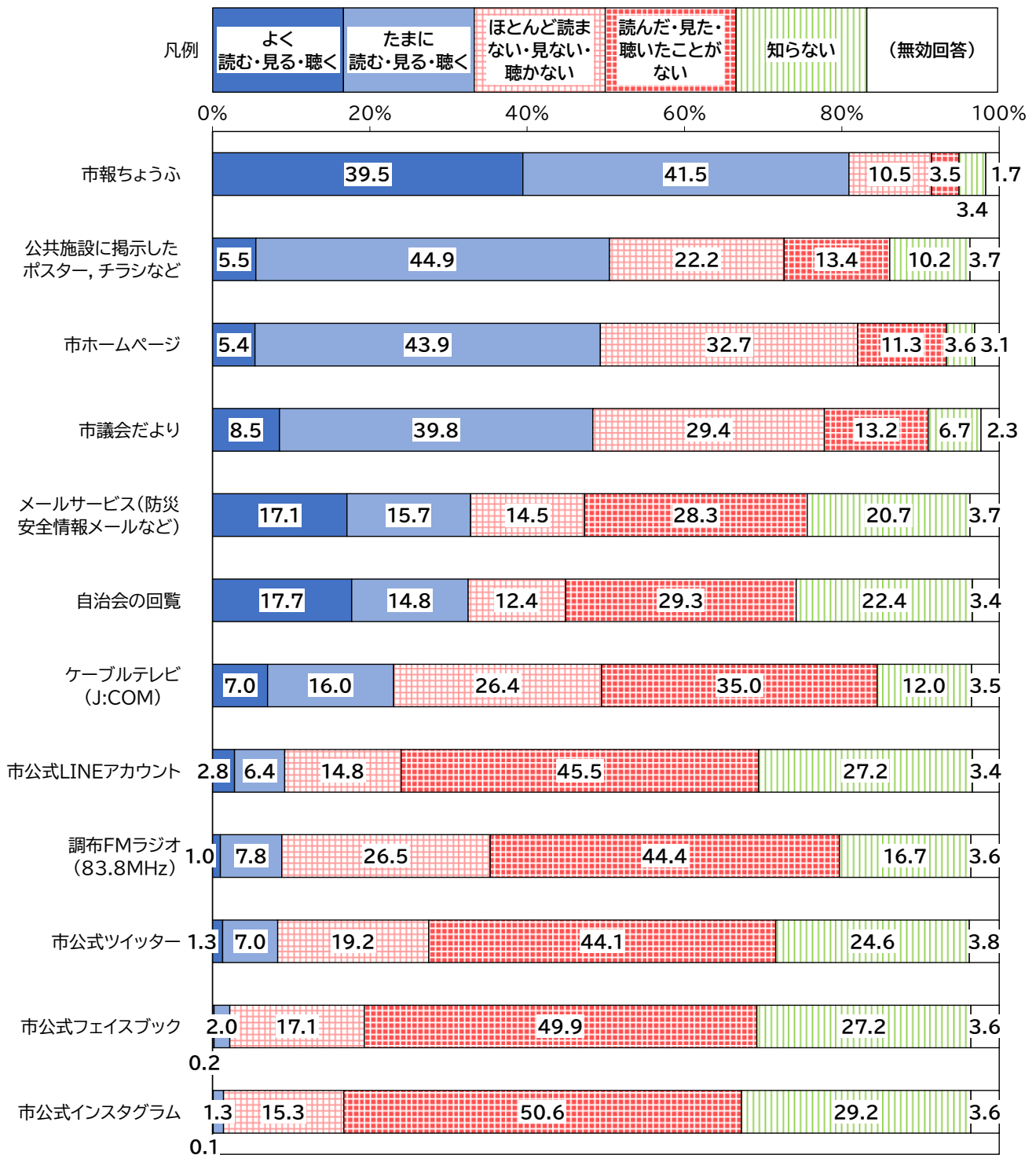
【図表 住民参加の取組に関する施策についてのご意見・ご提案】(50件)

- ・ワークショップ, 講演会, 祭典等を利用して, 行政側と住民側が意見交換できる場をより多く持てるようにするのもいいのでは。
- ・自分が退職してからは, 平日に余裕ができた実感。高齢者には平日昼間, 働いてる人には休日など, 対象を分けた方が良い。
- ・足を運ぶもの, 登録, 服装がカッチリはダメ。(ハードルは低くしてほしい)

問 65) あなたの市政・まちづくりに関する情報の入手方法をうかがいます。

<全体 (n=1,193) >

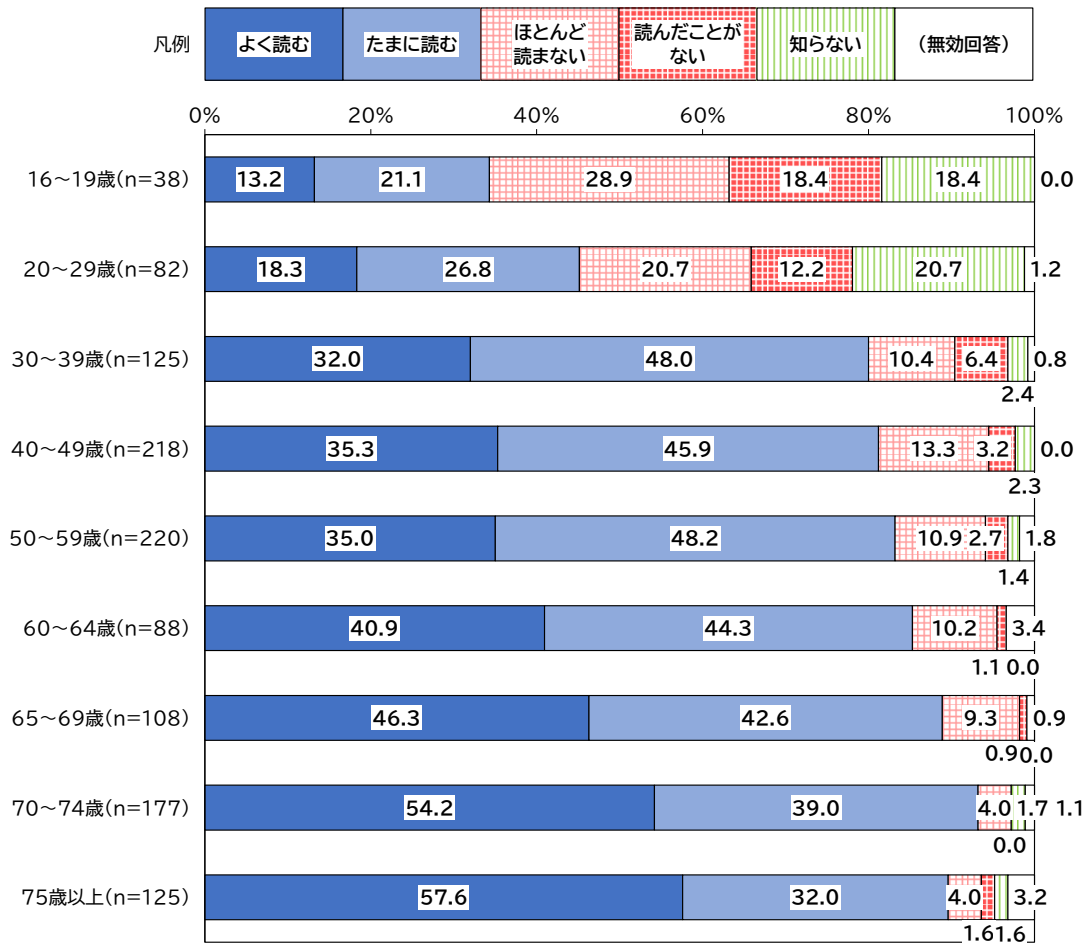
- 「よく読む・見る・聴く」と「たまに読む・見る・聴く」の合計は、「市報ちょうふ」が81.0%で最も高く、次いで「公共施設に掲示したポスター、チラシなど」の50.4%、「市ホームページ」の49.3%の順となっています。
- 一方、「読んだことがない・見たことがない・聴いたことがない」と「ほとんど読まない・見ない・聴かない」の合計は、「調布FMラジオ (83.8MHz)」が70.9%で最も高く、次いで「市公式フェイスブック」の67.0%の順となっています。



<年齢層別>

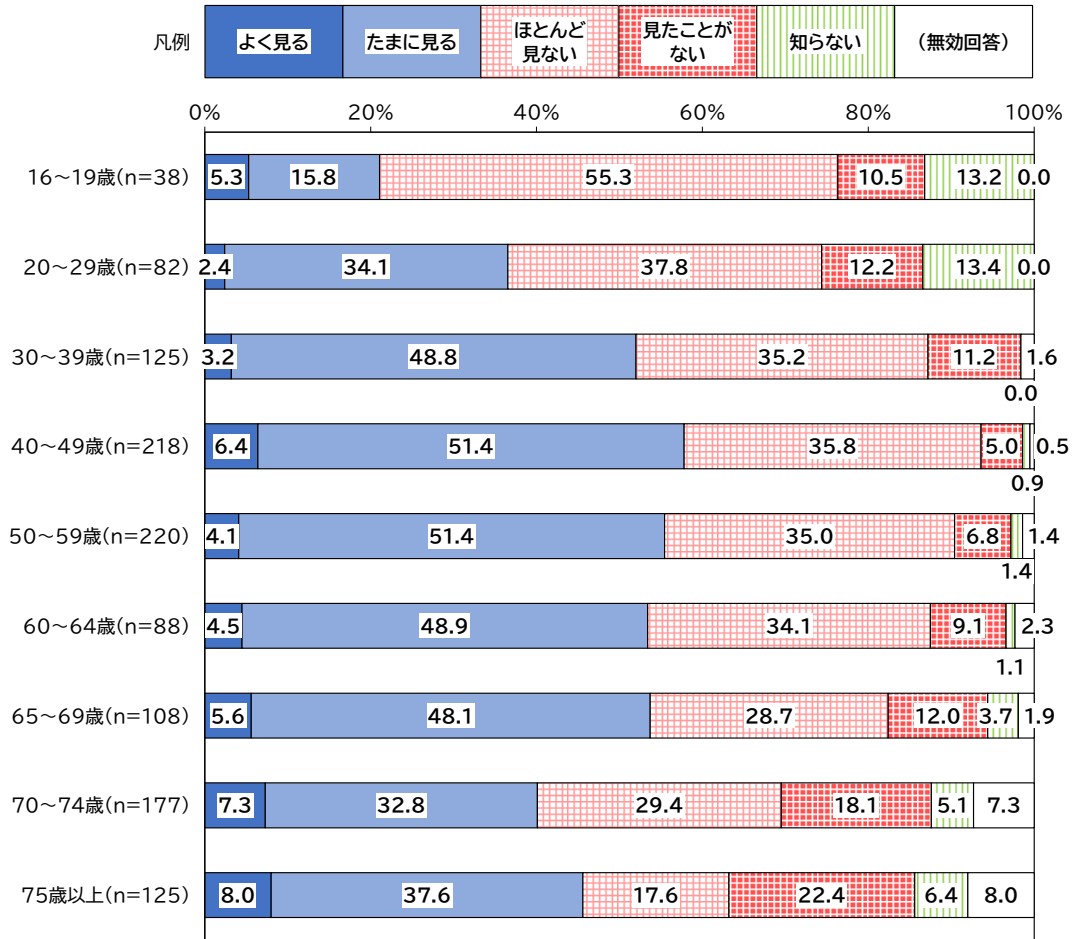
- 「市報ちょうふ」、「自治会の回覧」と「市議会だより」については、年齢層が上がるにつれて「よく読む・見る」と「たまに読む・見る」の合計が高くなる傾向となっており、特に「市報ちょうふ」は30歳以上の年齢層で80%を超えています。
- 「メールサービス」では、30～59歳の年齢層の「よく見る」と「たまに見る」合計が、40%を超えており、他の年齢層に比べて高くなっています。
- 「市公式ツイッター」などのSNSは、おおむね29歳以下や65歳以上で「知らない」が、他の年齢層に比べて高い傾向があります。

ア 市報ちょうふ

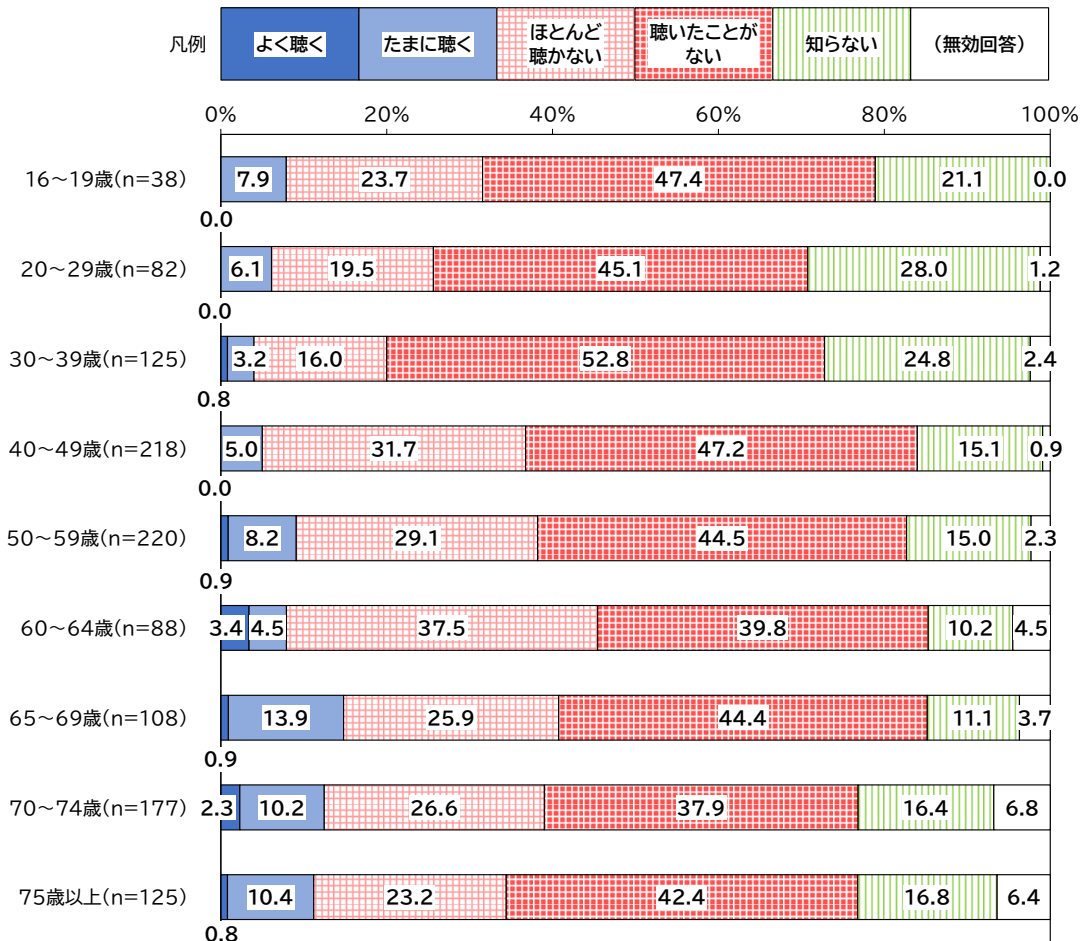


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

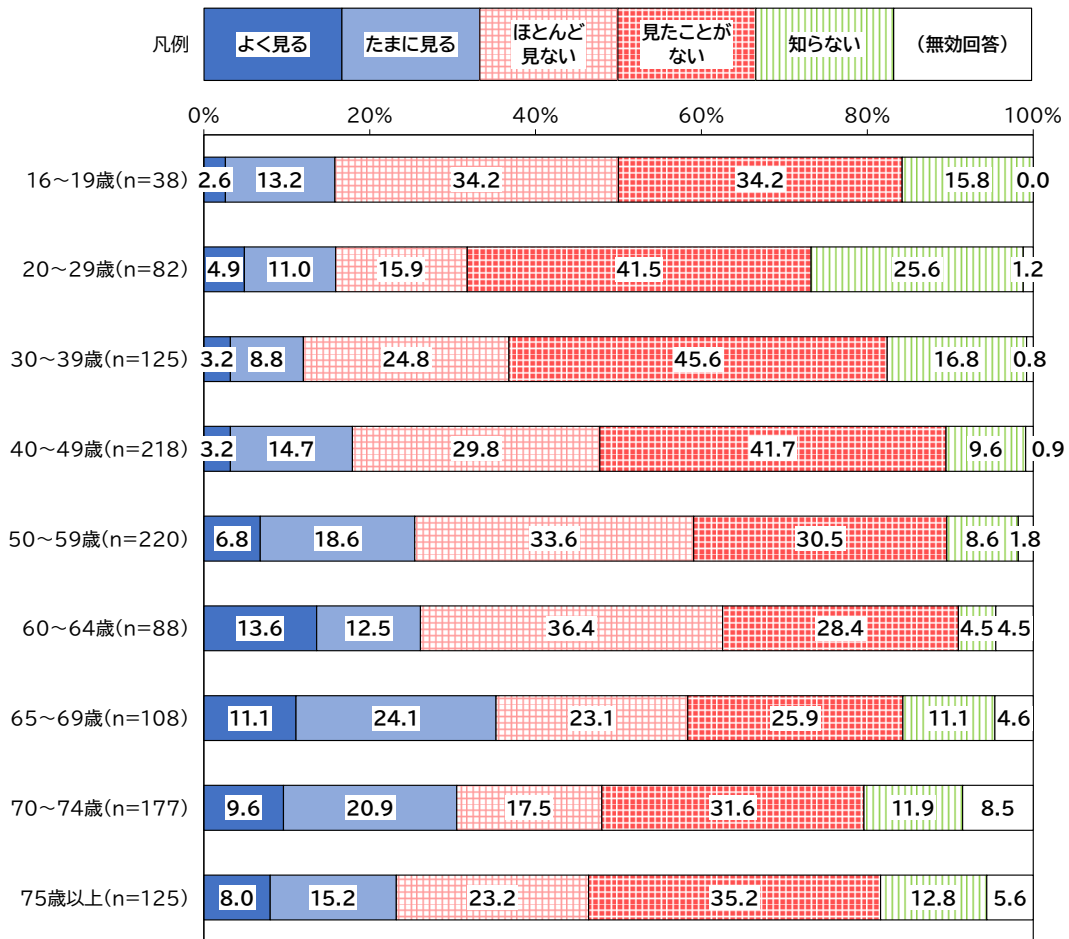
イ 市ホームページ



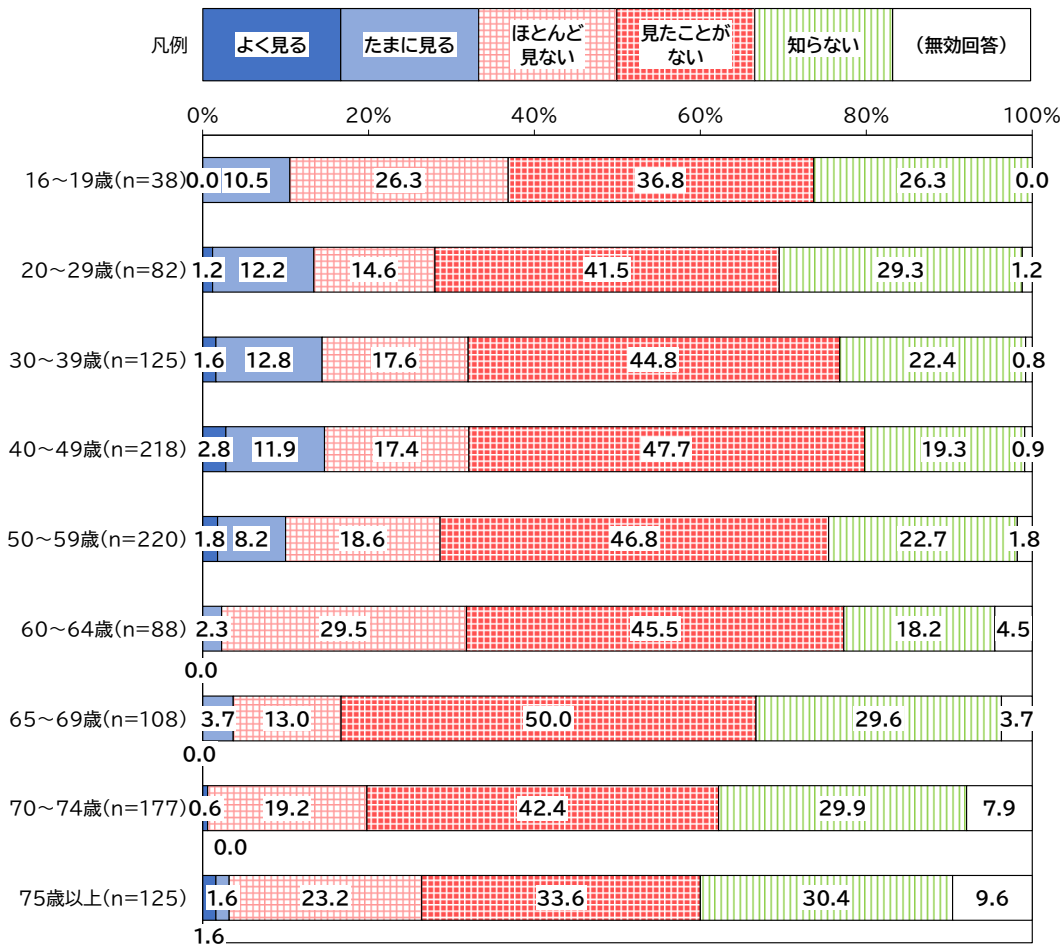
ウ 調布 FM ラジオ (83.8MHz)



エ ケーブルテレビ (J:COM)

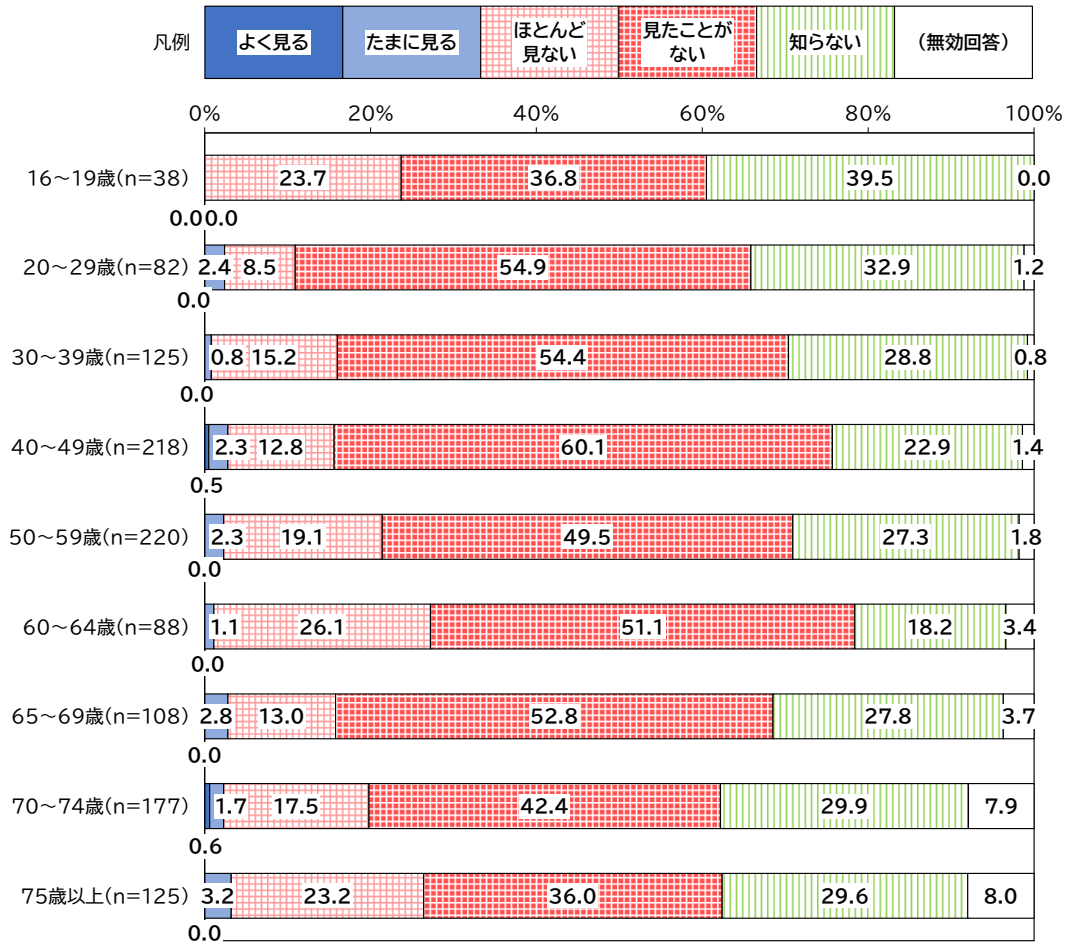


オ 市公式ツイッター

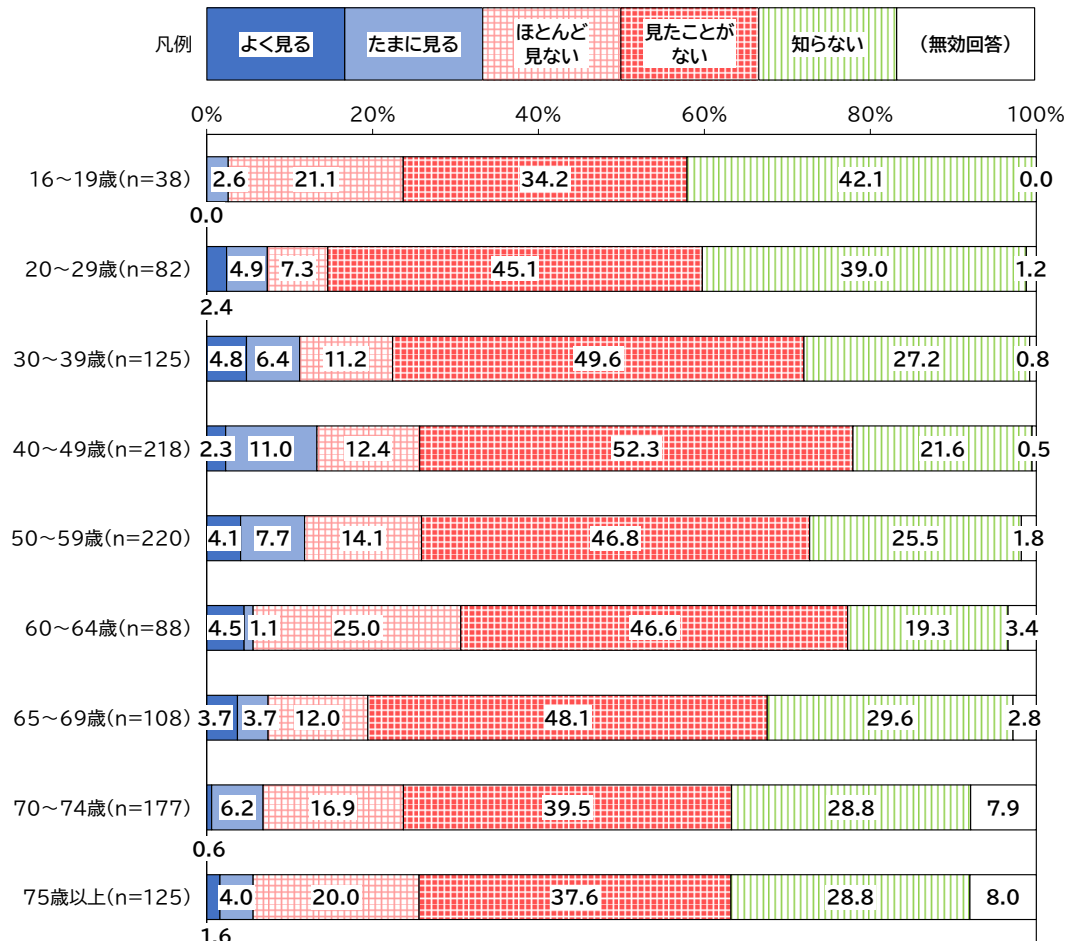


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

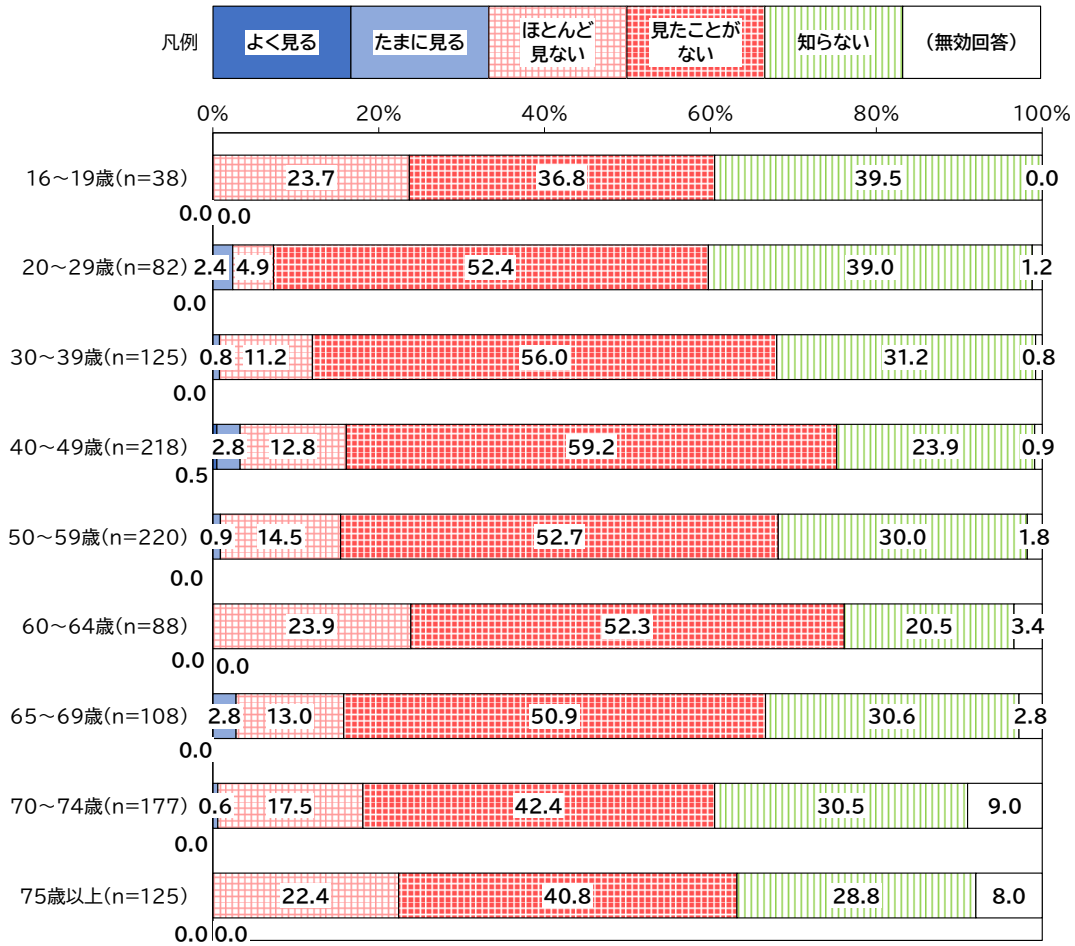
カ 市公式フェイスブック



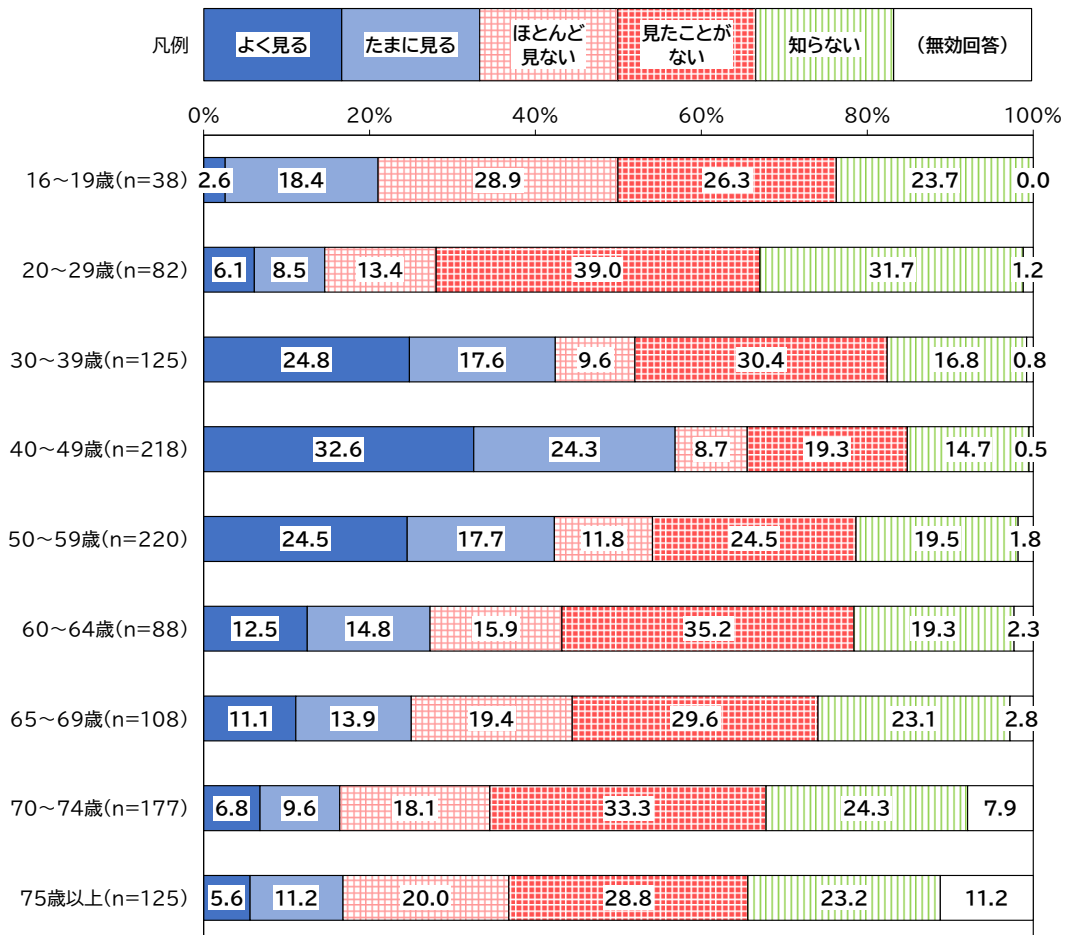
キ 市公式LINE アカウント



ク 市公式Instagram

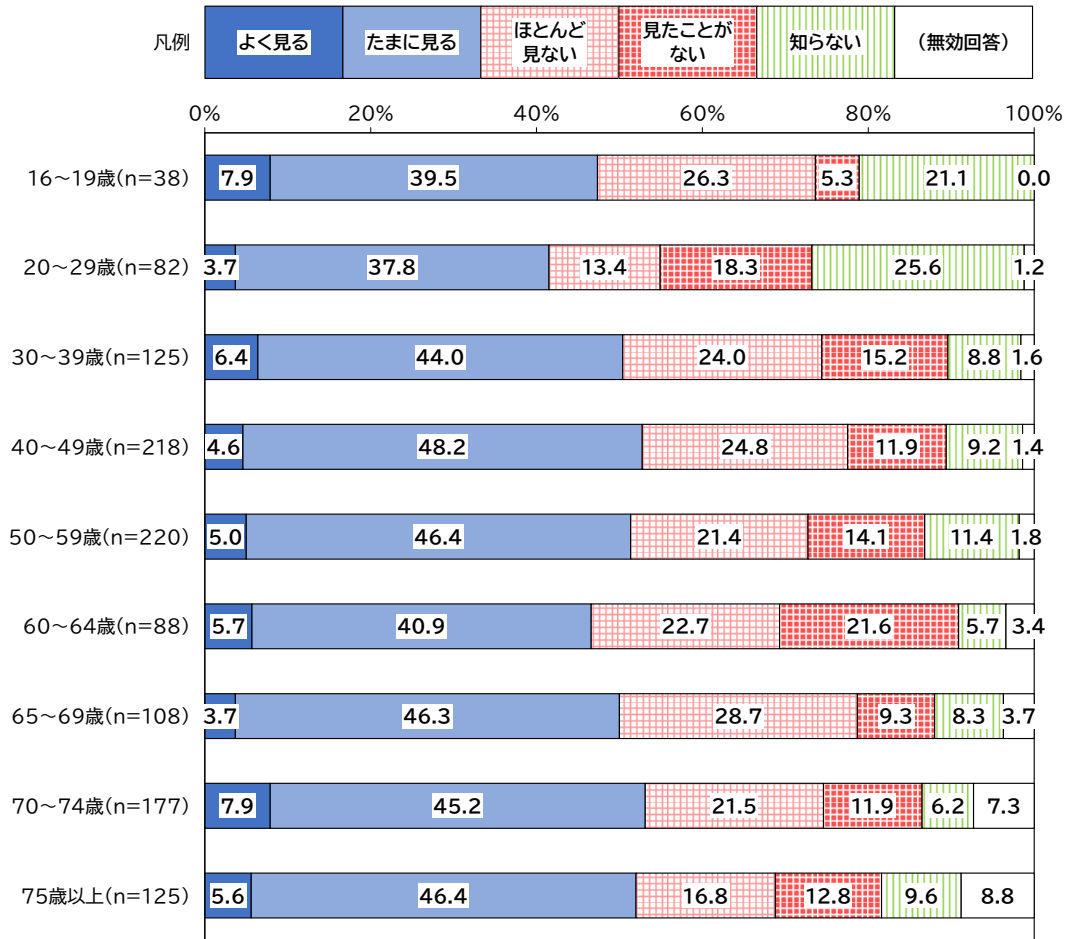


ケ メールサービス (防災安全情報メールなど)

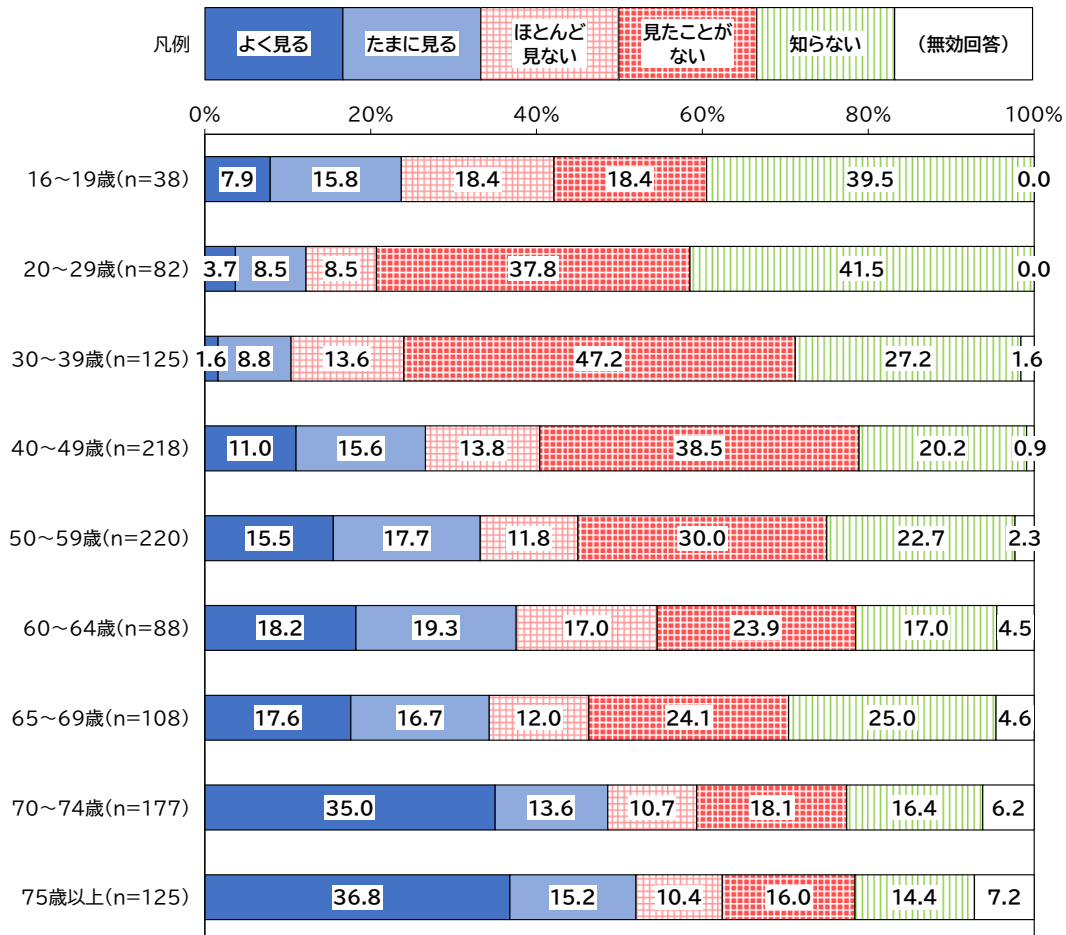


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

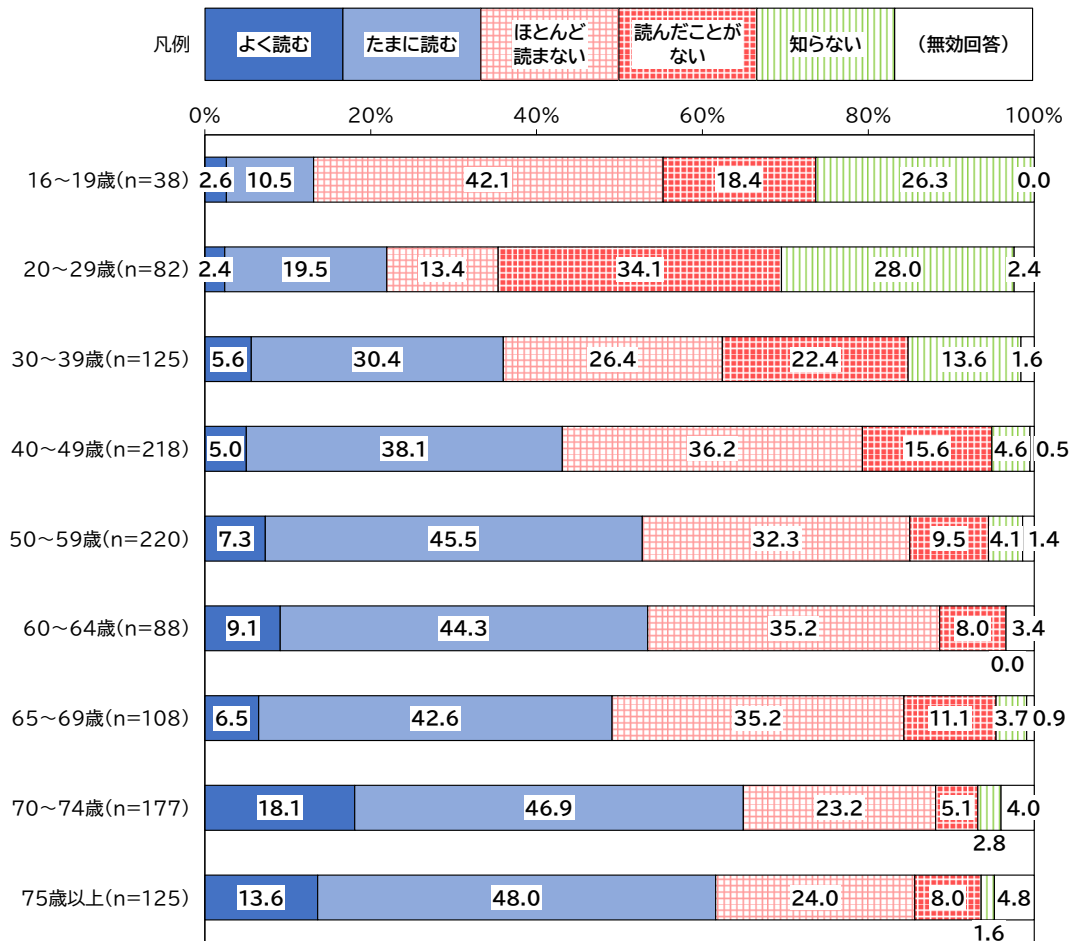
コ 公共施設に掲示したポスター，チラシなど



サ 自治会の回覧



シ 市議会だより



<自由記述>主な意見を抜粋

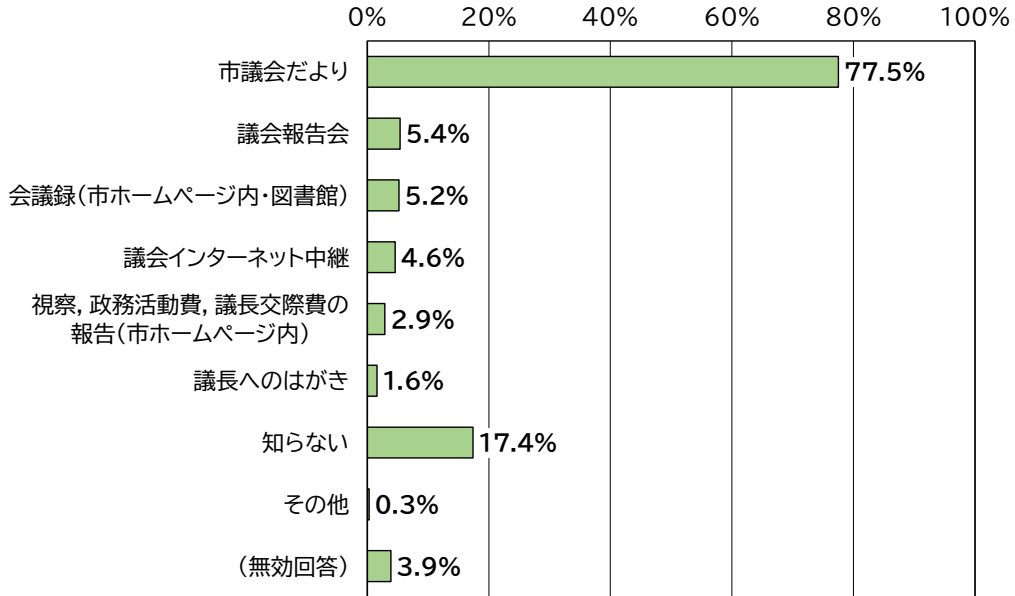
【図表 市政の情報発信についてのご意見・ご提案】(34件)

- ・若者向けの SNS もやってほしい。
- ・書面での情報展開ではなく、YouTube やインスタを多用してほしい。
- ・市のホームページに情報はよく載っているのですがスマホやタブレットで表示しやすいレスポンスデザインにしたり、PWA（モバイル向け Web サイトをスマートフォン向けアプリのように使えるようにするしくみ）やアプリ化を検討してほしい。

問 66) 市議会が行っている広報・広聴活動のうち、あなたが知っているものはどれですか。

<全体 (n=1,193) >

○「市議会だより」が77.5%で最も高く、次いで「議会報告会」の5.4%、「会議録（市ホームページ内・図書館）」の5.2%の順となっています。



<年齢層別>

○30歳以上では、「市議会だより」が最も高くなっており、特に、50歳以上では80%以上を占めていますが、29歳以下では「知らない」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市議会だより	924	16	35	85	174	190	73	90	150	104
	77.5%	42.1%	42.7%	68.0%	79.8%	86.4%	83.0%	83.3%	84.7%	83.2%
議会報告会	64	1	2	0	8	9	6	5	12	18
	5.4%	2.6%	2.4%	0.0%	3.7%	4.1%	6.8%	4.6%	6.8%	14.4%
会議録(市ホームページ内・図書館)	62	4	7	4	14	7	4	6	9	7
	5.2%	10.5%	8.5%	3.2%	6.4%	3.2%	4.5%	5.6%	5.1%	5.6%
議会インターネット中継	55	1	3	3	14	12	5	7	5	4
	4.6%	2.6%	3.7%	2.4%	6.4%	5.5%	5.7%	6.5%	2.8%	3.2%
視察, 政務活動費, 議長交際費の報告(市ホームページ内)	34	1	2	2	6	8	3	2	7	3
	2.9%	2.6%	2.4%	1.6%	2.8%	3.6%	3.4%	1.9%	4.0%	2.4%
議長へのはがき	19	0	2	0	5	2	2	4	2	2
	1.6%	0.0%	2.4%	0.0%	2.3%	0.9%	2.3%	3.7%	1.1%	1.6%
知らない	208	22	42	36	34	24	9	15	17	8
	17.4%	57.9%	51.2%	28.8%	15.6%	10.9%	10.2%	13.9%	9.6%	6.4%
その他	4	0	1	0	1	1	0	0	1	0
	0.3%	0.0%	1.2%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
(無効回答)	46	0	2	4	4	6	5	2	9	10
	3.9%	0.0%	2.4%	3.2%	1.8%	2.7%	5.7%	1.9%	5.1%	8.0%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

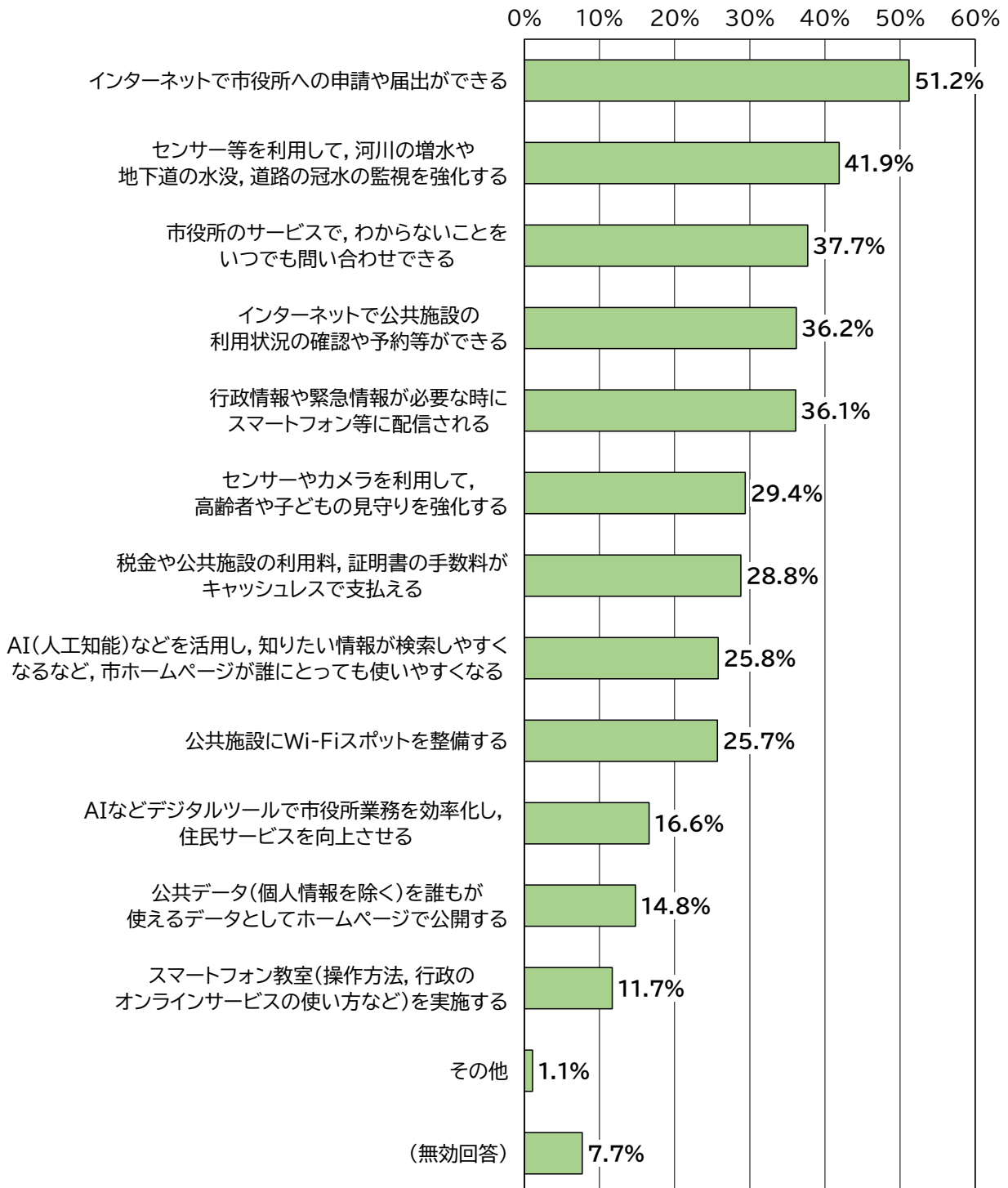
回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

問 67) あなたが、調布市が行う行政サービスのデジタル化の取組について、特に力を入れて欲しいと思う取組は何ですか。

<全体 (n=1,193) >

○「インターネットで市役所への申請や届出ができる」が51.2%で最も高く、次いで「センサー等を利用して、河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化する」の41.9%、「市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる」の37.7%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○16～64歳で「インターネットで市役所への申請や届出ができる」、65～74歳で「センサー等を利用して、河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化する」、75歳以上で「市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
インターネットで市役所への申請や届出ができる	611	19	58	97	138	136	45	45	45	27
	51.2%	50.0%	70.7%	77.6%	63.3%	61.8%	51.1%	41.7%	25.4%	21.6%
センサー等を利用して、河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化する	500	13	25	53	93	105	30	58	79	40
	41.9%	34.2%	30.5%	42.4%	42.7%	47.7%	34.1%	53.7%	44.6%	32.0%
市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる	450	9	28	43	55	91	38	48	73	60
	37.7%	23.7%	34.1%	34.4%	25.2%	41.4%	43.2%	44.4%	41.2%	48.0%
インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる	432	17	39	67	102	91	31	28	37	19
	36.2%	44.7%	47.6%	53.6%	46.8%	41.4%	35.2%	25.9%	20.9%	15.2%
行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される	431	15	21	60	85	90	35	36	51	36
	36.1%	39.5%	25.6%	48.0%	39.0%	40.9%	39.8%	33.3%	28.8%	28.8%
センサーやカメラを利用して、高齢者や子どもの見守りを強化する	351	8	9	52	72	77	19	38	54	21
	29.4%	21.1%	11.0%	41.6%	33.0%	35.0%	21.6%	35.2%	30.5%	16.8%
税金や公共施設の利用料、証明書の手数料がキャッシュレスで支払える	343	11	25	64	93	72	23	24	15	15
	28.8%	28.9%	30.5%	51.2%	42.7%	32.7%	26.1%	22.2%	8.5%	12.0%
AI（人工知能）などを活用し、知りたい情報が検索しやすくなるなど、市ホームページが誰にとっても使いやすいくなる	308	8	22	38	63	57	28	31	40	19
	25.8%	21.1%	26.8%	30.4%	28.9%	25.9%	31.8%	28.7%	22.6%	15.2%
公共施設にWi-Fiスポットを整備する	307	17	27	50	52	74	17	23	31	15
	25.7%	44.7%	32.9%	40.0%	23.9%	33.6%	19.3%	21.3%	17.5%	12.0%
AIなどデジタルツールで市役所業務を効率化し、住民サービスを向上させる	198	3	16	30	39	37	15	16	26	14
	16.6%	7.9%	19.5%	24.0%	17.9%	16.8%	17.0%	14.8%	14.7%	11.2%
公共データ（個人情報を除く）を誰もが使えるデータとしてホームページで公開する	177	6	12	25	36	37	15	15	20	11
	14.8%	15.8%	14.6%	20.0%	16.5%	16.8%	17.0%	13.9%	11.3%	8.8%
スマートフォン教室（操作方法、行政のオンラインサービスの使い方など）を実施する	139	8	3	7	12	23	4	15	36	30
	11.7%	21.1%	3.7%	5.6%	5.5%	10.5%	4.5%	13.9%	20.3%	24.0%
その他	13	0	1	2	0	4	0	0	2	4
	1.1%	0.0%	1.2%	1.6%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	1.1%	3.2%
（無効回答）	92	3	3	2	4	10	6	8	26	25
	7.7%	7.9%	3.7%	1.6%	1.8%	4.5%	6.8%	7.4%	14.7%	20.0%

（上段：実数（人），下段：構成比）

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

<自由記述>主な意見を抜粋

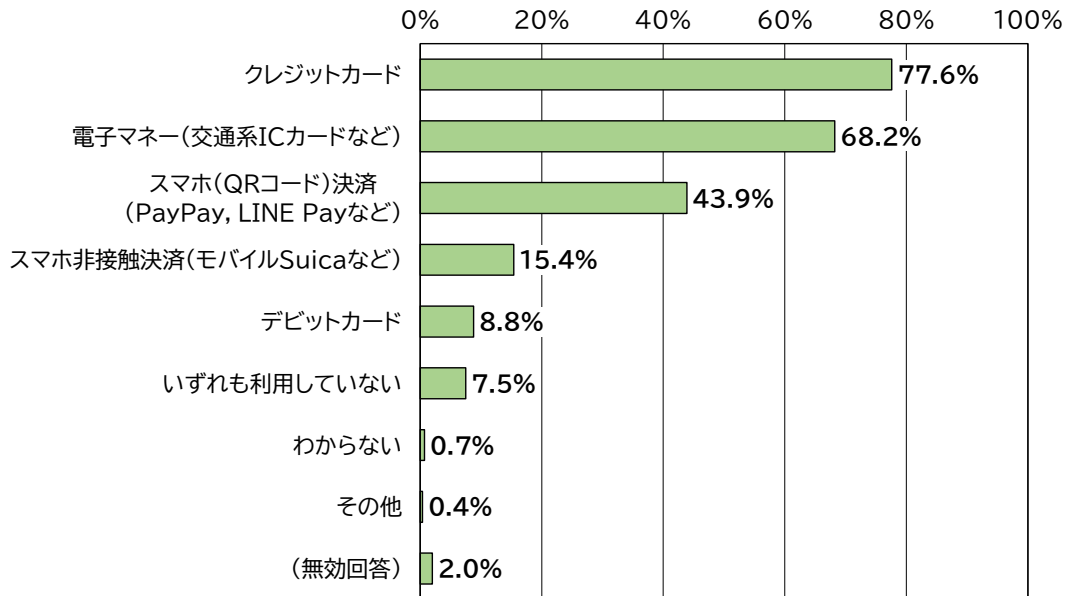
【図表 行政のデジタル化の推進に関する施策についてのご意見・ご提案】（60件）

- ・手続きや予約などがインターネットでできれば休日などを気にしなくて忙しい人にも便利になると思う。
- ・税金のキャッシュレス支払（PayPayなど）ができると助かります。
- ・市内の観光地、店、公園などはどこでもWi-Fiが使えるようにしてほしい。
- ・全てデジタル化ではなく、対人・対面の温もりも重視してほしい。

問 68) あなたが使っているキャッシュレス決済について、あてはまるものはどれですか。

<全体 (n=1,193) >

○「クレジットカード」が77.6%で最も高く、次いで「電子マネー（交通系ICカードなど）」の68.2%、「スマホ（QRコード）決済（PayPay, LINE Pay など）」の43.9%の順となっています。



<年齢層別>

○16～19歳で「電子マネー（交通系ICカードなど）」, 20歳以上で「クレジットカード」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
クレジットカード	926	6	65	113	188	195	72	88	130	65
	77.6%	15.8%	79.3%	90.4%	86.2%	88.6%	81.8%	81.5%	73.4%	52.0%
電子マネー（交通系ICカードなど）	814	31	62	111	176	163	58	75	87	46
	68.2%	81.6%	75.6%	88.8%	80.7%	74.1%	65.9%	69.4%	49.2%	36.8%
スマホ（QRコード）決済（PayPay, LINE Pay など）	524	20	49	79	138	115	37	36	31	18
	43.9%	52.6%	59.8%	63.2%	63.3%	52.3%	42.0%	33.3%	17.5%	14.4%
スマホ非接触決済（モバイルSuicaなど）	184	1	25	37	41	41	14	11	8	6
	15.4%	2.6%	30.5%	29.6%	18.8%	18.6%	15.9%	10.2%	4.5%	4.8%
デビットカード	105	5	13	13	13	21	11	10	15	4
	8.8%	13.2%	15.9%	10.4%	6.0%	9.5%	12.5%	9.3%	8.5%	3.2%
いずれも利用していない	89	5	2	1	5	6	3	6	27	32
	7.5%	13.2%	2.4%	0.8%	2.3%	2.7%	3.4%	5.6%	15.3%	25.6%
わからない	8	0	0	0	1	0	1	0	1	5
	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	1.1%	0.0%	0.6%	4.0%
その他	5	1	0	0	0	0	1	1	1	1
	0.4%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.9%	0.6%	0.8%
(無効回答)	24	0	1	0	1	2	2	3	7	4
	2.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.5%	0.9%	2.3%	2.8%	4.0%	3.2%

(上段：実数（人），下段：構成比)

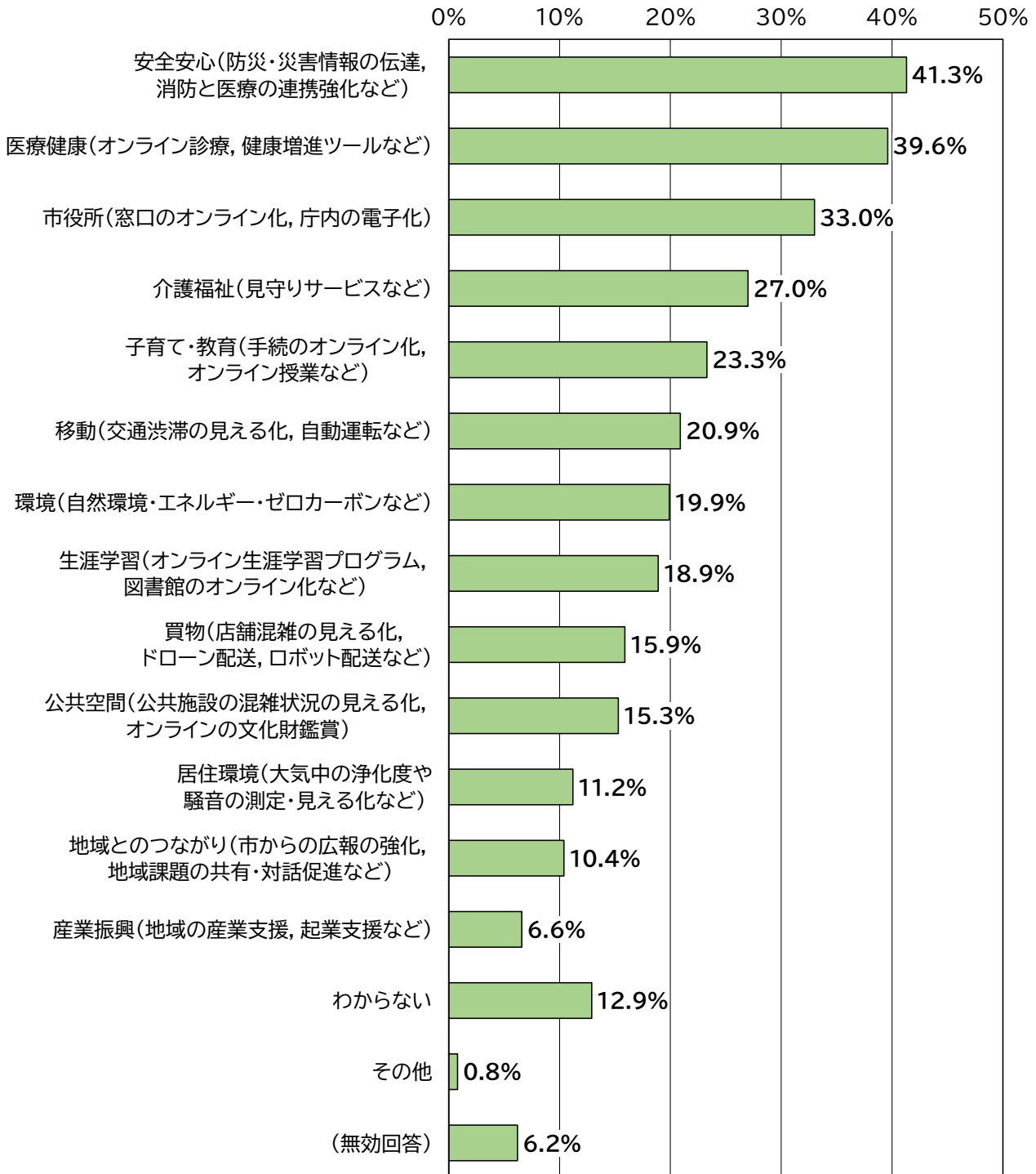
回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

問 69) 調布市がスマートシティを目指すに当たって、ICT を活用してほしい分野や、日々の生活で不便さを感じている分野を教えてください。

<全体 (n=1,193) >

○「安全安心(防災・災害情報の伝達, 消防と医療の連携強化など)」が41.3%で最も高く, 次いで「医療健康(オンライン診療, 健康増進ツールなど)」の39.6%, 「市役所(窓口のオンライン化, 庁内の電子化)」の33.0%の順となっています。



<年齢層別>

○20～39歳では、「子育て・教育（手続のオンライン化，オンライン授業など）」が，40歳以上では，おおむね「安全安心（防災・災害情報の伝達，消防と医療の連携強化など）」もしくは「医療健康（オンライン診療，健康増進ツールなど）」が高くなっています。また，20歳代・40歳代では「市役所（窓口のオンライン化，庁内の電子化）」が，75歳以上では「介護福祉（見守りサービスなど）」が，それぞれ他の年齢層よりも高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
安全安心（防災・災害情報の伝達，消防と医療の連携強化など）	493	16	28	48	71	103	37	58	78	50
	41.3%	42.1%	34.1%	38.4%	32.6%	46.8%	42.0%	53.7%	44.1%	40.0%
医療健康（オンライン診療，健康増進ツールなど）	473	7	26	60	88	107	37	52	64	28
	39.6%	18.4%	31.7%	48.0%	40.4%	48.6%	42.0%	48.1%	36.2%	22.4%
市役所（窓口のオンライン化，庁内の電子化）	394	7	36	58	91	91	26	30	35	18
	33.0%	18.4%	43.9%	46.4%	41.7%	41.4%	29.5%	27.8%	19.8%	14.4%
介護福祉（見守りサービスなど）	322	4	11	21	46	79	28	39	58	33
	27.0%	10.5%	13.4%	16.8%	21.1%	35.9%	31.8%	36.1%	32.8%	26.4%
子育て・教育（手続のオンライン化，オンライン授業など）	278	11	37	74	79	37	8	11	15	5
	23.3%	28.9%	45.1%	59.2%	36.2%	16.8%	9.1%	10.2%	8.5%	4.0%
移動（交通渋滞の見える化，自動運転など）	249	8	30	35	55	62	23	11	19	6
	20.9%	21.1%	36.6%	28.0%	25.2%	28.2%	26.1%	10.2%	10.7%	4.8%
環境（自然環境・エネルギー・ゼロカーボンなど）	238	8	15	25	44	43	27	25	37	10
	19.9%	21.1%	18.3%	20.0%	20.2%	19.5%	30.7%	23.1%	20.9%	8.0%
生涯学習（オンライン生涯学習プログラム，図書館のオンライン化など）	225	9	20	27	44	45	21	17	25	14
	18.9%	23.7%	24.4%	21.6%	20.2%	20.5%	23.9%	15.7%	14.1%	11.2%
買物（店舗混雑の見える化，ドローン配送，ロボット配送など）	190	8	18	36	47	42	9	7	19	3
	15.9%	21.1%	22.0%	28.8%	21.6%	19.1%	10.2%	6.5%	10.7%	2.4%
公共空間（公共施設の混雑状況の見える化，オンラインの文化財鑑賞）	183	11	19	27	31	35	11	19	20	9
	15.3%	28.9%	23.2%	21.6%	14.2%	15.9%	12.5%	17.6%	11.3%	7.2%
居住環境（大気中の浄化度や騒音の測定・見える化など）	134	4	4	17	18	31	12	14	19	12
	11.2%	10.5%	4.9%	13.6%	8.3%	14.1%	13.6%	13.0%	10.7%	9.6%
地域とのつながり（市からの広報の強化，地域課題の共有・対話促進など）	124	7	8	15	13	23	11	11	24	12
	10.4%	18.4%	9.8%	12.0%	6.0%	10.5%	12.5%	10.2%	13.6%	9.6%
産業振興（地域の産業支援，起業支援など）	79	5	2	12	12	18	6	6	14	2
	6.6%	13.2%	2.4%	9.6%	5.5%	8.2%	6.8%	5.6%	7.9%	1.6%
わからない	154	7	14	8	11	22	12	11	33	35
	12.9%	18.4%	17.1%	6.4%	5.0%	10.0%	13.6%	10.2%	18.6%	28.0%
その他	10	1	1	2	2	1	0	1	2	0
	0.8%	2.6%	1.2%	1.6%	0.9%	0.5%	0.0%	0.9%	1.1%	0.0%
（無効回答）	74	1	0	1	4	11	6	7	21	17
	6.2%	2.6%	0.0%	0.8%	1.8%	5.0%	6.8%	6.5%	11.9%	13.6%

（上段：実数（人），下段：構成比）

回答割合が最も高い：



回答割合が2番目に高い：



<自由記述>主な意見を抜粋

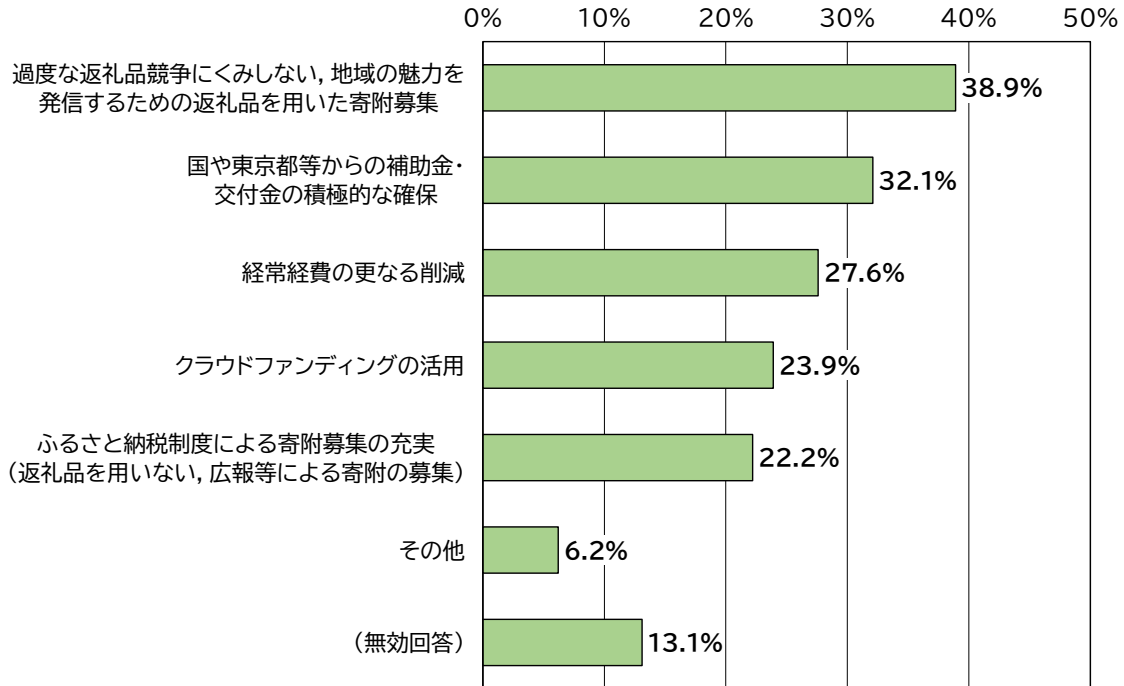
【図表 市がスマートシティを目指すに当たり，ICTを活用してほしい分野や，日々の生活で不便さを感じている分野について，そのように思う理由】（53件）

- ・ 健常者は多少不便でもどうにかできます。不自由をかかえている人達に手を差し伸べて下さい。
- ・ 市役所に用事があっても，平日は仕事のため休みをとらなければいけないので，窓口のオンライン化をすすめてほしい。
- ・ 生活インフラを支える分野をICT化して生活レベルの上昇に力を入れてほしい。

問70) ふるさと納税に伴う個人市民税の税額控除による、市税の減収影響が大きな問題となっています。財源確保のため、今後市が取り組むべきだと思うものはどれですか。

<全体 (n=1,193) >

○「過度な返礼品競争にくみしない、地域の魅力を発信するための返礼品を用いた寄附募集」が38.9%で最も高く、次いで「国や東京都等からの補助金・交付金の積極的な確保」の32.1%、「経常経費の更なる削減」の27.6%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層もおおむね「過度な返礼品競争にくみしない、地域の魅力を発信するための返礼品を用いた寄附募集」もしくは「国や東京都等からの補助金・交付金の積極的な確保」が高くなっています。16~19歳では「クラウドファンディングの活用」が、他の年齢層より高くなっています。

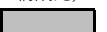
選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
過度な返礼品競争にくみしない、地域の魅力を発信するための返礼品を用いた寄附募集	464	11	35	55	79	103	38	48	60	34
	38.9%	28.9%	42.7%	44.0%	36.2%	46.8%	43.2%	44.4%	33.9%	27.2%
国や東京都等からの補助金・交付金の積極的な確保	383	6	28	45	68	65	24	37	57	49
	32.1%	15.8%	34.1%	36.0%	31.2%	29.5%	27.3%	34.3%	32.2%	39.2%
経常経費の更なる削減	329	5	15	24	60	61	24	41	56	40
	27.6%	13.2%	18.3%	19.2%	27.5%	27.7%	27.3%	38.0%	31.6%	32.0%
クラウドファンディングの活用	285	15	19	40	54	48	18	23	39	28
	23.9%	39.5%	23.2%	32.0%	24.8%	21.8%	20.5%	21.3%	22.0%	22.4%
ふるさと納税制度による寄附募集の充実 (返礼品を用いない、広報等による寄附の募集)	265	11	27	41	49	46	20	19	27	24
	22.2%	28.9%	32.9%	32.8%	22.5%	20.9%	22.7%	17.6%	15.3%	19.2%
その他	74	4	7	5	10	24	5	6	8	4
	6.2%	10.5%	8.5%	4.0%	4.6%	10.9%	5.7%	5.6%	4.5%	3.2%
(無効回答)	156	4	2	7	26	19	10	11	45	26
	13.1%	10.5%	2.4%	5.6%	11.9%	8.6%	11.4%	10.2%	25.4%	20.8%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：



回答割合が2番目に高い：

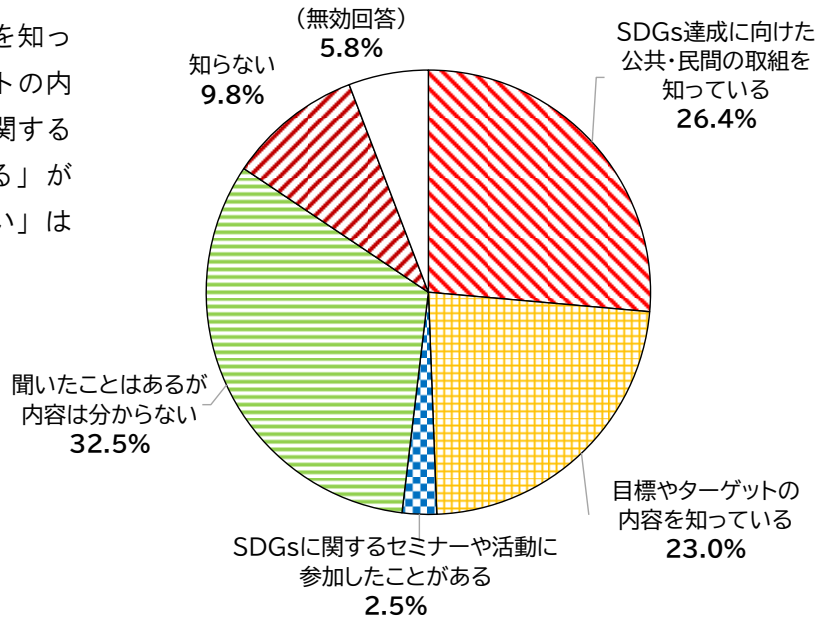


【SDGsについて】

問 71) あなたは、国連で採択された持続可能な開発目標 SDGs を知っていますか。

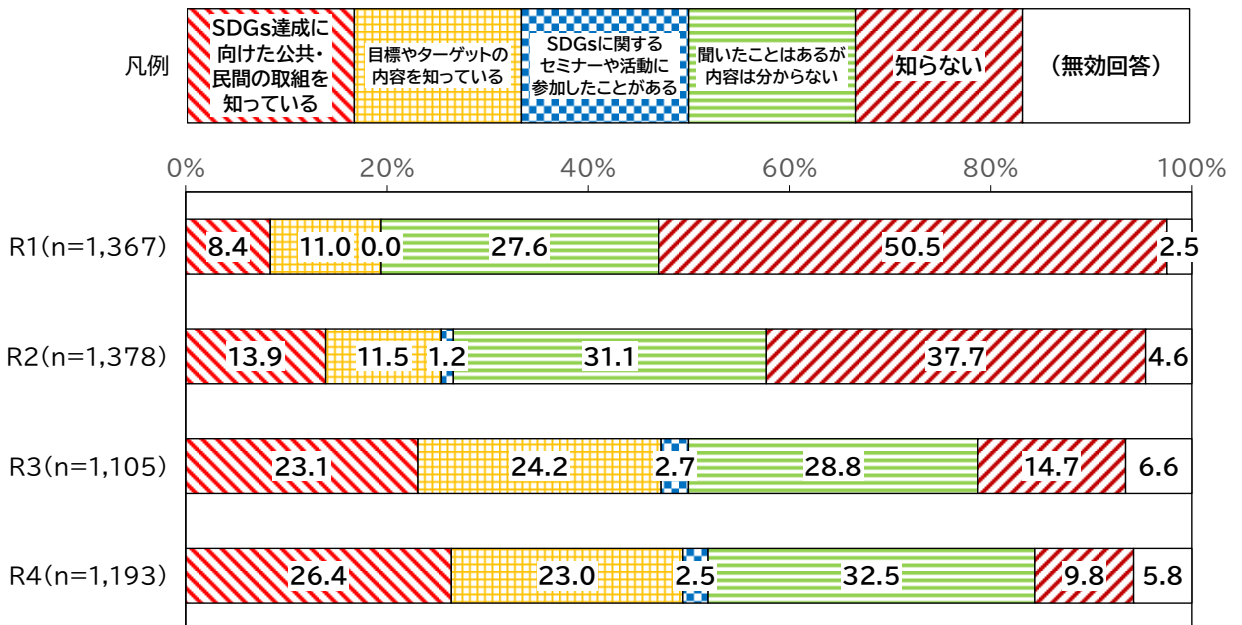
<全体 (n=1,193) >

○「SDGs 達成に向けた公共・民間の取組を知っている」が 26.4%、「目標やターゲットの内容を知っている」が 23.0%、「SDGs に関するセミナーや活動に参加したことがある」が 2.5%で合計 51.9%、また、「知らない」は 9.8%となっています。



<経年比較>

○「SDGs 達成に向けた公共・民間の取組を知っている」と「目標やターゲットの内容を知っている」、「SDGs に関するセミナーや活動に参加したことがある」の令和 4 年度の合計(51.9%)は、令和 3 年度(50.0%)に比べ 1.9 ポイント増加しています。



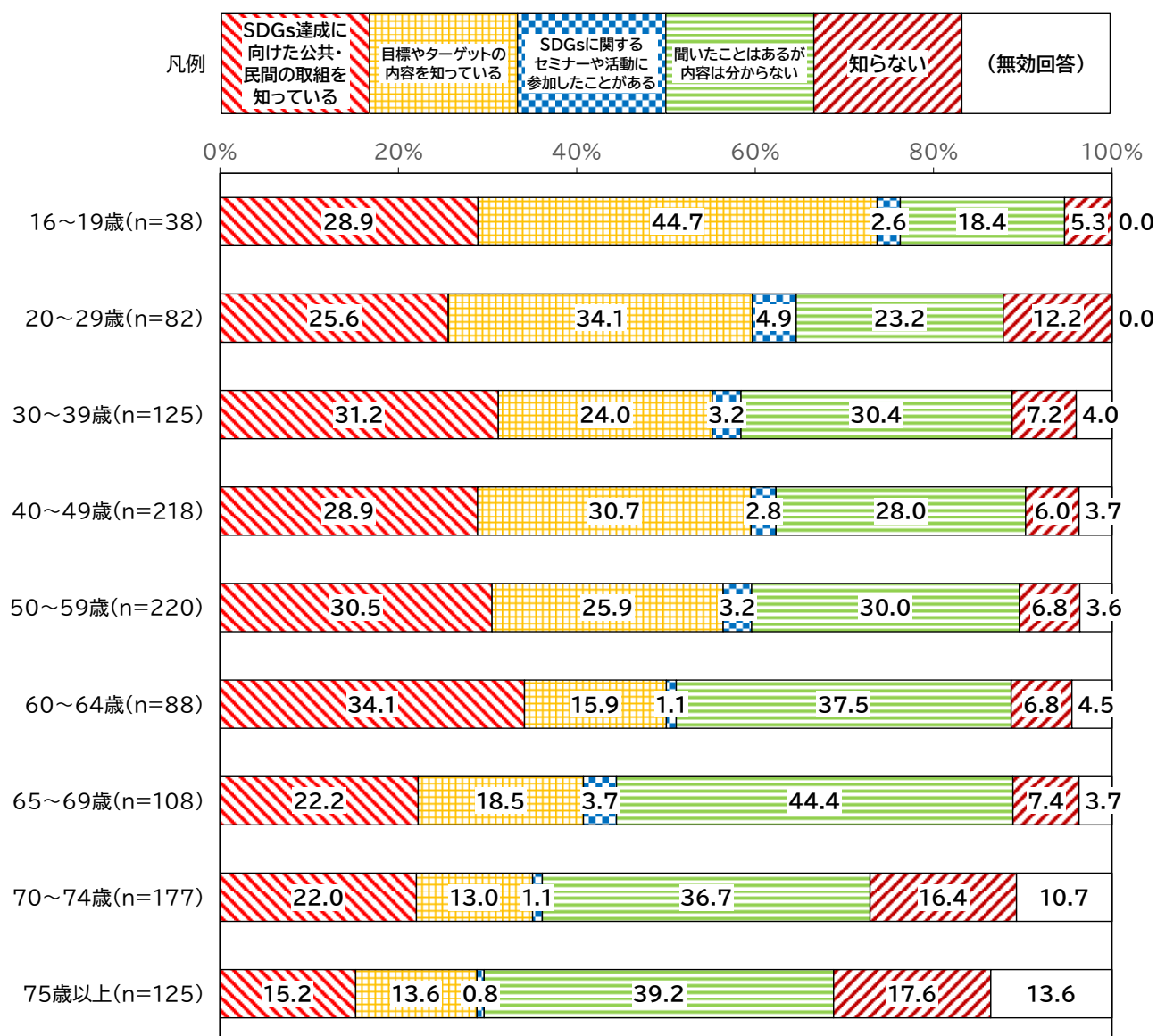
※平成 30 年度は「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（調査期間：H30.12.28～H31.1.18）」による把握値

※「SDGs に関するセミナーや活動に参加したことがある」は令和 2 年度から設定した選択肢です。

第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

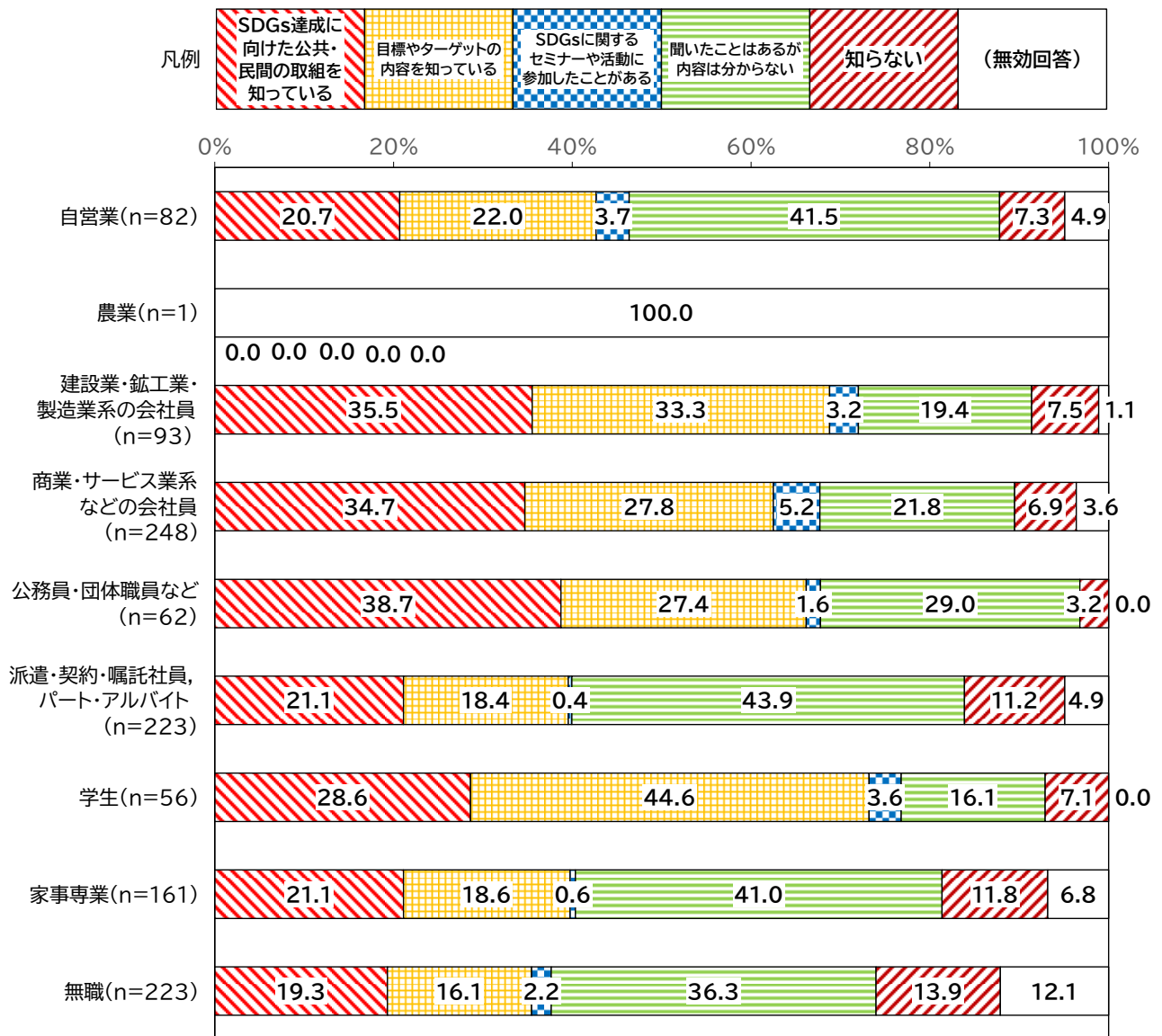
<年齢層別>

○「SDGs 達成に向けた公共・民間の取組を知っている」、「目標やターゲットの内容を知っている」、「SDGs に関するセミナーや活動に参加したことがある」の合計は、16～19 歳が 76.2%で最も高く、次いで 20～29 歳の 64.6%，40～49 歳の 62.4%の順となっています。



<職業別>

○「SDGs 達成に向けた公共・民間の取組を知っている」、「目標やターゲットの内容を知っている」、「SDGs に関するセミナーや活動に参加したことがある」の合計は、学生が 76.8%で最も高く、次いで建設業・鉱工業・製造業系の会社員の 72.0%、「商業・サービス業系などの会社員」及び「公務員・団体職員など」の 67.7%の順となっています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 SDGs に関するご意見・ご提案】(44 件)

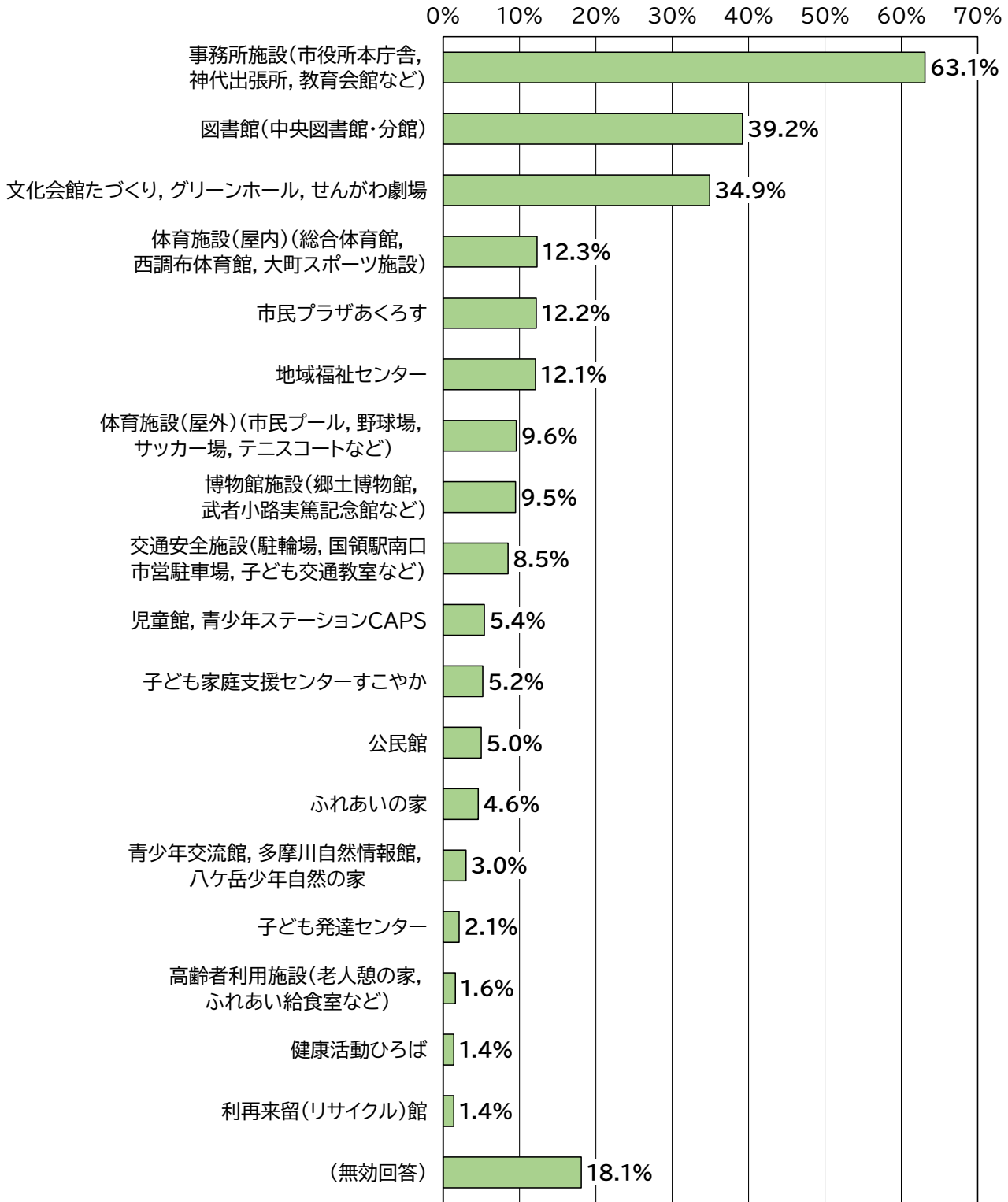
- ・ 公共の完全 LED 化。給食などの残飯を利用した肥料を、市の農家に配布。
- ・ クリーンエネルギーをもっと皆が利用しやすくなる環境・状況になっていけば良いと思う。その重要性の情報発信も引き続きやっていくべきだと思う。

(5) 「公共施設マネジメント」

問 72A) あなたがこの1年間で利用したことのある施設は何ですか。

<全体 (n=1,193) >

○「事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など)」が63.1%で最も高く, 次いで「図書館(中央図書館・分館)」の39.2%, 「文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場」の34.9%の順となっています。



<年齢層別>

○16～19歳では「図書館（中央図書館・分館）」、他の年齢層はいずれも「事務所施設（市役所本庁舎，神代出張所，教育会館など）」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
事務所施設（市役所本庁舎，神代出張所，教育会館など）	753	12	42	79	142	154	69	75	111	65
	63.1%	31.6%	51.2%	63.2%	65.1%	70.0%	78.4%	69.4%	62.7%	52.0%
図書館（中央図書館・分館）	468	21	31	52	84	81	41	41	65	47
	39.2%	55.3%	37.8%	41.6%	38.5%	36.8%	46.6%	38.0%	36.7%	37.6%
文化会館たづくり，グリーンホール，せんがわ劇場	416	13	24	48	63	68	32	41	79	44
	34.9%	34.2%	29.3%	38.4%	28.9%	30.9%	36.4%	38.0%	44.6%	35.2%
体育施設（屋内）（総合体育館，西調布体育館，大町スポーツ施設）	147	11	11	11	38	29	10	9	16	11
	12.3%	28.9%	13.4%	8.8%	17.4%	13.2%	11.4%	8.3%	9.0%	8.8%
市民プラザあくろす	146	3	8	12	21	31	14	15	27	15
	12.2%	7.9%	9.8%	9.6%	9.6%	14.1%	15.9%	13.9%	15.3%	12.0%
地域福祉センター	144	7	10	16	35	20	14	7	22	13
	12.1%	18.4%	12.2%	12.8%	16.1%	9.1%	15.9%	6.5%	12.4%	10.4%
体育施設（屋外）（市民プール，野球場，サッカー場，テニスコートなど）	114	8	9	12	34	23	7	6	8	6
	9.6%	21.1%	11.0%	9.6%	15.6%	10.5%	8.0%	5.6%	4.5%	4.8%
博物館施設（郷土博物館，武者小路実篤記念館など）	113	3	5	13	21	16	11	8	19	16
	9.5%	7.9%	6.1%	10.4%	9.6%	7.3%	12.5%	7.4%	10.7%	12.8%
交通安全施設（駐輪場，国領駅南口市営駐車場，子ども交通教室など）	101	4	7	10	29	21	7	4	11	8
	8.5%	10.5%	8.5%	8.0%	13.3%	9.5%	8.0%	3.7%	6.2%	6.4%
児童館，青少年ステーションCAPS	64	3	6	16	23	2	5	1	4	4
	5.4%	7.9%	7.3%	12.8%	10.6%	0.9%	5.7%	0.9%	2.3%	3.2%
子ども家庭支援センターすこやか	62	2	6	24	17	4	3	3	2	1
	5.2%	5.3%	7.3%	19.2%	7.8%	1.8%	3.4%	2.8%	1.1%	0.8%
公民館	60	1	4	3	8	7	4	7	16	8
	5.0%	2.6%	4.9%	2.4%	3.7%	3.2%	4.5%	6.5%	9.0%	6.4%
ふれあいの家	55	3	2	3	15	10	2	5	9	5
	4.6%	7.9%	2.4%	2.4%	6.9%	4.5%	2.3%	4.6%	5.1%	4.0%
青少年交流館，多摩川自然情報館，ハケ岳少年自然の家	36	3	5	3	9	7	3	1	2	3
	3.0%	7.9%	6.1%	2.4%	4.1%	3.2%	3.4%	0.9%	1.1%	2.4%
子ども発達センター	25	1	0	6	11	4	2	0	0	1
	2.1%	2.6%	0.0%	4.8%	5.0%	1.8%	2.3%	0.0%	0.0%	0.8%
高齢者利用施設（老人憩の家，ふれあい給食室など）	19	1	1	1	3	2	2	1	2	6
	1.6%	2.6%	1.2%	0.8%	1.4%	0.9%	2.3%	0.9%	1.1%	4.8%
健康活動ひろば	17	2	1	1	3	0	3	1	2	4
	1.4%	5.3%	1.2%	0.8%	1.4%	0.0%	3.4%	0.9%	1.1%	3.2%
利再来留（リサイクル）館	17	0	1	0	4	4	3	1	0	4
	1.4%	0.0%	1.2%	0.0%	1.8%	1.8%	3.4%	0.9%	0.0%	3.2%
（無効回答）	216	4	17	18	36	29	12	18	35	41
	18.1%	10.5%	20.7%	14.4%	16.5%	13.2%	13.6%	16.7%	19.8%	32.8%

（上段：実数（人），下段：構成比）

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

<地域別>

○すべての地域で「事務所施設（市役所本庁舎，神代出張所，教育会館など）」が最も高くなっています。

選択肢	合計	西部地域	北部地域	南部地域（中心市街地）	南部地域（中心市街地以外）	東部地域
全体	1,193	216	267	200	232	268
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
事務所施設（市役所本庁舎，神代出張所，教育会館など）	753	131	174	121	137	186
	63.1%	60.6%	65.2%	60.5%	59.1%	69.4%
図書館（中央図書館・分館）	468	84	105	78	97	100
	39.2%	38.9%	39.3%	39.0%	41.8%	37.3%
文化会館たづくり，グリーンホール，せんがわ劇場	416	81	82	71	86	93
	34.9%	37.5%	30.7%	35.5%	37.1%	34.7%
体育施設（屋内）（総合体育館，西調布体育館，大町スポーツ施設）	147	25	47	19	24	31
	12.3%	11.6%	17.6%	9.5%	10.3%	11.6%
市民プラザあくろす	146	25	25	52	23	21
	12.2%	11.6%	9.4%	26.0%	9.9%	7.8%
地域福祉センター	144	27	46	21	17	33
	12.1%	12.5%	17.2%	10.5%	7.3%	12.3%
体育施設（屋外）（市民プール，野球場，サッカー場，テニスコートなど）	114	19	28	19	23	24
	9.6%	8.8%	10.5%	9.5%	9.9%	9.0%
博物館施設（郷土博物館，武者小路実篤記念館など）	113	18	16	27	22	29
	9.5%	8.3%	6.0%	13.5%	9.5%	10.8%
交通安全施設（駐輪場，国領駅南口市営駐車場，子ども交通教室など）	101	21	25	17	24	14
	8.5%	9.7%	9.4%	8.5%	10.3%	5.2%
児童館，青少年ステーションCAPS	64	12	18	10	11	13
	5.4%	5.6%	6.7%	5.0%	4.7%	4.9%
子ども家庭支援センターすこやか	62	11	17	17	8	9
	5.2%	5.1%	6.4%	8.5%	3.4%	3.4%
公民館	60	14	15	8	7	14
	5.0%	6.5%	5.6%	4.0%	3.0%	5.2%
ふれあいの家	55	14	7	15	9	9
	4.6%	6.5%	2.6%	7.5%	3.9%	3.4%
青少年交流館，多摩川自然情報館，八ヶ岳少年自然の家	36	6	9	8	9	4
	3.0%	2.8%	3.4%	4.0%	3.9%	1.5%
子ども発達センター	25	5	4	6	4	6
	2.1%	2.3%	1.5%	3.0%	1.7%	2.2%
高齢者利用施設（老人憩の家，ふれあい給食室など）	19	2	4	1	4	8
	1.6%	0.9%	1.5%	0.5%	1.7%	3.0%
健康活動ひろば	17	3	3	4	5	2
	1.4%	1.4%	1.1%	2.0%	2.2%	0.7%
利再来留（リサイクル）館	17	3	3	4	2	5
	1.4%	1.4%	1.1%	2.0%	0.9%	1.9%
（無効回答）	216	40	45	37	44	45
	18.1%	18.5%	16.9%	18.5%	19.0%	16.8%

（上段：実数（人），下段：構成比）

回答割合が最も高い：



回答割合が2番目に高い：



<同居人別>

○いずれも「事務所施設（市役所本庁舎，神代出張所，教育会館など）」が最も高くなっています。

選択肢	合計	配偶者	0歳～2歳 の子ども	3歳～5歳 の子ども	小・中学生 の子ども	高校生世代 ～64歳の家 族・同居人	65歳～74歳 の家族・ 同居人	75歳以上 の家族・ 同居人	家族・同居 人はいない
全体	1,193	705	59	77	190	386	61	91	157
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
事務所施設（市役所本庁舎，神代出張所， 教育会館など）	753	489	46	59	117	246	34	53	83
	63.1%	69.4%	78.0%	76.6%	61.6%	63.7%	55.7%	58.2%	52.9%
図書館（中央図書館・分館）	468	299	19	36	95	152	18	31	48
	39.2%	42.4%	32.2%	46.8%	50.0%	39.4%	29.5%	34.1%	30.6%
文化会館たづくり，グリーンホール，せん がわ劇場	416	278	25	37	78	133	14	35	36
	34.9%	39.4%	42.4%	48.1%	41.1%	34.5%	23.0%	38.5%	22.9%
体育施設（屋内）（総合体育館，西調布体 育館，大町スポーツ施設）	147	90	6	8	39	65	4	14	13
	12.3%	12.8%	10.2%	10.4%	20.5%	16.8%	6.6%	15.4%	8.3%
市民プラザあくろす	146	95	8	8	24	55	3	16	9
	12.2%	13.5%	13.6%	10.4%	12.6%	14.2%	4.9%	17.6%	5.7%
地域福祉センター	144	94	15	13	41	44	7	12	13
	12.1%	13.3%	25.4%	16.9%	21.6%	11.4%	11.5%	13.2%	8.3%
体育施設（屋外）（市民プール，野球場， サッカー場，テニスコートなど）	114	72	5	11	44	45	3	8	6
	9.6%	10.2%	8.5%	14.3%	23.2%	11.7%	4.9%	8.8%	3.8%
博物館施設（郷土博物館，武者小路実篤記 念館など）	113	74	4	11	16	27	6	8	16
	9.5%	10.5%	6.8%	14.3%	8.4%	7.0%	9.8%	8.8%	10.2%
交通安全施設（駐輪場，国領駅南口市営駐 車場，子ども交通教室など）	101	73	4	12	30	40	4	7	3
	8.5%	10.4%	6.8%	15.6%	15.8%	10.4%	6.6%	7.7%	1.9%
児童館，青少年ステーションCAPS	64	48	13	16	29	18	3	3	2
	5.4%	6.8%	22.0%	20.8%	15.3%	4.7%	4.9%	3.3%	1.3%
子ども家庭支援センターすこやか	62	47	14	18	26	15	2	3	0
	5.2%	6.7%	23.7%	23.4%	13.7%	3.9%	3.3%	3.3%	0.0%
公民館	60	39	1	5	9	19	5	5	2
	5.0%	5.5%	1.7%	6.5%	4.7%	4.9%	8.2%	5.5%	1.3%
ふれあいの家	55	33	2	8	16	21	2	3	4
	4.6%	4.7%	3.4%	10.4%	8.4%	5.4%	3.3%	3.3%	2.5%
青少年交流館，多摩川自然情報館，八ヶ岳 少年自然の家	36	22	1	4	11	19	2	3	1
	3.0%	3.1%	1.7%	5.2%	5.8%	4.9%	3.3%	3.3%	0.6%
子ども発達センター	25	20	4	10	12	7	1	1	0
	2.1%	2.8%	6.8%	13.0%	6.3%	1.8%	1.6%	1.1%	0.0%
高齢者利用施設（老人憩の家，ふれあい給 食室など）	19	12	1	2	2	5	1	1	2
	1.6%	1.7%	1.7%	2.6%	1.1%	1.3%	1.6%	1.1%	1.3%
健康活動ひろば	17	10	1	1	2	6	1	0	1
	1.4%	1.4%	1.7%	1.3%	1.1%	1.6%	1.6%	0.0%	0.6%
利再来留（リサイクル）館	17	11	0	1	6	8	0	1	1
	1.4%	1.6%	0.0%	1.3%	3.2%	2.1%	0.0%	1.1%	0.6%
（無効回答）	216	95	2	3	22	66	15	23	47
	18.1%	13.5%	3.4%	3.9%	11.6%	17.1%	24.6%	25.3%	29.9%

（上段：実数（人），下段：構成比）

回答割合が最も高い：



回答割合が2番目に高い：



問 72B) あなたが重要だと思う施設は何ですか。

<全体 (n=1,193) >

- 最も重要だと思う施設の1番目は「事務所施設（市役所本庁舎，神代出張所，教育会館）」が37.0%で最も高く，次いで「保育園」の9.7%，「図書館（中央図書館・分館）」の7.0%の順となっています。
- 2番目に挙げられている施設では，「図書館（中央図書館・分館）」が10.6%で最も高く，次いで「保育園」の8.4%，「文化会館たづくり，グリーンホール，せんがわ劇場」の7.9%の順となっています。
- 3番目に挙げられている施設でも，「図書館（中央図書館・分館）」が10.6%で最も高く，次いで「文化会館たづくり，グリーンホール，せんがわ劇場」の7.9%，「義務教育施設（小学校・中学校など）」の4.7%の順となっています。

最も重要だと思う施設 上位5施設	
選択肢	構成比
事務所施設（市役所本庁舎，神代出張所，教育会館など）	37.0%
保育園	9.7%
図書館（中央図書館・分館）	7.0%
義務教育施設（小学校・中学校など）	6.8%
文化会館たづくり，グリーンホール，せんがわ劇場	3.3%

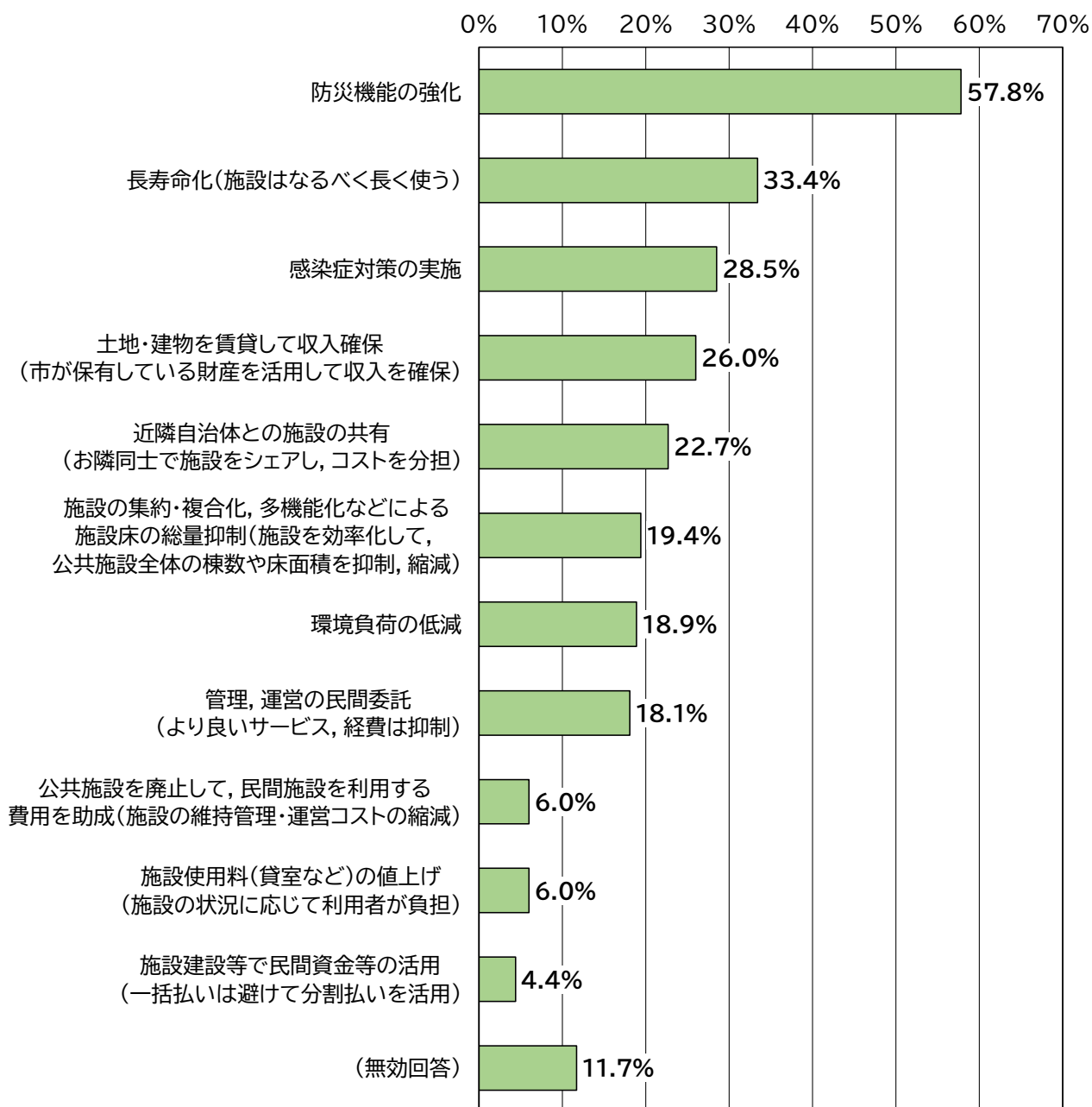
2番目に重要だと思う施設 上位5施設	
選択肢	構成比
図書館（中央図書館・分館）	10.6%
保育園	8.4%
文化会館たづくり，グリーンホール，せんがわ劇場	7.9%
義務教育施設（小学校・中学校など）	6.8%
事務所施設（市役所本庁舎，神代出張所，教育会館など）	5.4%

3番目に重要だと思う施設 上位5施設	
選択肢	構成比
図書館（中央図書館・分館）	10.6%
文化会館たづくり，グリーンホール，せんがわ劇場	7.9%
義務教育施設（小学校・中学校など）	4.7%
防災施設（消防団機械器具置場，防災倉庫など）	4.6%
高齢者サービス施設（ちょうふの里，国領高齢者在宅サービスセンター，シルバーピアなど）	4.3%

問 73) 調布市公共施設等総合管理計画では、公共施設マネジメントの基本方針として、「最適化に向けた適正な配置と総量の抑制」、「適切な維持管理・運営の推進」、「民間活力等の活用」を掲げています。それらを踏まえて、あなたが取り組んだ方が良いと考えるものは何ですか。

<全体 (n=1,193) >

○「防災機能の強化」が57.8%で最も高く、次いで「長寿命化（施設はなるべく長く使う）」の33.4%、「感染症対策の実施」の28.5%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、おおむね「防災機能の強化」、「長寿命化（施設はなるべく長く使う）」が高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,193	38	82	125	218	220	88	108	177	125
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
防災機能の強化	689	23	49	70	126	125	54	69	100	68
	57.8%	60.5%	59.8%	56.0%	57.8%	56.8%	61.4%	63.9%	56.5%	54.4%
長寿命化（施設はなるべく長く使う）	398	14	24	42	63	71	30	40	70	44
	33.4%	36.8%	29.3%	33.6%	28.9%	32.3%	34.1%	37.0%	39.5%	35.2%
感染症対策の実施	340	13	20	37	43	54	29	40	61	41
	28.5%	34.2%	24.4%	29.6%	19.7%	24.5%	33.0%	37.0%	34.5%	32.8%
土地・建物を賃貸して収入確保（市が保有している財産を活用して収入を確保）	310	4	13	37	66	62	17	30	52	28
	26.0%	10.5%	15.9%	29.6%	30.3%	28.2%	19.3%	27.8%	29.4%	22.4%
近隣自治体との施設の共有（お隣同士で施設をシェアし、コストを分担）	271	2	12	32	47	53	18	25	47	33
	22.7%	5.3%	14.6%	25.6%	21.6%	24.1%	20.5%	23.1%	26.6%	26.4%
施設の集約・複合化、多機能化などによる施設床の総量抑制（施設を効率化して、公共施設全体の棟数や床面積を抑制、縮減）	231	5	8	21	41	44	14	29	45	24
	19.4%	13.2%	9.8%	16.8%	18.8%	20.0%	15.9%	26.9%	25.4%	19.2%
環境負荷の低減	225	14	19	30	38	43	18	16	29	18
	18.9%	36.8%	23.2%	24.0%	17.4%	19.5%	20.5%	14.8%	16.4%	14.4%
管理、運営の民間委託（より良いサービス、経費は抑制）	216	5	12	29	44	40	15	23	33	12
	18.1%	13.2%	14.6%	23.2%	20.2%	18.2%	17.0%	21.3%	18.6%	9.6%
公共施設を廃止して、民間施設を利用する費用を助成（施設の維持管理・運営コストの縮減）	72	0	5	5	16	17	5	5	11	8
	6.0%	0.0%	6.1%	4.0%	7.3%	7.7%	5.7%	4.6%	6.2%	6.4%
施設使用料（貸室など）の値上げ（施設の利用状況に応じて利用者が負担）	72	2	7	9	13	11	2	3	16	9
	6.0%	5.3%	8.5%	7.2%	6.0%	5.0%	2.3%	2.8%	9.0%	7.2%
施設建設等で民間資金等の活用（一括払いを避けて分割払いを活用）	53	1	3	5	6	12	6	4	10	6
	4.4%	2.6%	3.7%	4.0%	2.8%	5.5%	6.8%	3.7%	5.6%	4.8%
（無効回答）	139	2	5	8	16	27	7	13	28	26
	11.7%	5.3%	6.1%	6.4%	7.3%	12.3%	8.0%	12.0%	15.8%	20.8%

（上段：実数（人）、下段：構成比）

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

<地域別>

○いずれの地域でも、「防災機能の強化」、「長寿命化（施設はなるべく長く使う）」が高くなっています。

選択肢	合計	西部地域	北部地域	南部地域（中心市街地）	南部地域（中心市街地以外）	東部地域
全体	1,193	216	267	200	232	268
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
防災機能の強化	689	123	156	110	146	150
	57.8%	56.9%	58.4%	55.0%	62.9%	56.0%
長寿命化（施設はなるべく長く使う）	398	78	86	62	81	91
	33.4%	36.1%	32.2%	31.0%	34.9%	34.0%
感染症対策の実施	340	64	78	57	55	84
	28.5%	29.6%	29.2%	28.5%	23.7%	31.3%
土地・建物を賃貸して収入確保（市が保有している財産を活用して収入を確保）	310	58	67	54	53	77
	26.0%	26.9%	25.1%	27.0%	22.8%	28.7%
近隣自治体との施設の共有（お隣同士で施設をシェアし、コストを分担）	271	46	70	44	44	65
	22.7%	21.3%	26.2%	22.0%	19.0%	24.3%
施設の集約・複合化、多機能化などによる施設床の総量抑制（施設を効率化して、公共施設全体の棟数や床面積を抑制、縮減）	231	45	50	28	43	65
	19.4%	20.8%	18.7%	14.0%	18.5%	24.3%
環境負荷の低減	225	42	48	40	40	55
	18.9%	19.4%	18.0%	20.0%	17.2%	20.5%
管理、運営の民間委託（より良いサービス、経費は抑制）	216	30	58	40	37	49
	18.1%	13.9%	21.7%	20.0%	15.9%	18.3%
公共施設を廃止して、民間施設を利用する費用を助成（施設の維持管理・運営コストの縮減）	72	8	13	8	22	21
	6.0%	3.7%	4.9%	4.0%	9.5%	7.8%
施設使用料（貸室など）の値上げ（施設の利用状況に応じて利用者が負担）	72	10	14	11	17	20
	6.0%	4.6%	5.2%	5.5%	7.3%	7.5%
施設建設等で民間資金等の活用（一括払いは避けて分割払いを活用）	53	10	12	9	12	10
	4.4%	4.6%	4.5%	4.5%	5.2%	3.7%
（無効回答）	139	22	27	33	25	26
	11.7%	10.2%	10.1%	16.5%	10.8%	9.7%

（上段：実数（人）、下段：構成比）

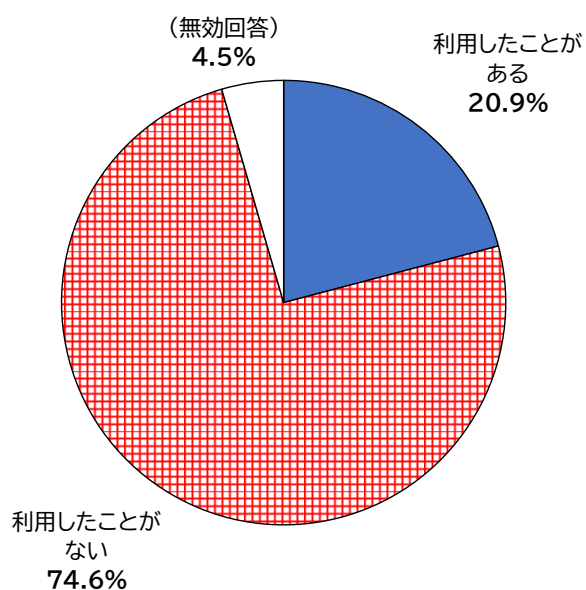
回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

問74) あなたは、この1年間に、グリーンホールを利用したことがありますか。

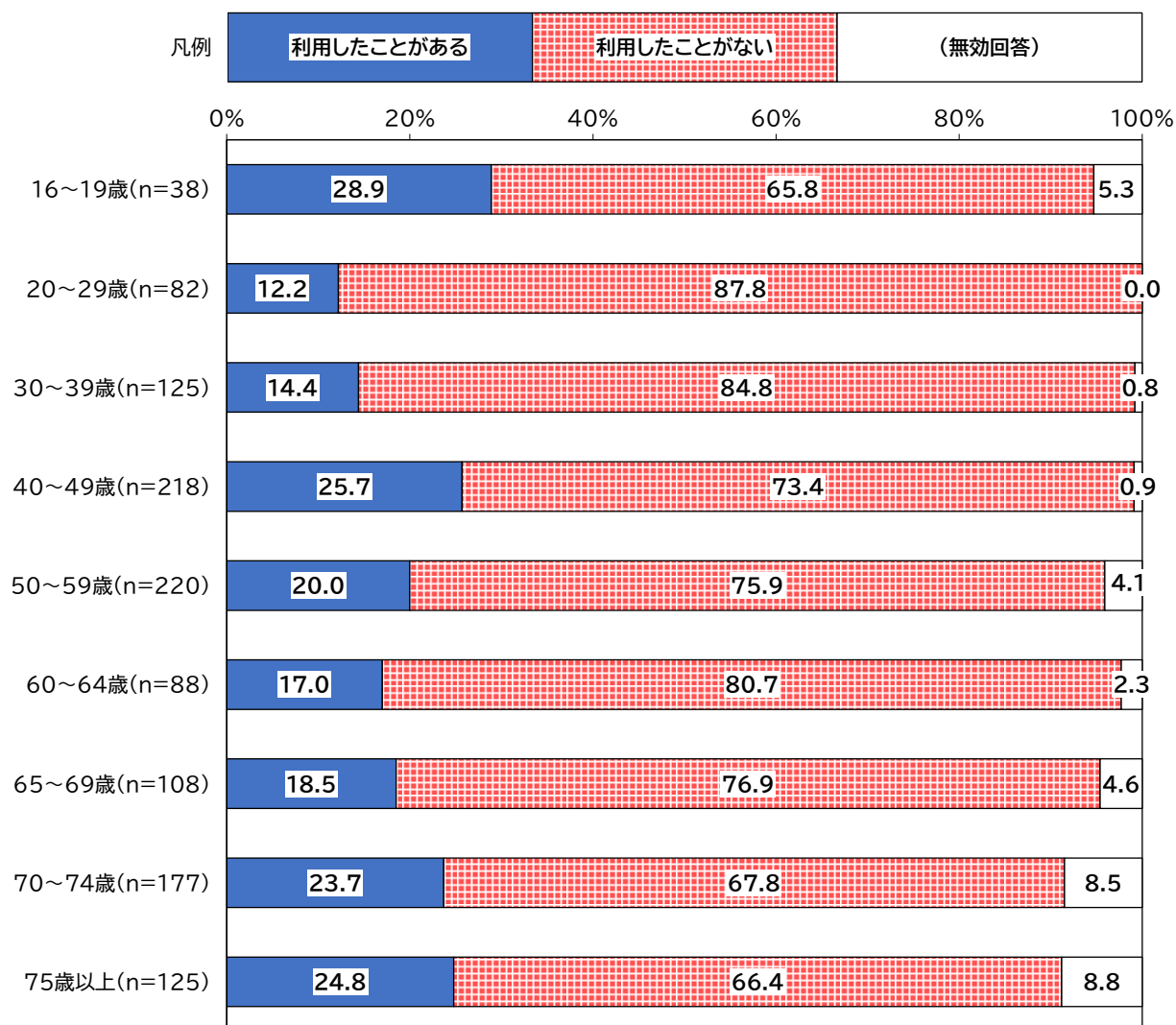
<全体 (n=1,193) >

○「利用したことがある」が20.9%、「利用したことがない」が74.6%となっています。



<年齢層別>

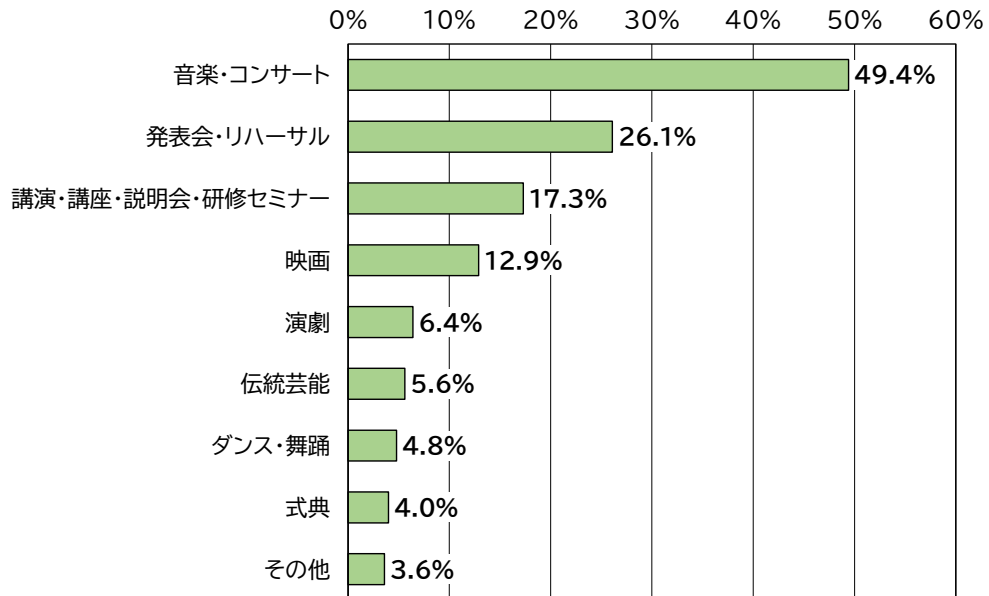
○「利用したことがある」は、16～19歳が最も高く、次いで40～49歳(25.7%)、75歳以上(24.8%)の順となっています。



問 74-1) どのような目的でグリーンホールを利用しましたか。

<全体 (n=249) >

○「音楽・コンサート」が49.4%で最も高く、次いで「発表会・リハーサル」の26.1%、「講演・講座・説明会・研修セミナー」の17.3%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も、「音楽・コンサート」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	249	11	10	18	56	44	15	20	42	31
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
音楽・コンサート	123	5	5	8	26	15	9	9	28	17
	49.4%	45.5%	50.0%	44.4%	46.4%	34.1%	60.0%	45.0%	66.7%	54.8%
発表会・リハーサル	65	4	1	5	24	10	3	2	10	5
	26.1%	36.4%	10.0%	27.8%	42.9%	22.7%	20.0%	10.0%	23.8%	16.1%
講演・講座・説明会・研修セミナー	43	2	1	2	9	9	1	6	5	8
	17.3%	18.2%	10.0%	11.1%	16.1%	20.5%	6.7%	30.0%	11.9%	25.8%
映画	32	0	0	2	3	6	0	5	11	5
	12.9%	0.0%	0.0%	11.1%	5.4%	13.6%	0.0%	25.0%	26.2%	16.1%
演劇	16	2	2	2	2	2	1	3	0	2
	6.4%	18.2%	20.0%	11.1%	3.6%	4.5%	6.7%	15.0%	0.0%	6.5%
伝統芸能	14	0	2	1	0	2	1	1	4	3
	5.6%	0.0%	20.0%	5.6%	0.0%	4.5%	6.7%	5.0%	9.5%	9.7%
ダンス・舞踊	12	0	1	1	1	2	1	3	1	2
	4.8%	0.0%	10.0%	5.6%	1.8%	4.5%	6.7%	15.0%	2.4%	6.5%
式典	10	0	0	0	3	3	0	2	1	1
	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	6.8%	0.0%	10.0%	2.4%	3.2%
その他	9	0	0	2	3	0	2	1	0	1
	3.6%	0.0%	0.0%	11.1%	5.4%	0.0%	13.3%	5.0%	0.0%	3.2%
(無効回答)	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い：

回答割合が2番目に高い：

＜同居人別＞

○「小・中学生の子ども」, 「75歳以上の家族・同居人」では, 「発表会・リハーサル」が最も高くなっています。その他では「音楽・コンサート」が最も高くなっています。

選択肢	合計	配偶者	0歳～2歳 の子ども	3歳～5歳 の子ども	小・中学生 の子ども	高校生世代 ～64歳の家 族・同居人	65歳～74歳 の家族・ 同居人	75歳以上 の家族・ 同居人	家族・同居 人はいない
全体	249	166	8	19	65	91	10	18	22
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
音楽・コンサート	123	83	7	10	22	39	7	6	10
	49.4%	50.0%	87.5%	52.6%	33.8%	42.9%	70.0%	33.3%	45.5%
発表会・リハーサル	65	49	1	6	37	31	1	7	2
	26.1%	29.5%	12.5%	31.6%	56.9%	34.1%	10.0%	38.9%	9.1%
講演・講座・説明会・研修セミナー	43	30	0	3	9	16	1	5	3
	17.3%	18.1%	0.0%	15.8%	13.8%	17.6%	10.0%	27.8%	13.6%
映画	32	21	0	2	5	7	1	3	4
	12.9%	12.7%	0.0%	10.5%	7.7%	7.7%	10.0%	16.7%	18.2%
演劇	16	10	0	2	2	3	2	2	1
	6.4%	6.0%	0.0%	10.5%	3.1%	3.3%	20.0%	11.1%	4.5%
伝統芸能	14	9	0	0	0	6	0	0	1
	5.6%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	6.6%	0.0%	0.0%	4.5%
ダンス・舞踊	12	7	1	1	2	3	0	0	4
	4.8%	4.2%	12.5%	5.3%	3.1%	3.3%	0.0%	0.0%	18.2%
式典	10	8	0	0	3	5	0	1	1
	4.0%	4.8%	0.0%	0.0%	4.6%	5.5%	0.0%	5.6%	4.5%
その他	9	6	0	1	3	5	0	0	1
	3.6%	3.6%	0.0%	5.3%	4.6%	5.5%	0.0%	0.0%	4.5%
(無効回答)	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	0.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

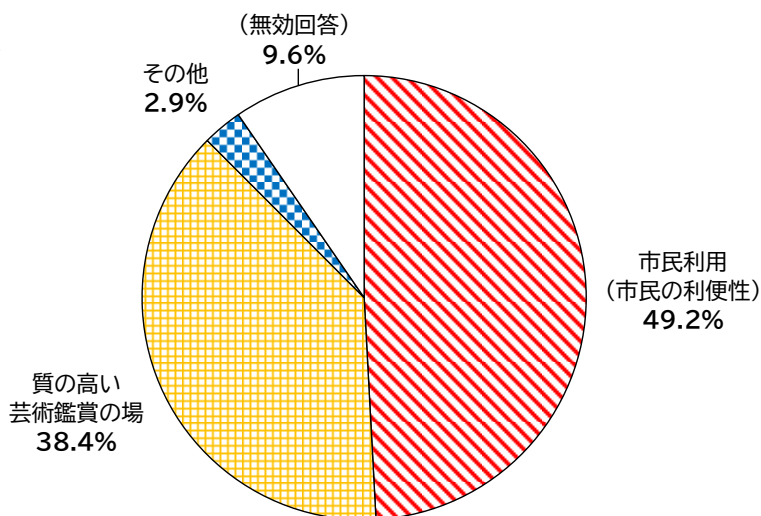
回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

問 75) あなたが、グリーンホールにおけるホール機能として、最も重要だと思うものは何ですか。

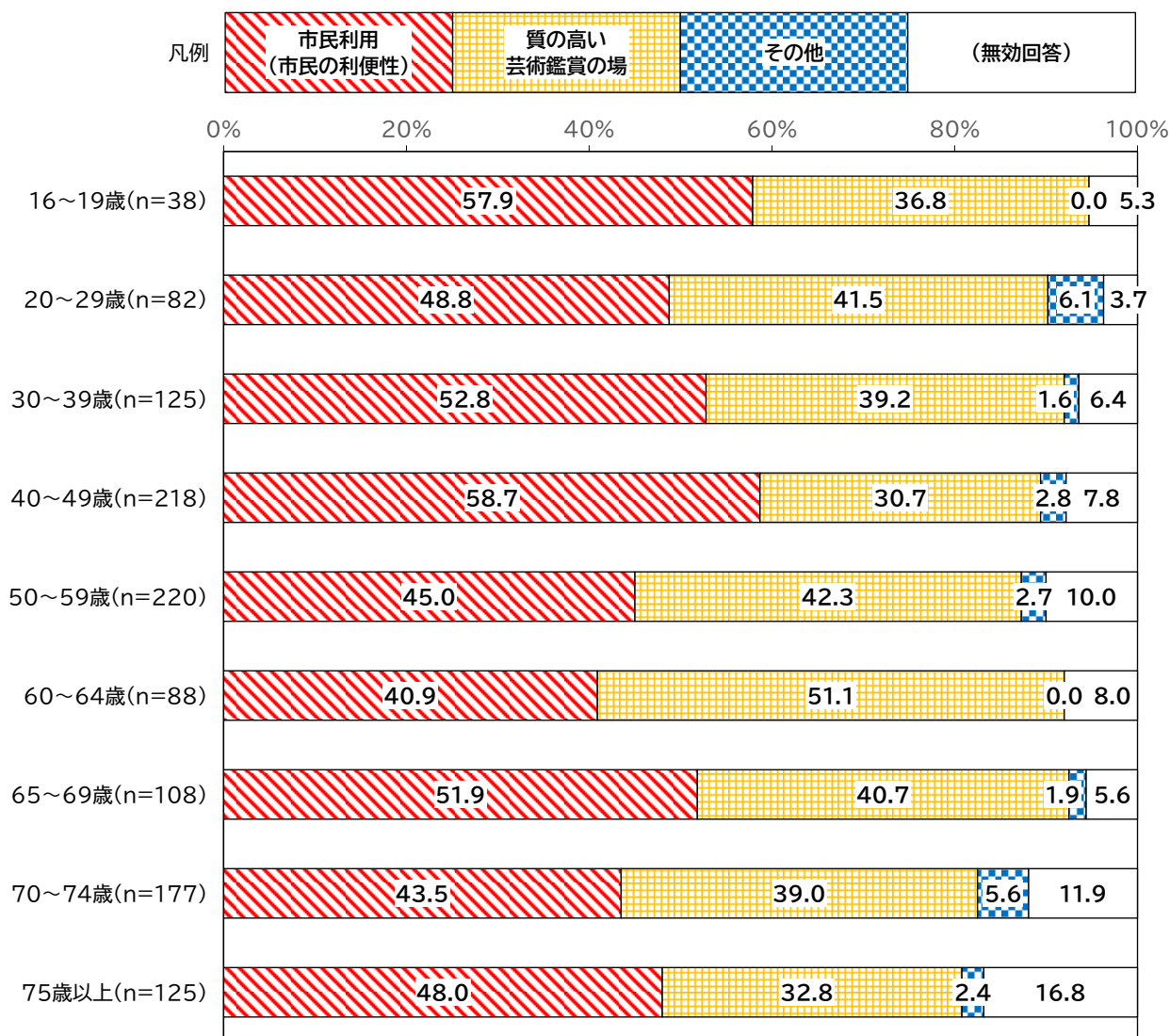
<全体 (n=1, 193) >

○「市民利用 (市民の利便性)」が 49.2%で最も高く、次いで「質の高い芸術鑑賞の場」の 38.4%の順となっています。



<年齢層別>

○60～64歳では、「質の高い芸術鑑賞の場」が「市民利用 (市民の利便性)」を上回っていますが、他の年齢層は、「市民利用 (市民の利便性)」が「質の高い芸術鑑賞の場」を上回っています。



問 76) あなたが、グリーンホールの施設整備で優先的に力を入れて取り組むべきと考えるものは何ですか。

<全体 (n=1,193) >

- 優先度が高い取組の1番目では、「調布駅前広場と調和し、まちの魅力を高める（シンボルとなる）施設」が34.3%で最も高く、次いで「調布駅前広場に接したアクセスの良い現在の立地」の17.8%、「風水害時の避難所や帰宅困難者対策など災害時の利用」の13.4%の順となっています。
- 優先度の2番目では、「調布駅前広場に接したアクセスの良い現在の立地」が18.0%で最も高く、次いで「利便性の高い設備（トイレ、授乳スペース、ホワイエスペース）」の13.1%、「風水害時の避難所や帰宅困難者対策など災害時の利用」の12.1%の順となっています。
- 優先度の3番目では、「風水害時の避難所や帰宅困難者対策など災害時の利用」が27.5%で最も高く、次いで「利便性の高い設備（トイレ、授乳スペース、ホワイエスペース）」の14.3%、「民間施設との複合化によるにぎわいの創出」の10.3%の順となっています。

施設整備で取り組むべきこと優先度1番目 上位5項目	
選択肢	構成比
調布駅前広場と調和し、まちの魅力を高める（シンボルとなる）施設	34.3%
調布駅前広場に接したアクセスの良い現在の立地	17.8%
風水害時の避難所や帰宅困難者対策など災害時の利用	13.4%
大ホールの音響や舞台装置の充実	9.6%
民間施設との複合化によるにぎわいの創出	9.1%

施設整備で取り組むべきこと優先度2番目 上位5項目	
選択肢	構成比
調布駅前広場に接したアクセスの良い現在の立地	18.0%
利便性の高い設備（トイレ、授乳スペース、ホワイエスペース）	13.1%
風水害時の避難所や帰宅困難者対策など災害時の利用	12.1%
民間施設との複合化によるにぎわいの創出	11.4%
調布駅前広場と調和し、まちの魅力を高める（シンボルとなる）施設	11.2%

施設整備で取り組むべきこと優先度3番目 上位5項目	
選択肢	構成比
風水害時の避難所や帰宅困難者対策など災害時の利用	27.5%
利便性の高い設備（トイレ、授乳スペース、ホワイエスペース）	14.3%
民間施設との複合化によるにぎわいの創出	10.3%
舞台鑑賞環境の充実（席配置、快適さ）	9.5%
調布駅前広場と調和し、まちの魅力を高める（シンボルとなる）施設	8.1%

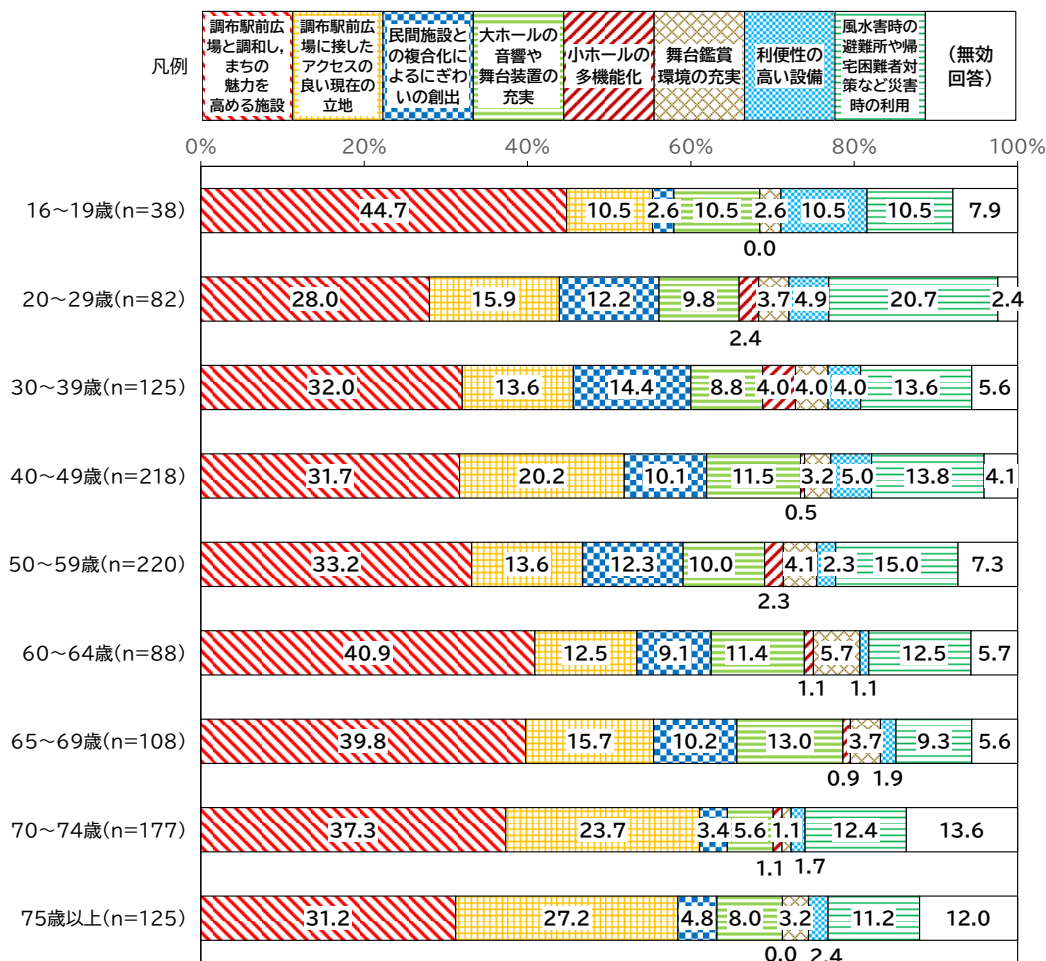
<年齢層別>

○優先度が高い取組の1番目では、おおむね年齢が上がるごとに「調布駅前広場と調和し、まちの魅力を高める施設」が高くなる傾向となっています。

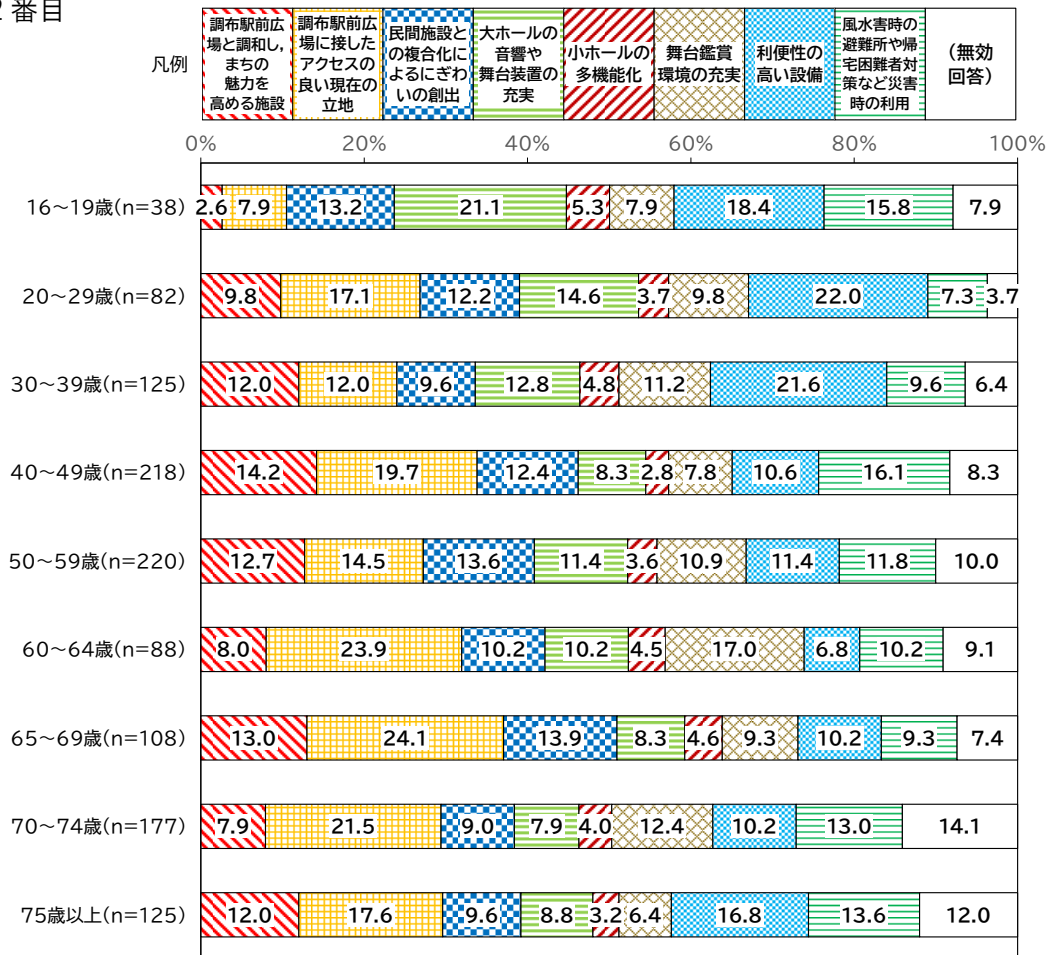
○優先度の2番目では、おおむね年齢が上がるごとに「調布駅前広場に接したアクセスの良い現在の立地」が、年齢が下がるごとに「大ホールの音響や舞台装置の充実」が高くなる傾向となっています。

○優先度の3番目では、おおむね年齢が上がるごとに「帰宅困難者対策など災害時の利用」が、年齢が下がるごとに「舞台鑑賞環境の充実（席配置、快適さ）」が高くなる傾向となっています。

優先度1番目



優先度2番目



優先度3番目

